

第3回 長岡京市上下水道事業審議会

日時：平成30年2月20日（火）
午後1時30分から
場所：長岡京市役所会議室7

次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 題

(1) アンケートについて

- ・ 調査報告書（クロス集計結果含む） 資料 1
- ・ 自由意見欄 資料 2
- ・ 調査結果総括 資料 3

(2) 今後の水道事業環境について 資料 4

(3) 水道事業の具体的な取り組みについて 資料 5

- (参考) 水道事業における広域化の主な類型と取り組み事例 資料 6

4. その他

- (1) 上下水道事業審議会のスケジュールの変更について 資料 7

5. 閉 会

長岡京市上下水道事業に関する調査 報告書

平成 30 年 1 月

長岡京市

報告書目次

調査概要	1
調査概要	2
1. 目的	2
2. 調査設計	2
3. 配布・回収状況	2
4. 過去の水道需要家意識調査の概要	2
5. この報告書の見方	3
調査結果	5
調査結果	6
1. 回答者ご自身と世帯について	6
(1) 【問1-1】あなたの性別をお聞かせください。	6
(2) 【問1-2】あなたの年齢をお聞かせください。	7
(3) 【問1-3】家族構成はご自身を含めて何人ですか。	8
(4) 【問1-4】問1-3で2～5に回答された方にお聞きします。その構成は次のうちどれに該当しますか。	9
(5) 【問1-5】お住まいの中学校区はどちらですか。	10
(6) 【問1-6】長岡京市にお住まいになって何年になりますか。	11
2. 水道水や飲み水について	12
(1) 【問2-1】現在の水道水は、長岡京市の水道（地下水）と京都府からの水道（河川水）のブレンド（約50%ずつ）ですが、ご存知ですか。	12
(2) 【問2-2】現在の水道水についてどのように感じておられますか。	13
(3) 【問2-3】普段、主に「飲み水」にされているものは次のうちどれですか。	17
3. 下水道について	18
(1) 【問3-1】公共下水道事業には、生活排水などを浄化する污水事業と浸水被害を軽減するための雨水事業がありますが、ご存知ですか。	18
(2) 【問3-2】水道事業は料金収入で運営されているのに対して、公共下水道事業の污水事業は皆さんからの下水道使用料収入のほか、税金が充てられていることをご存知ですか。	19
(3) 【問3-3】現在の下水道についてどのように感じておられますか。	20
(4) 【問3-4】あなたは、下水道を使用するに当たって、どのようなことに気を付けていますか。（複数回答可）	23
4. 上下水道料金について	25
(1) 【問4-1】上下水道料金は、使用しなくてもかかる料金と使用した水量にかかる料金の合計になっていますが、ご存知ですか。	25
(2) 【問4-2】上下水道料金は使用する水量により単価が異なりますが、使用量が多ければ単価は高くなることをご存知ですか。	26
5. 節水機器について	27
(1) 【問5-1】あなたは、節水についてどのようなことに気を付けていますか。（複数	

回答可)	27
(2) 【問5 - 2】次の節水機器の使用等は、お宅ではいつ頃からですか。	29
6. 災害時について	32
(1) 【問6 - 1】あなたのご家庭では、地震等の災害に備えて飲料水の備蓄をしていますか。	32
(2) 【問6 - 2】問6 - 1において、1～4に回答された方について、ご家族1人あたりの飲料水の備蓄量についてお聞きします。	34
(3) 【問6 - 3】災害時に避難所となる小中学校などに、災害時に使用できるようトイレ(災害用マンホールトイレ)を整備しています。	35
(4) 【問6 - 3】災害時に避難所となる小中学校などに、災害時に使用できるようトイレ(災害用マンホールトイレ)を整備しています。	36
7. お客様サービスについて	37
(1) 【問7 - 1】上下水道部のお客さま対応やサービスに対するあなたの満足度をお聞きします。	37
(2) 【問7 - 2】上下水道部が行っている広報活動として「水だより」や「ホームページ」について、わかりやすいですか。	40
(3) 【問7 - 3】あなたは、水道や下水道について知りたい情報や興味のある情報は、どのようなものでしょうか。(複数回答可)	42
(4) 【問7 - 4】上下水道部が行っている広報活動について、どの程度ご存知ですか。	44
8. 上下水道事業全般について	48
(1) 【問8 - 1】皆様に安心して快適な生活をしていただくための取り組みについて、ご感想をお聞かせください。	48
(2) 【問8 - 2】上下水道部が重点的に進めている以下の項目について、あなたのお考えをお答えください。	51
(3) 【問8 - 3】問8 - 2において、質問項目 及び で、「特に力を入れる必要がある」または「力を入れる必要がある」とお答えになった方について、あなたのお考えをお答えください。	54
参考資料(調査票)	56

. 調査概要

．調査概要

1．目的

長岡京市が水道を供給している需要家の意識調査を行い、今後の水道の整備計画、経営計画等の策定のための参考資料にすることを目的とする。

2．調査設計

今後の水道の整備計画、経営計画等の策定のための参考資料や基礎データとするための調査項目を設定し、時系列で水道需要家の意識の推移を把握するため、過去の水道需要家意識調査の調査項目も加えている。具体的な調査設計は以下のとおりである。

調査対象	長岡京市内在住の 20 歳以上の男女
抽出方法	住民台帳から無作為抽出
配布数	1,000 件（前回と同様）
実施期間	平成 29 年 9 月 1 日（金）～9 月 18 日（月）
調査方法	質問紙郵送・回答用紙返送

3．配布・回収状況

配布数	1,000 件
回収数	582 件
回収率	58.5%

4．過去の水道需要家意識調査の概要

（1）前回調査（平成 16 年度）

配布数	1,000 件
回収数	554 件
回収率	55.7%

5 . この報告書の見方

- ア 集計に当たっては、無回答、重複回答、非該当を除いて行っており、有効回答数を n 数と表示している。
- イ 百分率(%)は原則として小数第 2 位を四捨五入し小数第 1 位までを表示している。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値が一致しないことがある。
- ウ グラフ内の設問名称については、調査票の設問名称を趣旨が変わらない範囲内で簡略化して表示している。
- エ 経年変化については、前回調査と同種の項目について実施し、選択肢等の名称は調査意図が変わらない範囲で本調査の名称に統一している。

・ 調査結果

・調査結果

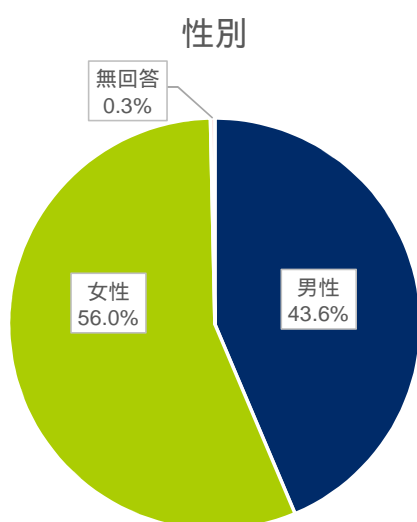
1. 回答者ご自身と世帯について

(1) 【問1 - 1】あなたの性別をお聞かせください。

ア. 単純集計

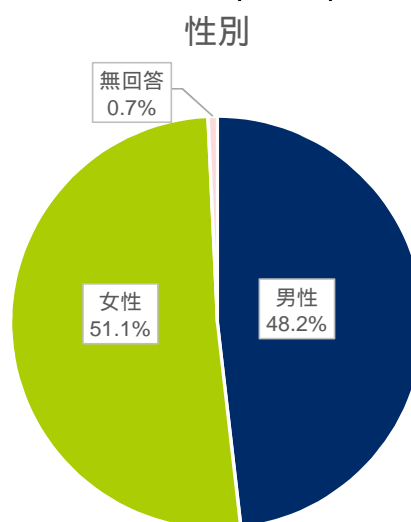
回答者の性別は、「男性」よりも「女性」が多い。
 前回の調査よりも、「女性」の割合が上昇している。

【平成 29 年度調査 (n=582)】



選択肢	回答数	割合
男性	254	43.6%
女性	326	56.0%
無回答	2	0.3%
計	582	100.0%

【前回調査 (n=554)】



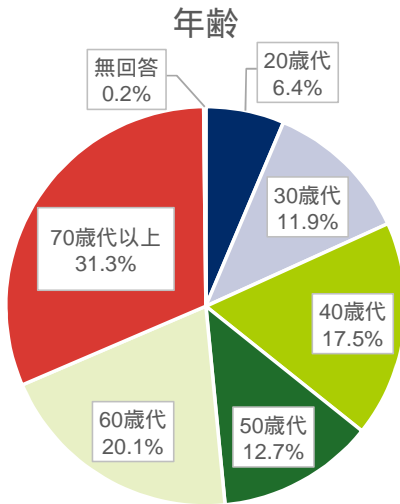
選択肢	回答数	割合
男性	267	48.2%
女性	283	51.1%
無回答	4	0.7%
計	554	100.0%

(2) 【問1 - 2】あなたの年齢をお聞かせください。

ア. 単純集計

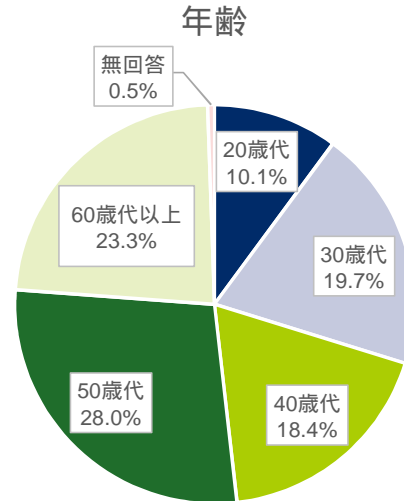
回答者の性別は、「70歳代以上」の割合が31.3%と最も高く、次いで、「60歳代」が20.1%で続く。前回の調査よりも、60歳代以上（「60歳代」「70歳代以上」）の割合が上昇している。

【平成29年度調査(n=582)】



選択肢	回答数	割合
20歳代	37	6.4%
30歳代	69	11.9%
40歳代	102	17.5%
50歳代	74	12.7%
60歳代	117	20.1%
70歳代以上	182	31.3%
無回答	1	0.2%
計	582	100.0%

【前回調査(n=554)】



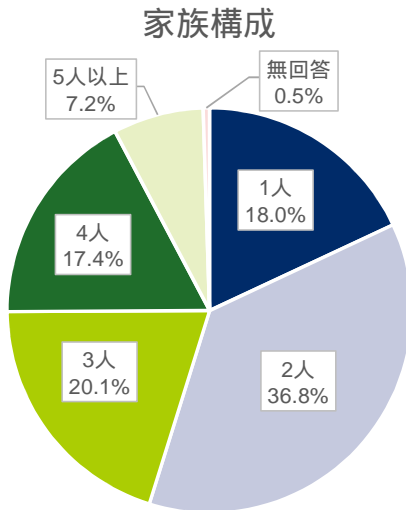
選択肢	回答数	割合
20歳代	56	10.1%
30歳代	109	19.7%
40歳代	102	18.4%
50歳代	155	28.0%
60歳代以上	129	23.3%
無回答	3	0.5%
計	554	100.0%

(3) 【問1 - 3】家族構成はご自身を含めて何人ですか。

ア. 単純集計

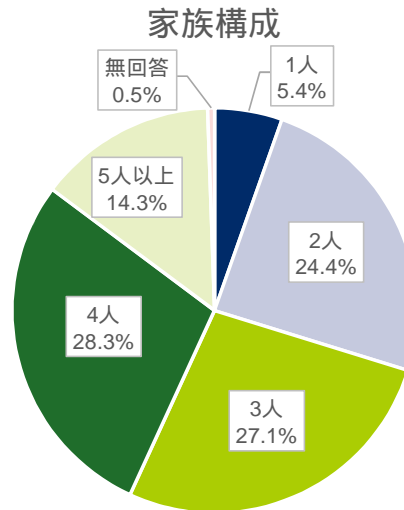
回答者の家族構成は、「2人」の割合が36.8%と最も高く、次いで、「3人」が20.1%で続く。前回の調査よりも、「1人」「2人」の割合が上昇している。

【平成 29 年度調査(n=582)】



選択肢	回答数	割合
1人	105	18.0%
2人	214	36.8%
3人	117	20.1%
4人	101	17.4%
5人以上	42	7.2%
無回答	3	0.5%
計	582	100.0%

【前回調査(n=554)】



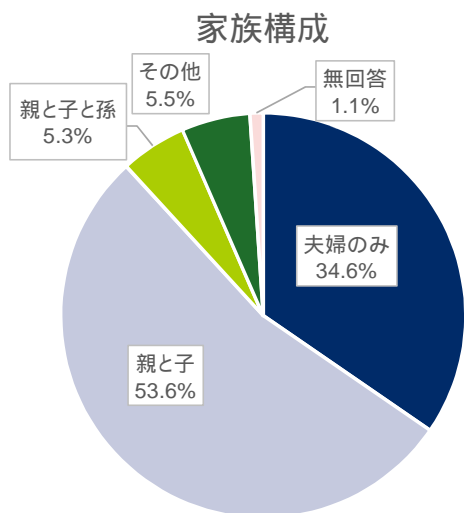
選択肢	回答数	割合
1人	30	5.4%
2人	135	24.4%
3人	150	27.1%
4人	157	28.3%
5人以上	79	14.3%
無回答	3	0.5%
計	554	100.0%

(4) 【問1 - 4】問1 - 3で2～5に回答された方にお聞きします。その構成は次のうちどれに該当しますか。

ア. 単純集計

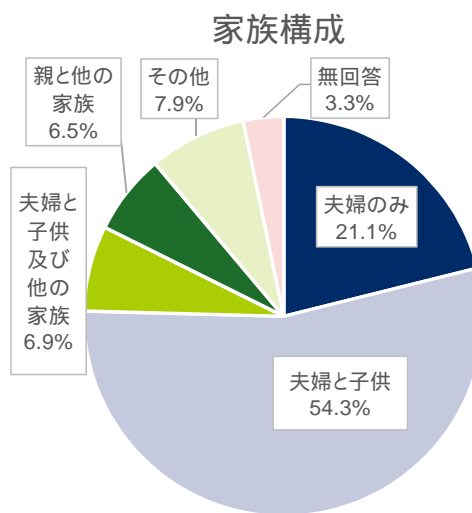
回答者の家族構成は、「親と子」の割合が53.6%と最も高く、次いで、「夫婦のみ」が34.6%で続く。

【平成 29 年度調査 (n=474)】



選択肢	回答数	割合
夫婦のみ	164	34.6%
親と子	254	53.6%
親と子と孫	25	5.3%
その他	26	5.5%
無回答	5	1.1%
計	474	100.0%

【前回調査 (n=521)】



選択肢	回答数	割合
夫婦のみ	110	21.1%
夫婦と子供	283	54.3%
夫婦と子供及び他の家族	36	6.9%
親と他の家族	34	6.5%
その他	41	7.9%
無回答	17	3.3%
計	521	100.0%

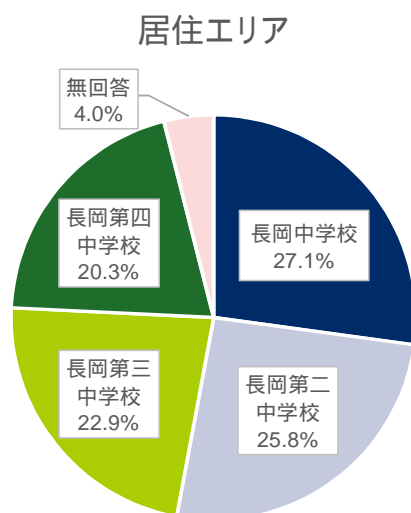
(5) 【問1 - 5】お住まいの中学校区はどちらですか。

ア. 単純集計

回答者の居住地は、「長岡中学校」の割合が 27.1% と最も高い。

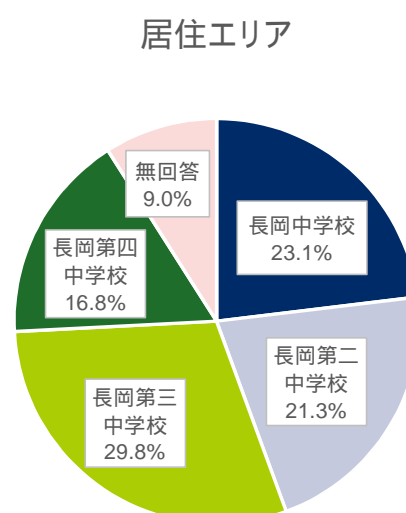
前回の調査よりも、「長岡中学校」と「長岡第二中学校」「長岡第四中学校」の割合が高い。

【平成 29 年度調査 (n=582)】



選択肢	回答数	割合
長岡中学校	158	27.1%
長岡第二中学校	150	25.8%
長岡第三中学校	133	22.9%
長岡第四中学校	118	20.3%
無回答	23	4.0%
計	582	100.0%

【前回調査 (n=554)】



選択肢	回答数	割合
長岡中学校	128	23.1%
長岡第二中学校	118	21.3%
長岡第三中学校	165	29.8%
長岡第四中学校	93	16.8%
無回答	50	9.0%
計	554	100.0%

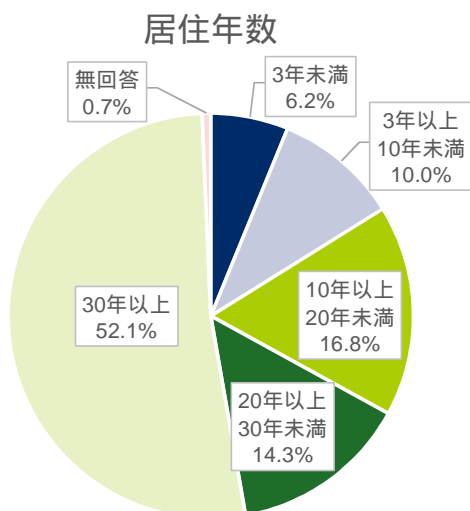
(6) 【問1 - 6】長岡京市にお住まいになって何年になりますか。

ア. 単純集計

回答者の居住年数は、「30年以上」の割合が52.1%と最も高い。

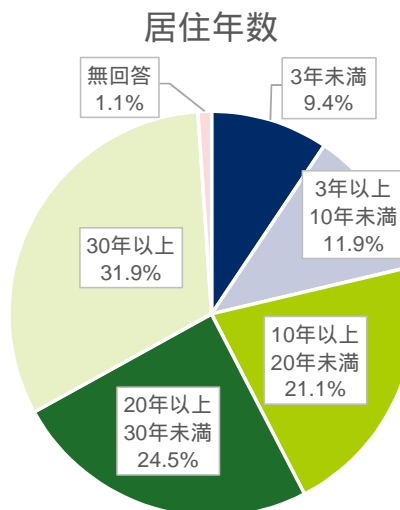
前回の調査よりも、「30年以上」の割合が上昇している。

【平成29年度調査(n=582)】



選択肢	回答数	割合
3年未満	36	6.2%
3年以上10年未満	58	10.0%
10年以上20年未満	98	16.8%
20年以上30年未満	83	14.3%
30年以上	303	52.1%
無回答	4	0.7%
計	582	100.0%

【前回調査(n=554)】



選択肢	回答数	割合
3年未満	52	9.4%
3年以上10年未満	66	11.9%
10年以上20年未満	117	21.1%
20年以上30年未満	136	24.5%
30年以上	177	31.9%
無回答	6	1.1%
計	554	100.0%

2. 水道水や飲み水について

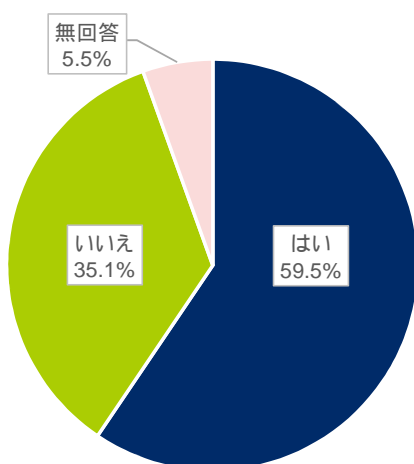
(1) 【問2 - 1】現在の水道水は、長岡京市の水道(地下水)と京都府からの水道(河川水)のブレンド(約 50%ずつ)ですが、ご存知ですか。

ア. 単純集計

「はい」の割合が 59.5%と、「いいえ」よりも高い。
 前回の調査よりも、「はい」の割合が大きく低下している。

【平成 29 年度調査(n=582)】

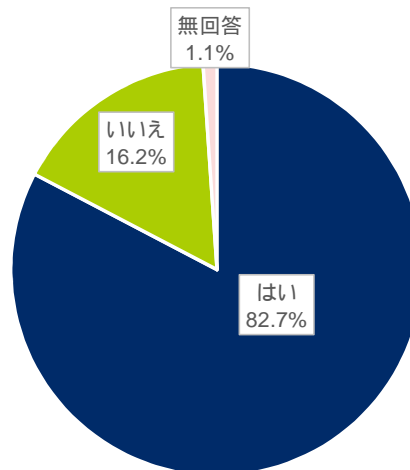
水道水のブレンドについての認知



選択肢	回答数	割合
はい	346	59.5%
いいえ	204	35.1%
無回答	32	5.5%
計	582	100.0%

【前回調査(n=554)】

水道水のブレンドについての認知

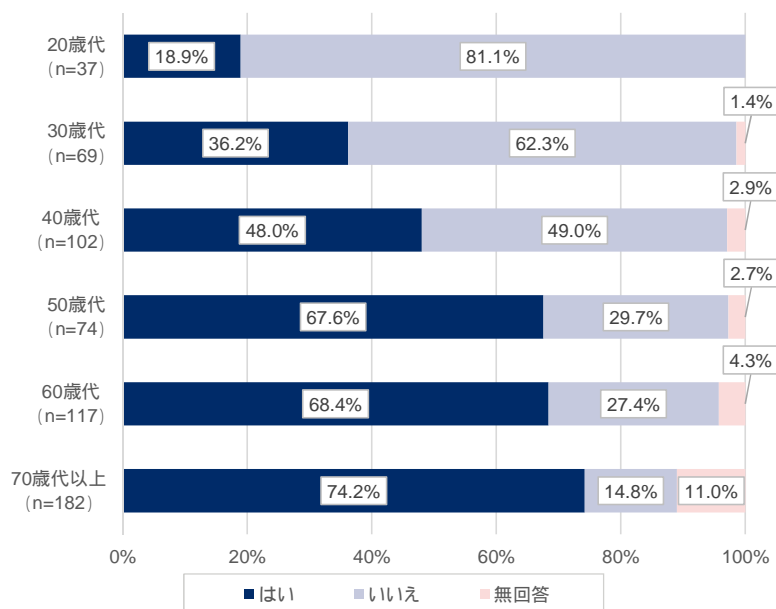


選択肢	回答数	割合
はい	458	82.7%
いいえ	90	16.2%
無回答	6	1.1%
計	554	100.0%

イ. 属性分析

年代別で見ると、年代が高くなるにつれ、「はい」の割合が上昇している。70 歳代以上で「はい」が 74.2%と最も高く、20 歳代は 18.9%と最も低い。

ブレンド数に関する認知度
(年代別)



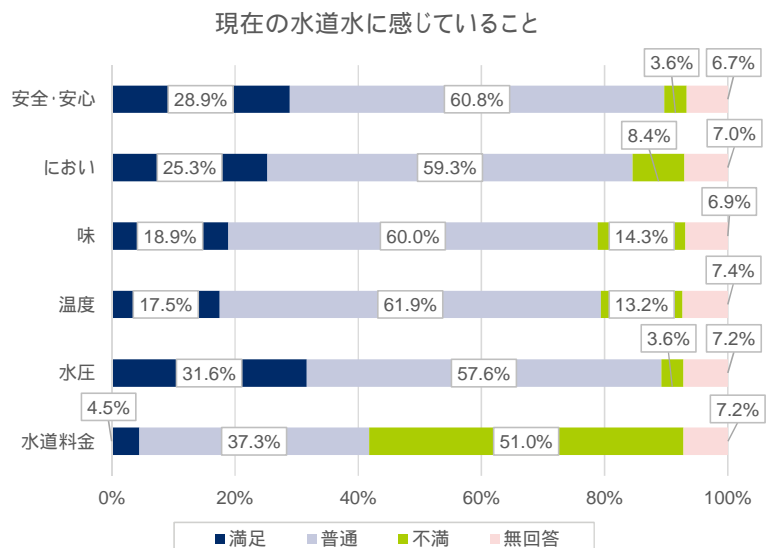
(2) 【問2 - 2】現在の水道水についてどのように感じておられますか。

ア. 単純集計

(安全・安心を除く)全ての項目で前回の調査よりも、「満足」の割合が上昇している。

「水道料金」への「不満」の割合が、51.0%と全ての項目の中で最も高いが、前回の調査よりも低下している。

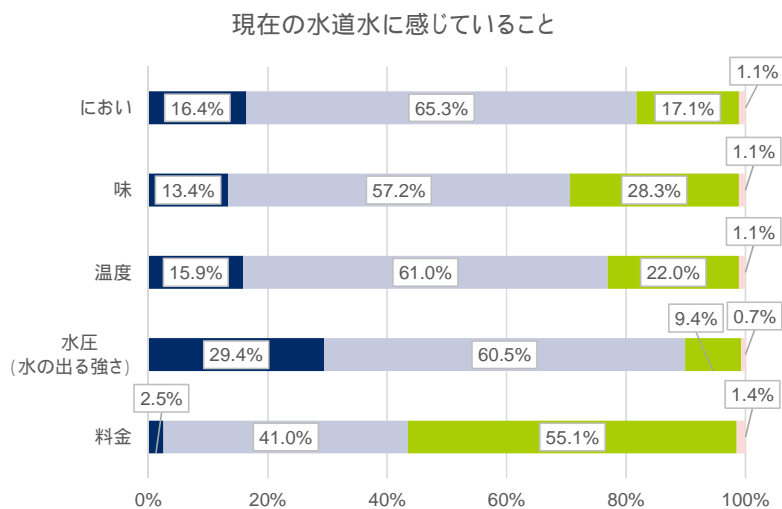
【平成 29 年度調査 (n=582)】



選択肢	安全・安心		におい		味		温度		水圧		水道料金	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	168	28.9%	147	25.3%	110	18.9%	102	17.5%	184	31.6%	26	4.5%
普通	354	60.8%	345	59.3%	349	60.0%	360	61.9%	335	57.6%	217	37.3%
不満	21	3.6%	49	8.4%	83	14.3%	77	13.2%	21	3.6%	297	51.0%
無回答	39	6.7%	41	7.0%	40	6.9%	43	7.4%	42	7.2%	42	7.2%
計	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%

「安全・安心」については、前年度調査には項目が含まれていない。

【前回調査 (n=554)】

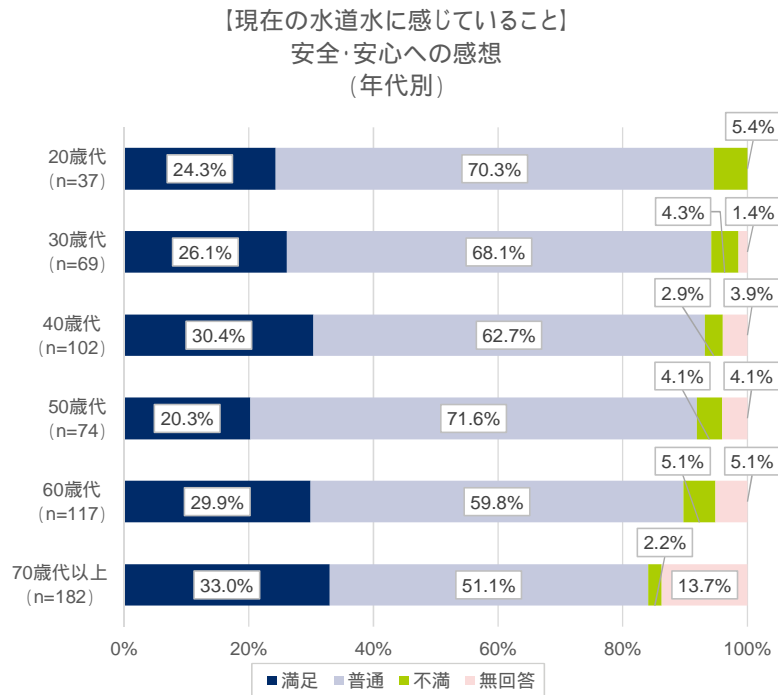


選択肢	におい		味		温度		水圧 (水の出る強さ)		料金	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	91	16.4%	74	13.4%	88	15.9%	163	29.4%	14	2.5%
普通	362	65.3%	317	57.2%	338	61.0%	335	60.5%	227	41.0%
不満	95	17.1%	157	28.3%	122	22.0%	52	9.4%	305	55.1%
無回答	6	1.1%	6	1.1%	6	1.1%	4	0.7%	8	1.4%
計	554	100.0%	554	100.0%	554	100.0%	554	100.0%	554	100.0%

イ. 属性分析

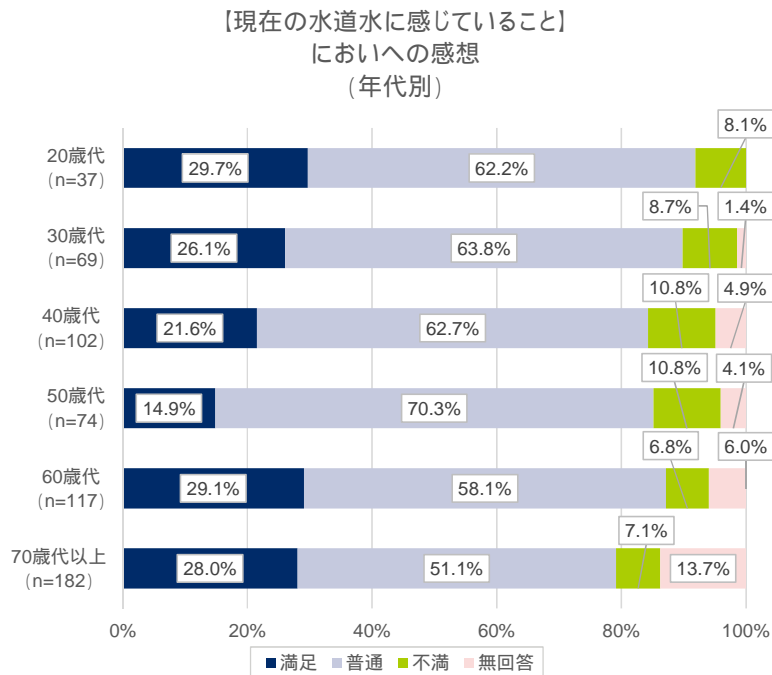
現在の水道水に感じていること(安全・安心への感想)

年代別でみると、50歳代の「満足」の割合は20.3%と最も低い。



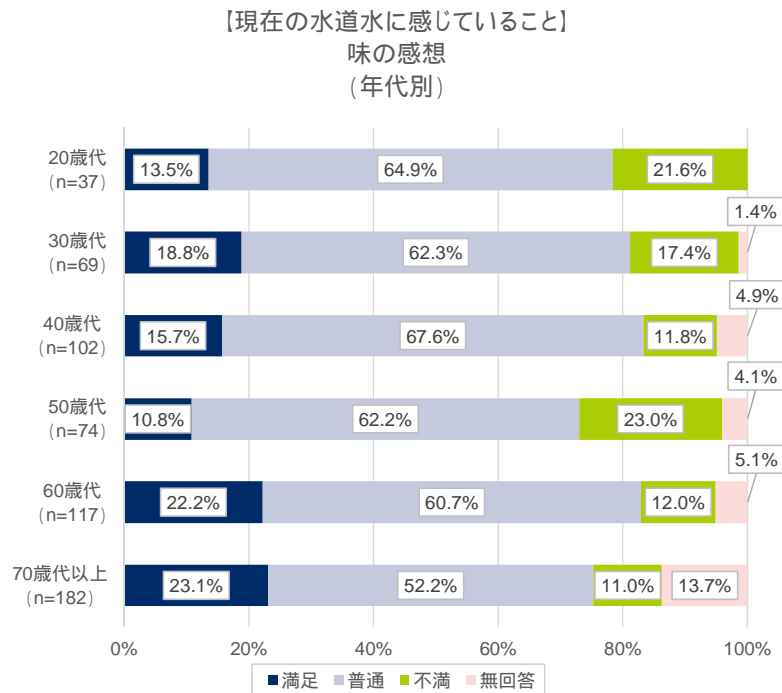
現在の水道水に感じていること(においへの感想)

年代別でみると、20歳代から50歳代にかけて年代が高くなるにつれ、「満足」の割合は低下しているが、50歳代から70歳代以上にかけて上昇している。50歳代の「満足」は14.9%と最も低く、「不満」は10.8%と最も高い。



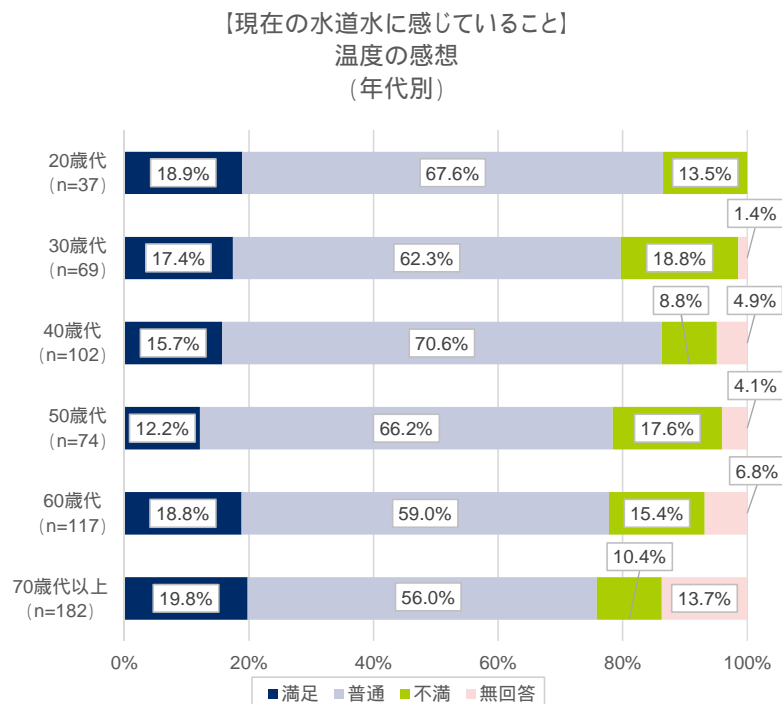
現在の水道水に感じていること(味の感想)

年代別で見ると、60歳代・70歳代以上では「満足」の割合がそれぞれ22.2%、23.1%と他の年代に比べて高く、「不満」もそれぞれ12.0%、11.0%と低い。一方、50歳代の「満足」は10.8%と最も低く、「不満」は23.0%と最も高い。



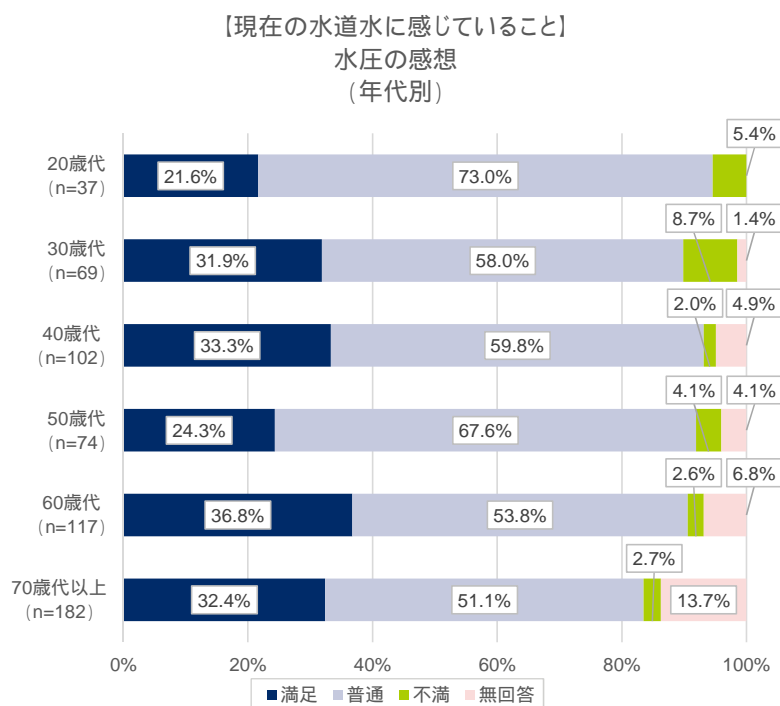
現在の水道水に感じていること(温度の感想)

年代別で見ると、50歳代の「満足」の割合は12.2%と最も低く、「不満」は17.6%と最も高い。



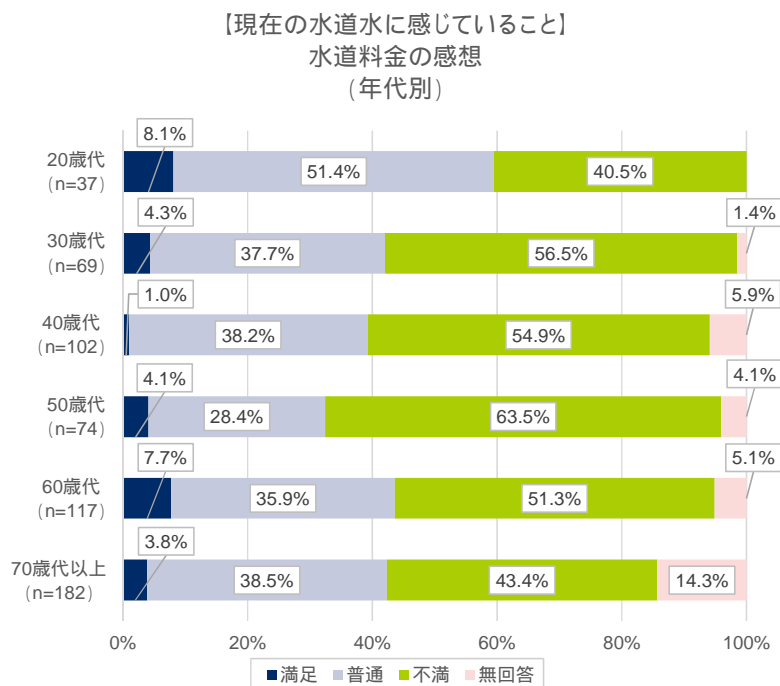
現在の水道水に感じていること(水圧の感想)

年代別でみると、20歳代の「満足」の割合は21.6%と最も低く、次いで50歳代が24.3%で続く。



現在の水道水に感じていること(水道料金の感想)

年代別でみると、20歳代から50歳代にかけて年代が高くなるにつれ、「不満」の割合が上昇している。

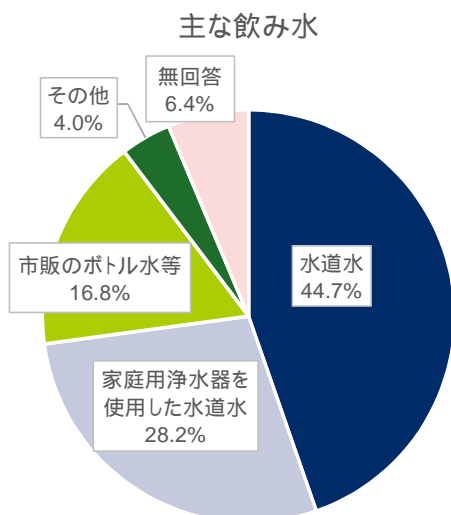


(3) 【問2 - 3】普段、主に「飲み水」にされているものは次のうちどれですか。

ア. 単純集計

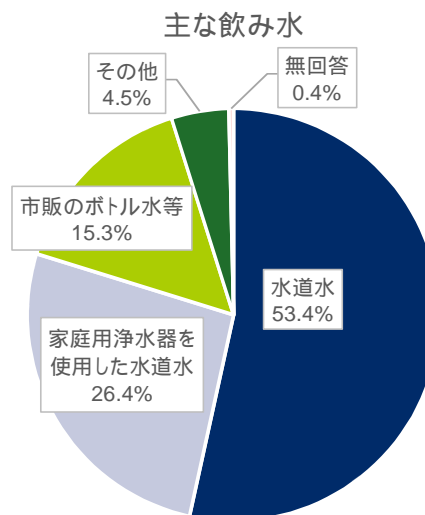
「水道水」の割合が44.7%と最も高く、次いで、「家庭用浄水器を使用した水道水」が28.2%で続く。前回の調査よりも、「水道水」の割合が低下している。

【平成29年度調査(n=582)】



選択肢	回答数	割合
水道水	260	44.7%
家庭用浄水器を使用した水道水	164	28.2%
市販のボトル水等	98	16.8%
その他	23	4.0%
無回答	37	6.4%
計	582	100.0%

【前回調査(n=554)】

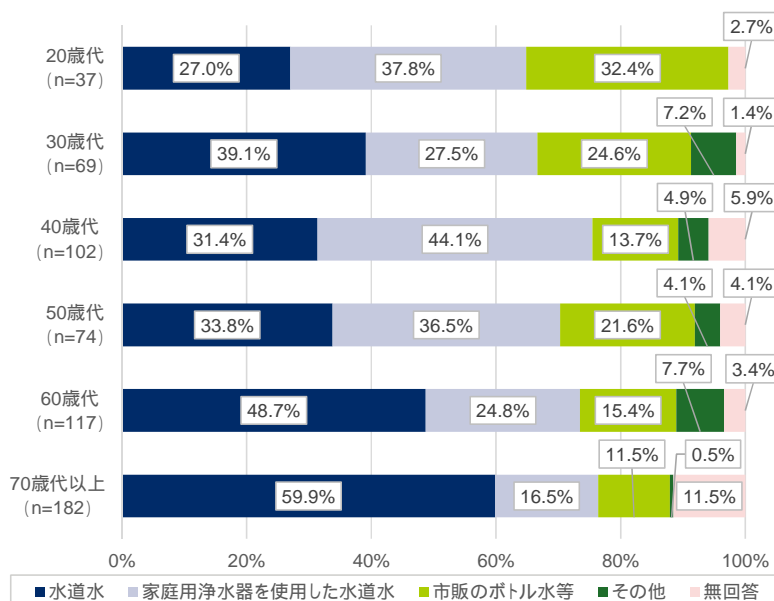


選択肢	回答数	割合
水道水	296	53.4%
家庭用浄水器を使用した水道水	146	26.4%
市販のボトル水等	85	15.3%
その他	25	4.5%
無回答	2	0.4%
計	554	100.0%

イ. 属性分析

年代別で見ると、年代が高くなるにつれ、「水道水」の割合が上昇傾向にある。また、20歳代・30歳代の「市販のボトル水等」はそれぞれ32.4%、24.6%と他の年代に比べて高い。

普段の「飲み水」
(年代別)



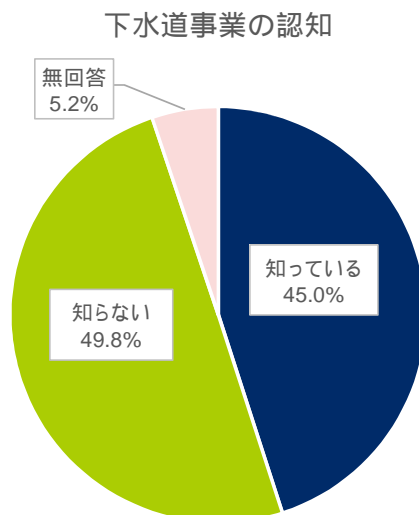
3. 下水道について 前回調査ではこの区分について設問を設けていない。

(1) 【問3 - 1】公共下水道事業には、生活排水などを浄化する污水事業と浸水被害を軽減するための雨水事業がありますが、ご存知ですか。

ア. 単純集計

「知らない」の割合が 49.8%と、「知っている」よりも高い。

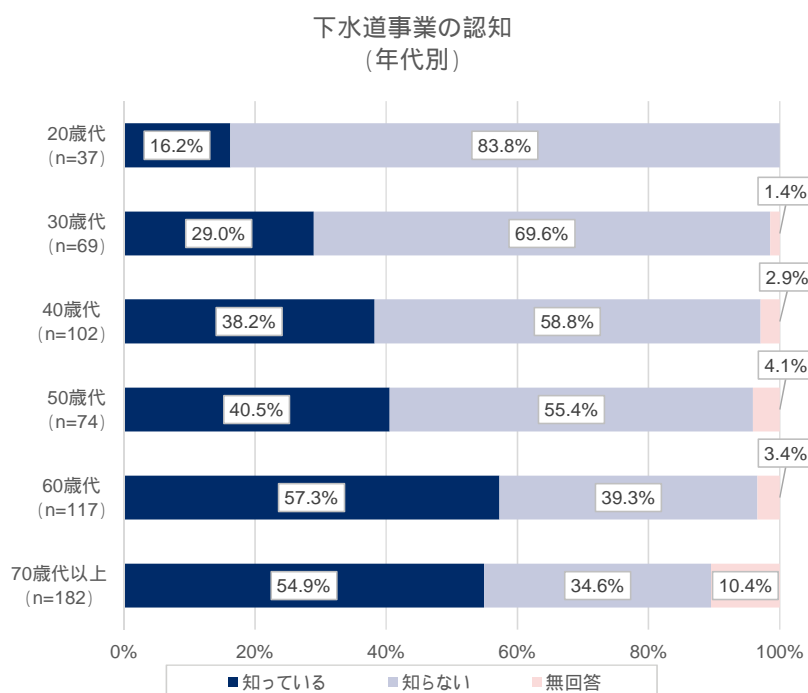
【平成 29 年度調査(n=582)】



選択肢	回答数	割合
知っている	262	45.0%
知らない	290	49.8%
無回答	30	5.2%
計	582	100.0%

イ. 属性分析

年代別でみると、年代が高くなるにつれ、「知っている」の割合は上昇傾向にある。



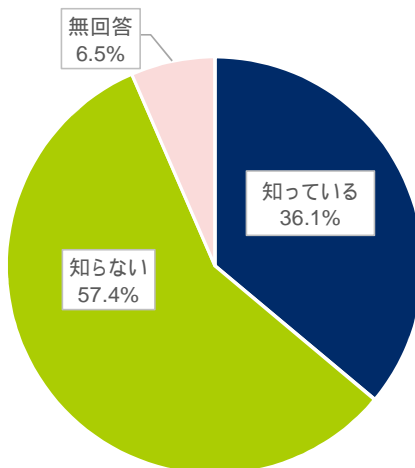
(2) 【問3 - 2】水道事業は料金収入で運営されているのに対して、公共下水道事業の汚水事業は皆さんからの下水道使用料収入のほか、税金が充てられていることをご存知ですか。

ア. 単純集計

「知らない」の割合が 57.4% と、「知っている」よりも高い。

【平成 29 年度調査 (n=582)】

下水道事業への税金充当の認知

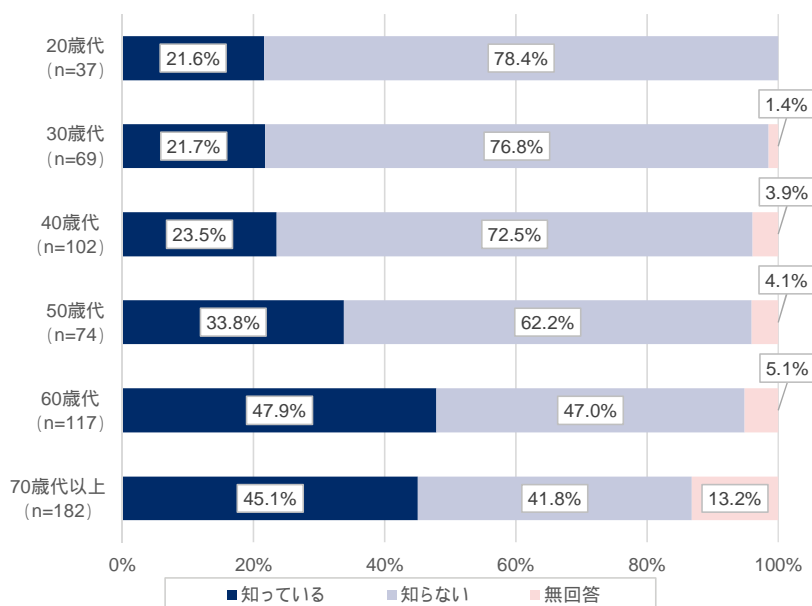


選択肢	回答数	割合
知っている	210	36.1%
知らない	334	57.4%
無回答	38	6.5%
計	582	100.0%

イ. 属性分析

年代別でみると、年代が高くなるにつれ、「知っている」の割合は上昇傾向にある。

下水道事業への税金充当の認知
(年代別)



(3) 【問3 - 3】現在の下水道についてどのように感じておられますか。

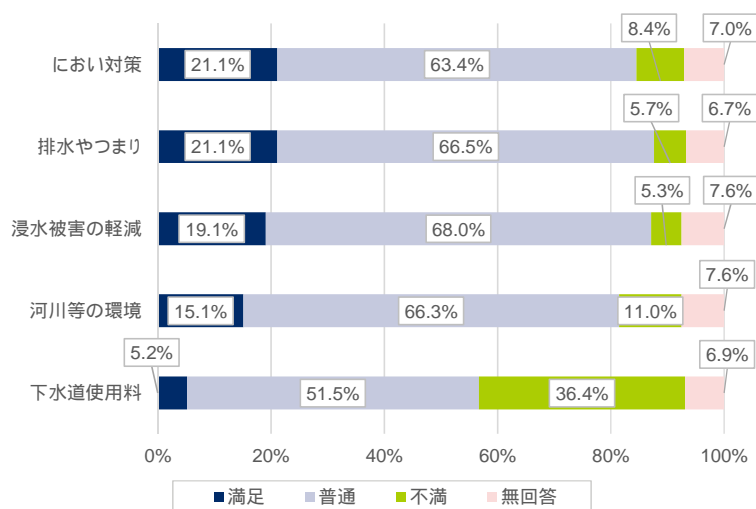
ア. 単純集計

～ において、「満足」の割合は「不満」を上回っている。

「下水道使用料」における「不満」の割合は36.4%と、全ての項目の中で最も高い。

【平成 29 年度調査(n=582)】

現在の下水道に感じていること



選択肢	におい対策		排水やつまり		浸水被害の軽減		河川等の環境		下水道使用料	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	123	21.1%	123	21.1%	111	19.1%	88	15.1%	30	5.2%
普通	369	63.4%	387	66.5%	396	68.0%	386	66.3%	300	51.5%
不満	49	8.4%	33	5.7%	31	5.3%	64	11.0%	212	36.4%
無回答	41	7.0%	39	6.7%	44	7.6%	44	7.6%	40	6.9%
計	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%

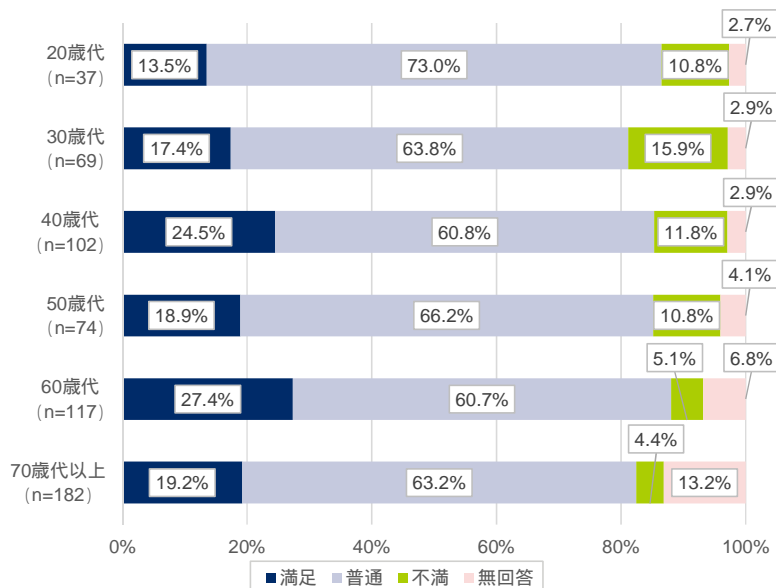
イ. 属性分析

現在の下水道に感じていること(におい対策)

年代別でみると、40 歳代・60 歳代の「満足」の割合はそれぞれ 24.5%、27.4%と他の年代よりも比較的高い。一方、20 歳代の「満足」は 13.5%と最も低い。

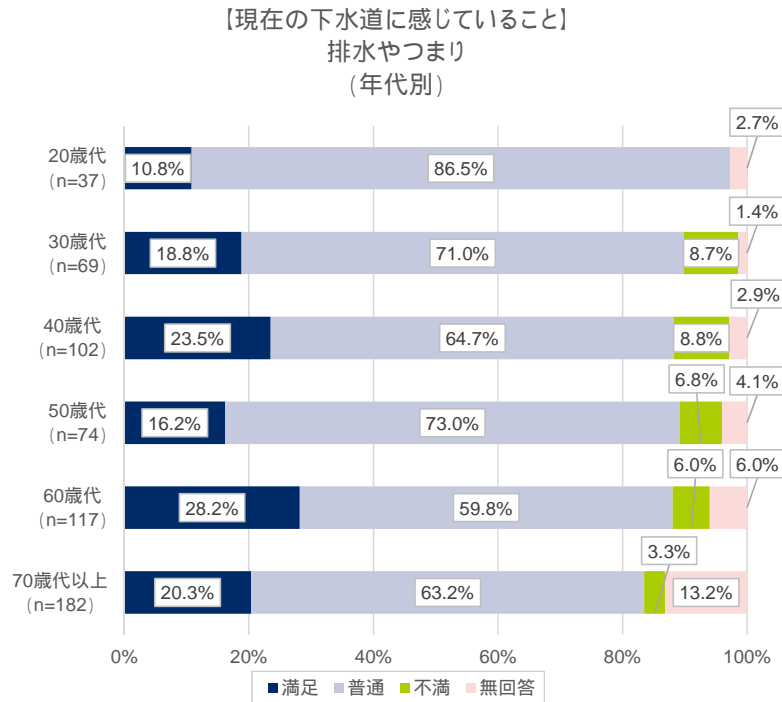
【現在の下水道に感じていること】

におい対策
(年代別)



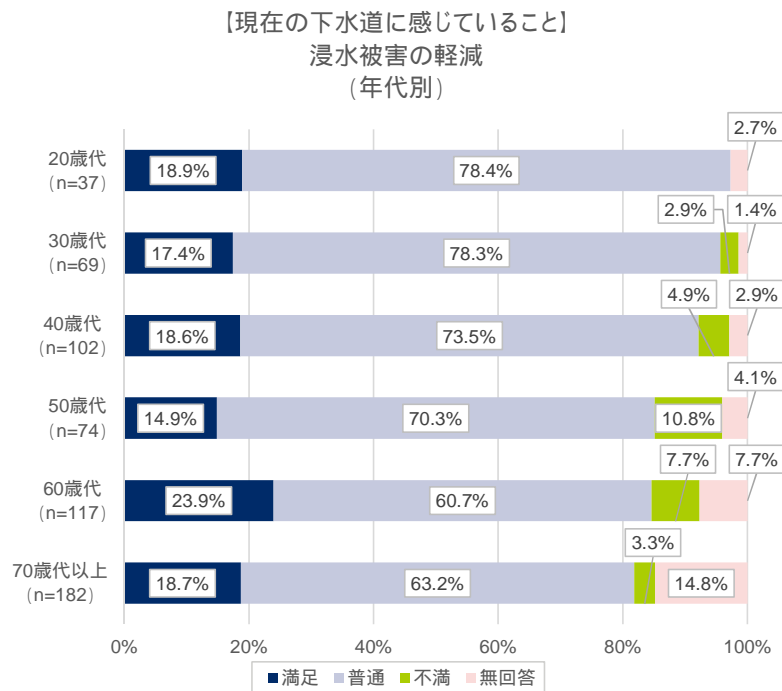
現在の下水道に感じていること(排水やつまり)

年代別で見ると、60歳代の「満足」は28.2%と最も高く、「不満」も6.0%と比較的低い。20歳代の「満足」の割合は10.8%と最も低いが、「不満」は0%である。



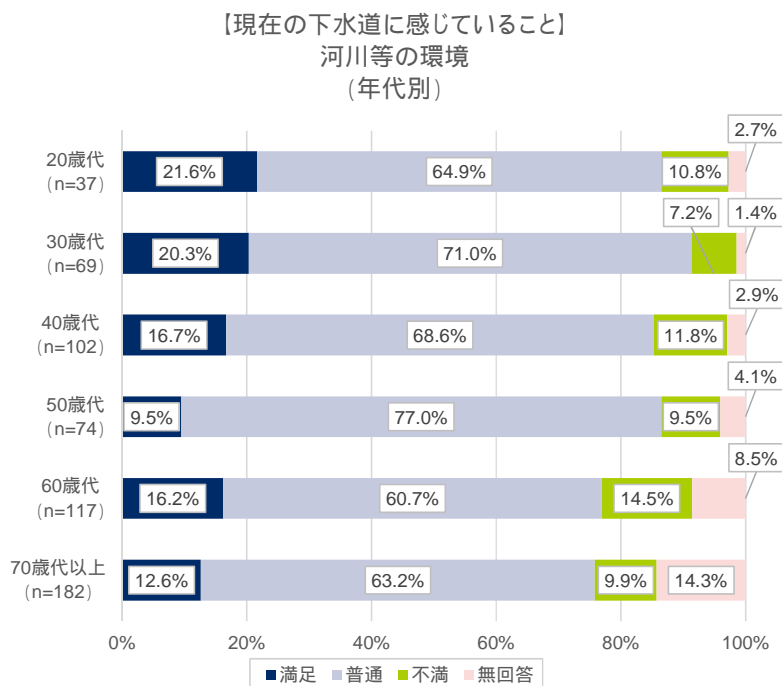
現在の下水道に感じていること(浸水被害の軽減)

年代別で見ると、60歳代の「満足」の割合は23.9%と最も高いが、「不満」も7.7%と比較的高い。50歳代の「満足」は14.9%と最も低く、「不満」も10.8%と最も高い。



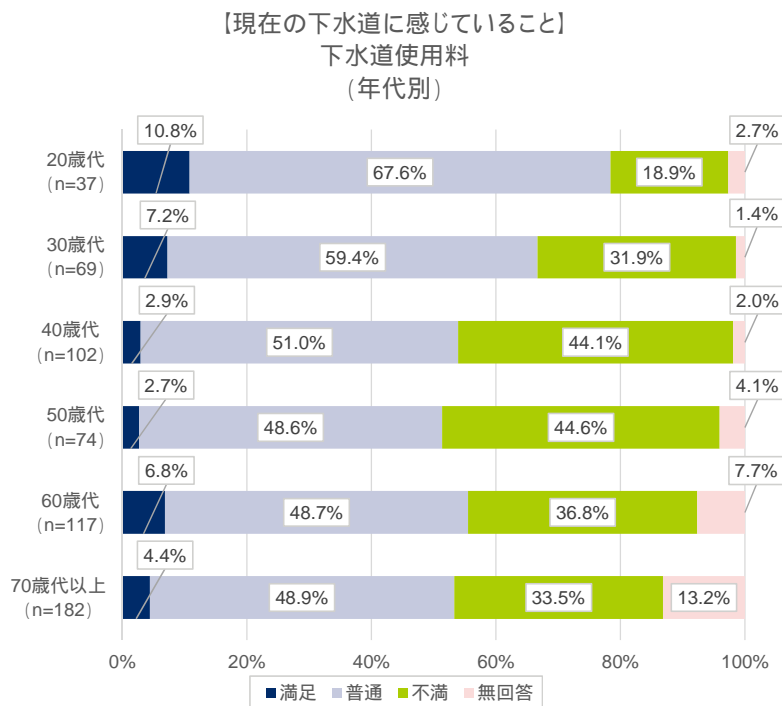
現在の下水道に感じていること(河川等の環境)

年代別で見ると、20歳代から50歳代にかけて年代が高くなるにつれ、「満足」の割合は低下している。



現在の下水道に感じていること(下水道使用料)

年代別で見ると、20歳代から50歳代にかけて年代が高くなるにつれ、「満足」の割合は低下しており、「不満」が上昇している。



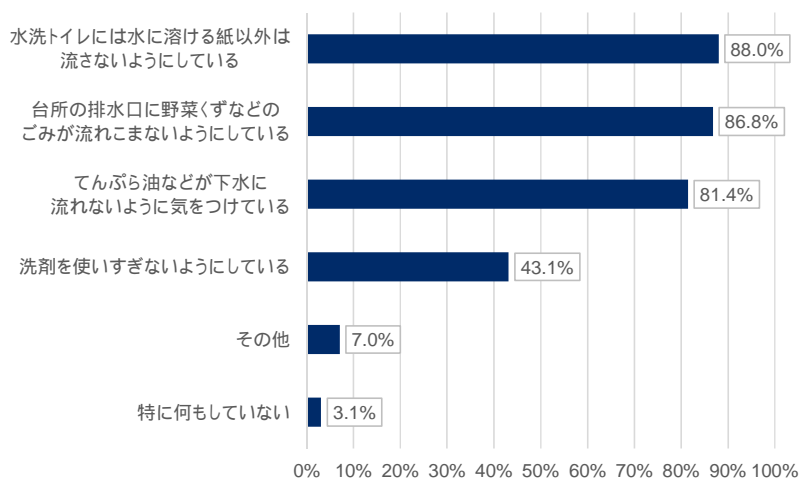
(4) 【問3 - 4】あなたは、下水道を使用するに当たって、どのようなことに気をつけていますか。(複数回答可)

ア. 単純集計

「水洗トイレには水に溶ける紙以外は流さないようにしている」の割合が 88.0%と最も高い。次いで、「台所の排水口に野菜くずなどのごみが流れこまないようにしている」、「てんぷら油などが下水に流れないように気をつけている」が続く。

【平成 29 年度調査 (n=582)】

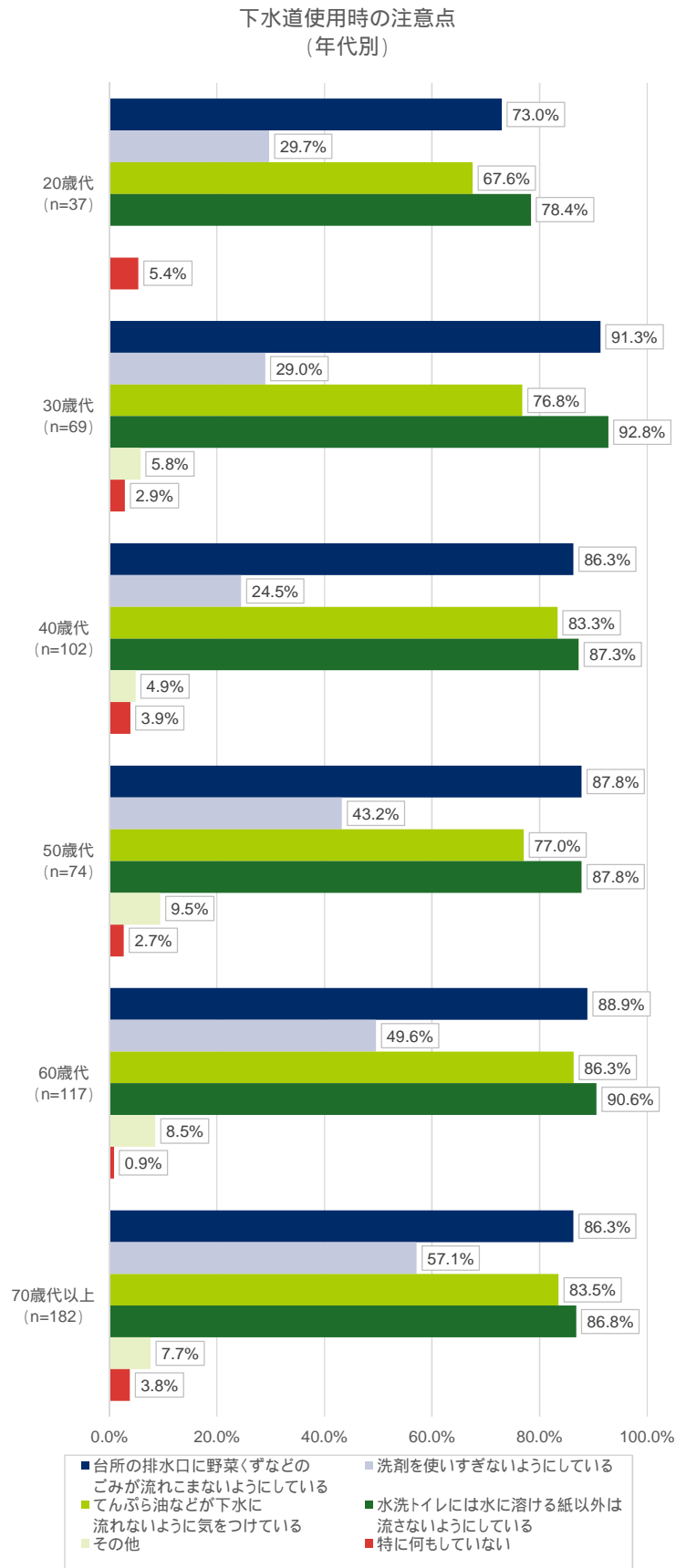
下水道使用時の注意点



選択肢	回答数	割合
水洗トイレには水に溶ける紙以外は流さないようにしている	512	88.0%
台所の排水口に野菜くずなどのごみが流れこまないようにしている	505	86.8%
てんぷら油などが下水に流れないように気をつけている	474	81.4%
洗剤を使いすぎないようにしている	251	43.1%
その他	41	7.0%
特に何もしていない	18	3.1%
計	1,801	-

イ. 属性分析

年代別でみると、年代が高くなるにつれ、「洗剤を使いすぎないようにしている」の割合が上昇傾向にある。また、20歳代は「特に何もしていない」が5.4%と最も高い。



4. 上下水道料金について

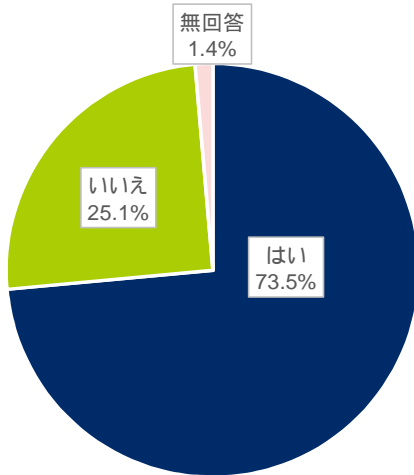
(1) 【問4 - 1】上下水道料金は、使用しなくてもかかる料金と使用した水量にかかる料金の合計になっていますが、ご存知ですか。

ア. 単純集計

「はい」の割合が73.5%と、「いいえ」よりも高い。
 前回調査より、「はい」の割合が上昇している。

【平成 29 年度調査 (n=582)】

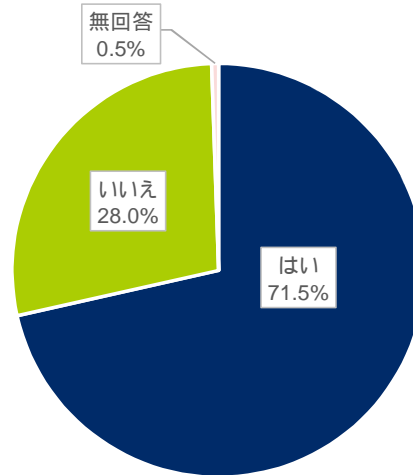
上下水道料金の内訳への理解



選択肢	回答数	割合
はい	428	73.5%
いいえ	146	25.1%
無回答	8	1.4%
計	582	100.0%

【前回調査 (n=554)】

上下水道料金の内訳への理解

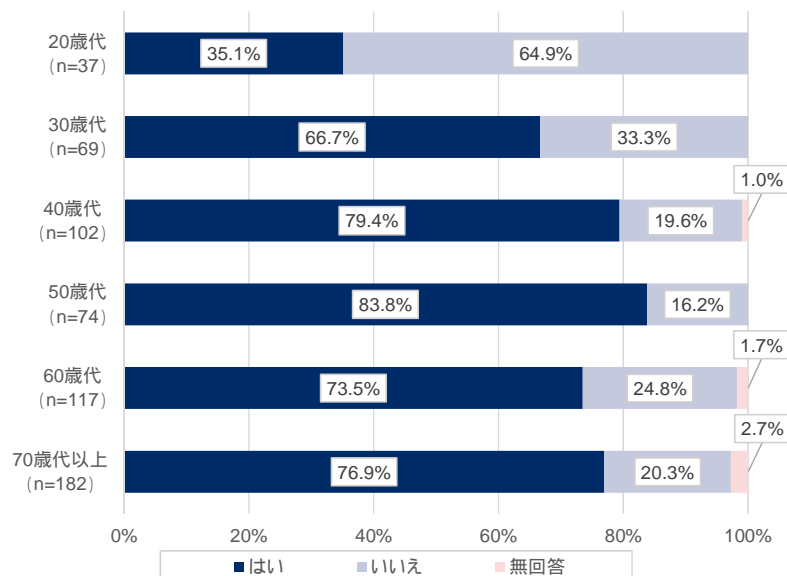


選択肢	回答数	割合
はい	396	71.5%
いいえ	155	28.0%
無回答	3	0.5%
計	554	100.0%

イ. 属性分析

年代別でみると、50 歳代の「はい」の割合は 83.8%と最も高く、20 歳代の「はい」は 35.1%と最も低い。

上下水道料金の内訳への理解
 (年代別)



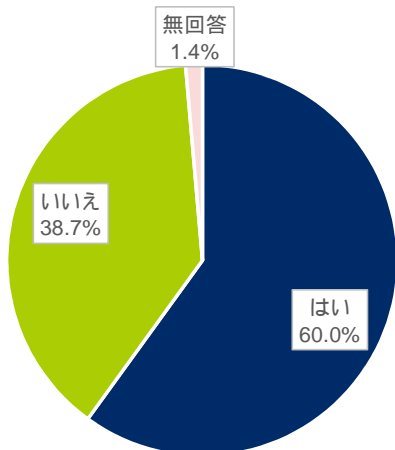
(2) 【問4 - 2】上下水道料金は使用する水量により単価が異なりますが、使用量が多ければ単価は高くなることをご存知ですか。

ア. 単純集計

「はい」の割合が60.0%と、「いいえ」よりも高い。
 前回調査より、「はい」の割合が上昇している。

【平成 29 年度調査 (n=582)】

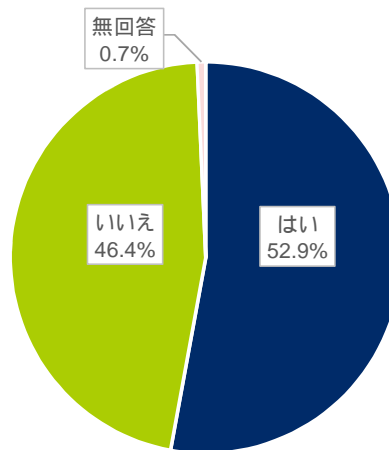
上下水道料金の使用料と
単価の関係への理解



選択肢	回答数	割合
はい	349	60.0%
いいえ	225	38.7%
無回答	8	1.4%
計	582	100.0%

【前回調査 (n=554)】

上下水道料金の使用料と
単価の関係への理解

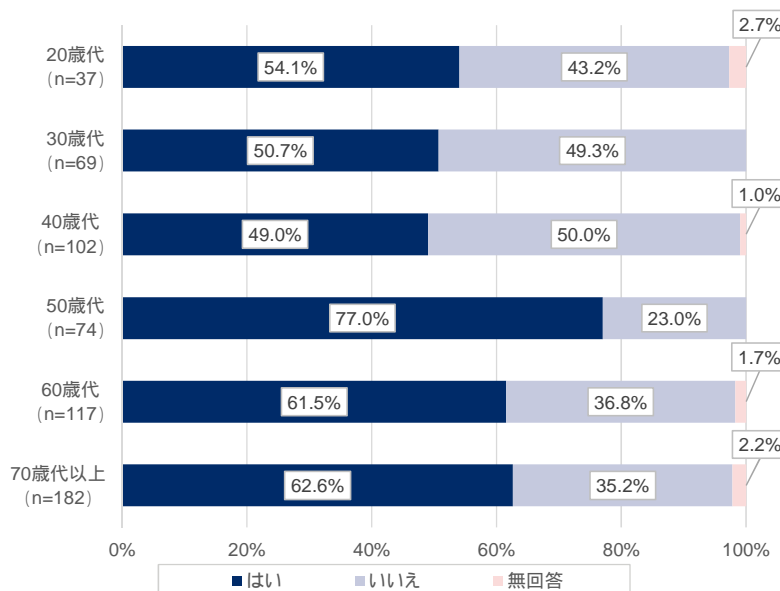


選択肢	回答数	割合
はい	293	52.9%
いいえ	257	46.4%
無回答	4	0.7%
計	554	100.0%

イ. 属性分析

年代別で見ると、50歳代の「はい」の割合は77.0%と最も高い。また、50歳～70歳代以上の「はい」は20歳代～40歳代よりも高い。

上下水道料金の使用料と単価の関係への理解
(年代別)



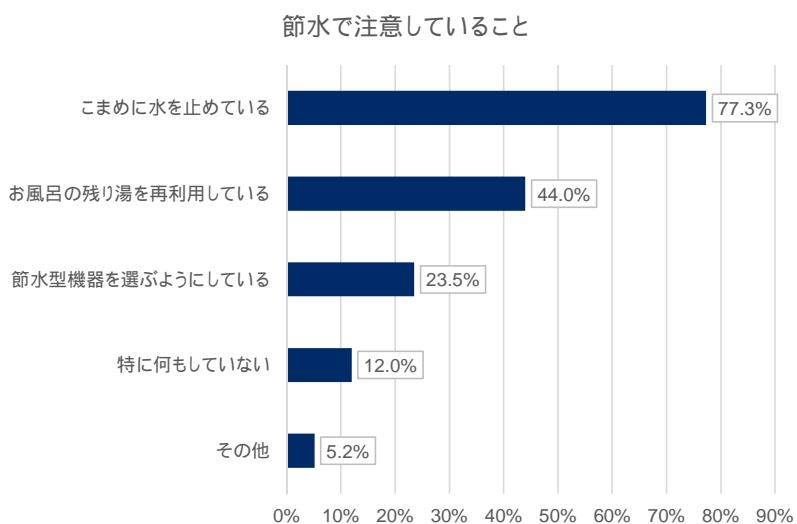
5. 節水機器について

(1) 【問5 - 1】あなたは、節水についてどのようなことに気をつけていますか。(複数回答可) 前回調査ではこの設問を設けていない。

ア. 単純集計

「こまめに水を止めている」の割合が77.3%と最も高い。次いで、「お風呂の残り湯を再利用している」が44.0%で続く。

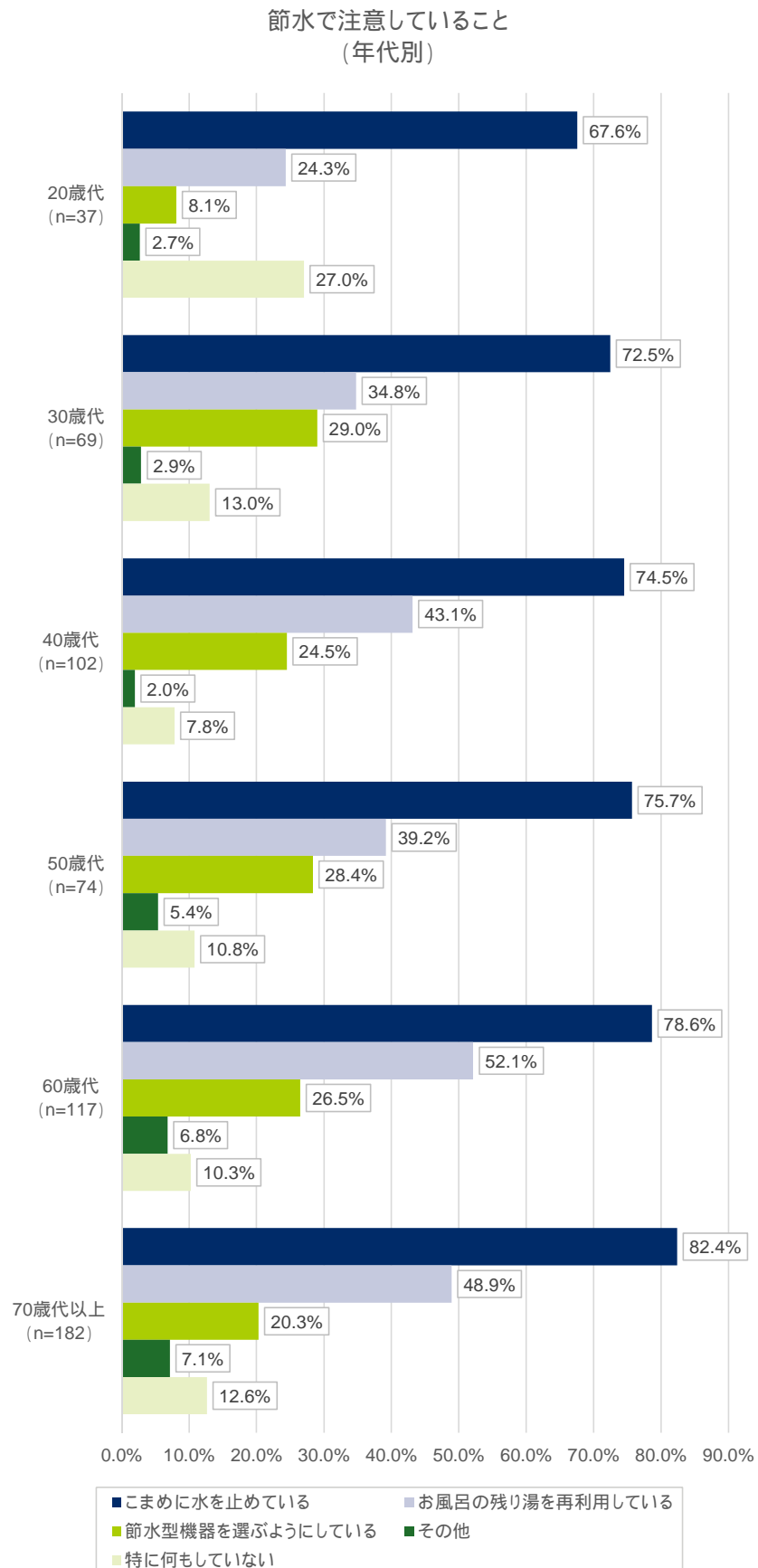
【平成 29 年度調査 (n=582)】



選択肢	回答数	割合
こまめに水を止めている	450	77.3%
お風呂の残り湯を再利用している	256	44.0%
節水型機器を選ぶようにしている	137	23.5%
特に何もしていない	70	12.0%
その他	30	5.2%
計	943	-

イ. 属性分析

年代別で見ると、20歳代から50歳代にかけて年代が高くなるにつれ、「こまめに水を止めている」の割合は上昇している。また、20歳代の「特に何もしていない」は27.0%と最も高い。



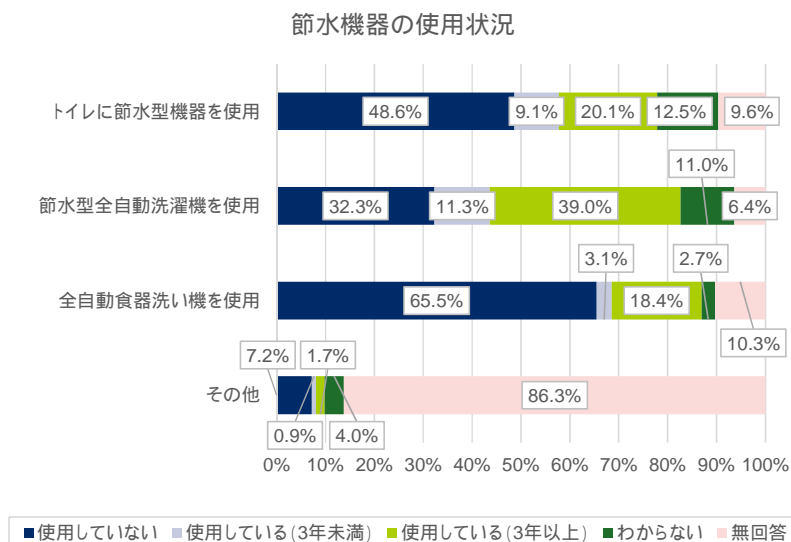
(2) 【問5 - 2】次の節水機器の使用等は、お宅ではいつ頃からですか。

ア. 単純集計

「節水型全自動洗濯機を使用」の「使用している(3年未満)」、「使用している(3年以上)」の割合は他の項目よりも高い。

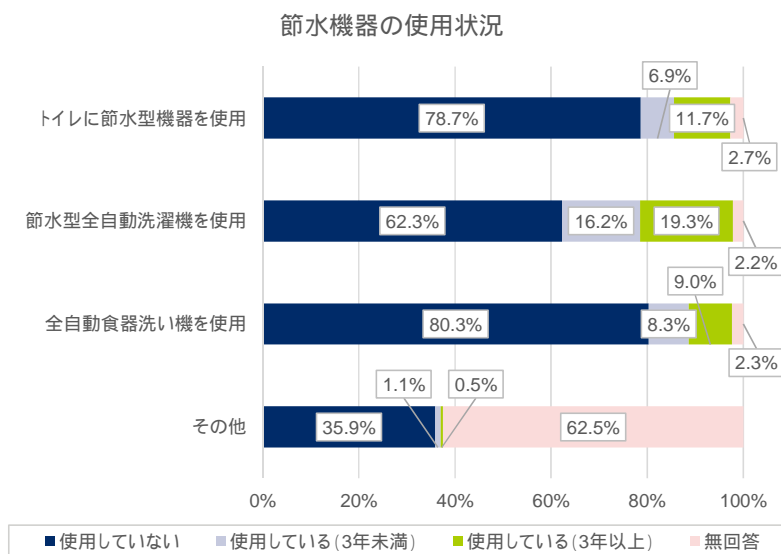
前回調査より、～ の「使用している(3年未満)」、「使用している(3年以上)」の合計割合が上昇している。

【平成 29 年度調査 (n=582)】



選択肢	トイレに節水型機器を使用		節水型全自動洗濯機を使用		全自動食器洗い機を使用		その他	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
使用していない	283	48.6%	188	32.3%	381	65.5%	42	7.2%
使用している(3年未満)	53	9.1%	66	11.3%	18	3.1%	5	0.9%
使用している(3年以上)	117	20.1%	227	39.0%	107	18.4%	10	1.7%
わからない	73	12.5%	64	11.0%	16	2.7%	23	4.0%
無回答	56	9.6%	37	6.4%	60	10.3%	502	86.3%
計	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%

【前回調査 (n=554)】

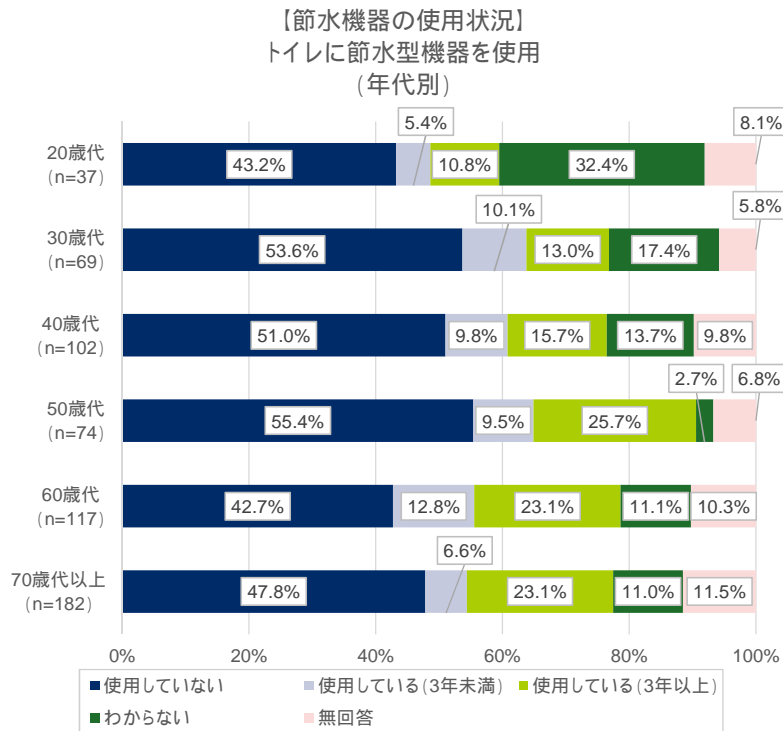


選択肢	トイレに節水型機器を使用		節水型全自動洗濯機を使用		全自動食器洗い機を使用		その他	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
使用していない	436	78.7%	345	62.3%	445	80.3%	199	35.9%
使用している(3年未満)	38	6.9%	90	16.2%	46	8.3%	6	1.1%
使用している(3年以上)	65	11.7%	107	19.3%	50	9.0%	3	0.5%
無回答	15	2.7%	12	2.2%	13	2.3%	346	62.5%
計	554	100.0%	554	100.0%	554	100.0%	554	100.0%

イ. 属性分析

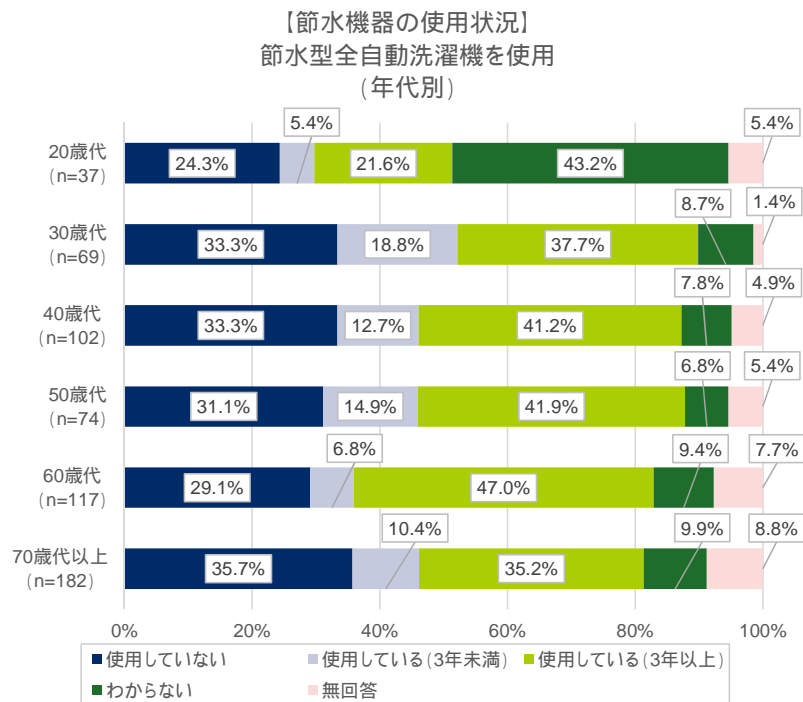
節水機器の使用状況(トイレに節水型機器を使用)

年代別で見ると、50歳～70歳代以上の「使用している(3年未満)」、「使用している(3年以上)」の合計割合は20歳代～40歳代に比べ高い。また、20歳代の「わからない」は32.4%と最も高い。



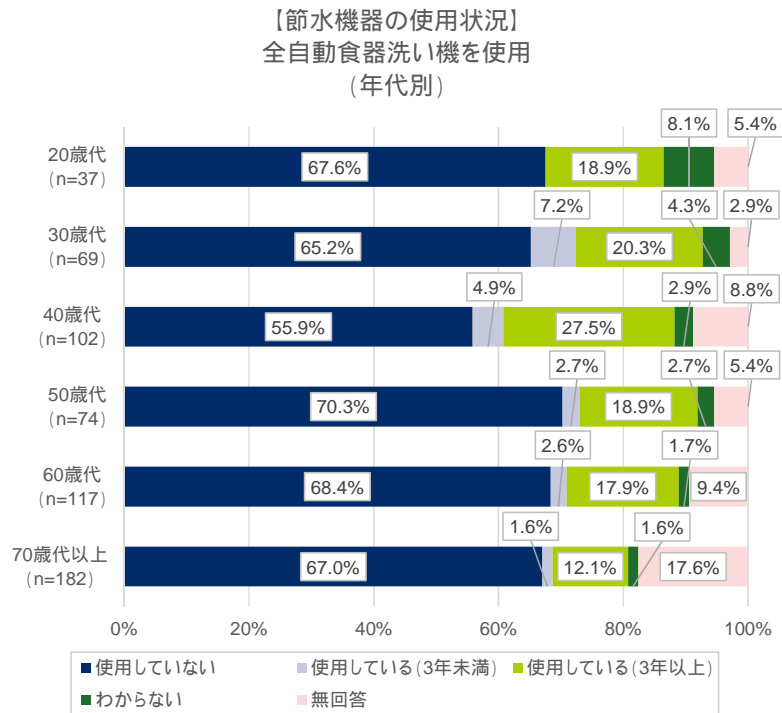
節水機器の使用状況(節水型全自動洗濯機を使用)

年代別で見ると、20歳代以外の「使用している(3年未満)」、「使用している(3年以上)」の合計割合は5割以上を占めているが、20歳代の合計割合は27.0%と最も低く、「わからない」も43.2%と最も高い。



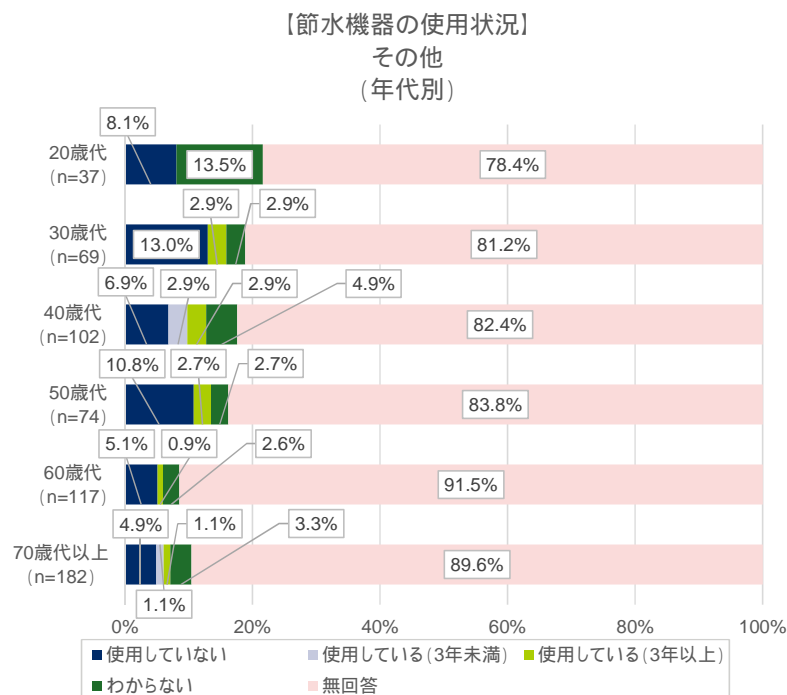
節水機器の使用状況(全自動食器洗い機を使用)

年代別でみると、30歳代～40歳代の「使用している(3年未満)」「使用している(3年以上)」の合計割合は他の年代に比べ高い。70歳代は13.7%と合計割合は最も低い。



節水機器の使用状況(その他)

年代別でみると、30歳代・40歳代の「使用している(3年未満)」「使用している(3年以上)」の合計割合は5.8%と最も高い。20歳代の「わからない」は13.5%と最も高い。



6. 災害時について 前回調査ではこの区分について設問を設けていない。

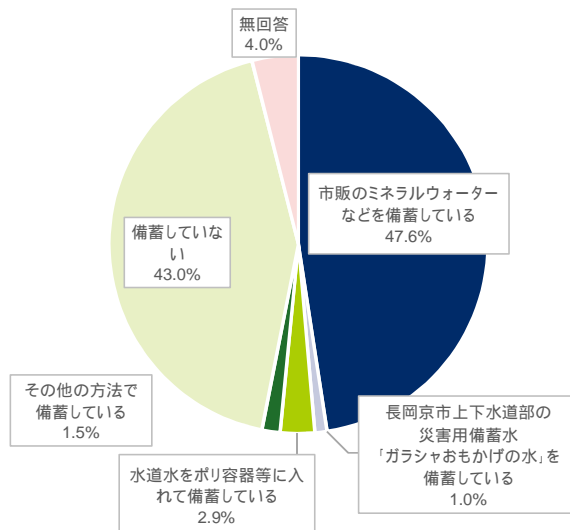
(1) 【問6 - 1】あなたはご家庭では、地震等の災害に備えて飲料水の備蓄をしていますか。

ア. 単純集計

「市販のミネラルウォーターなどを備蓄している」の割合が 47.6%と最も高い。次いで、「備蓄していない」が 43.0%で続く。

【平成 29 年度調査 (n=582)】

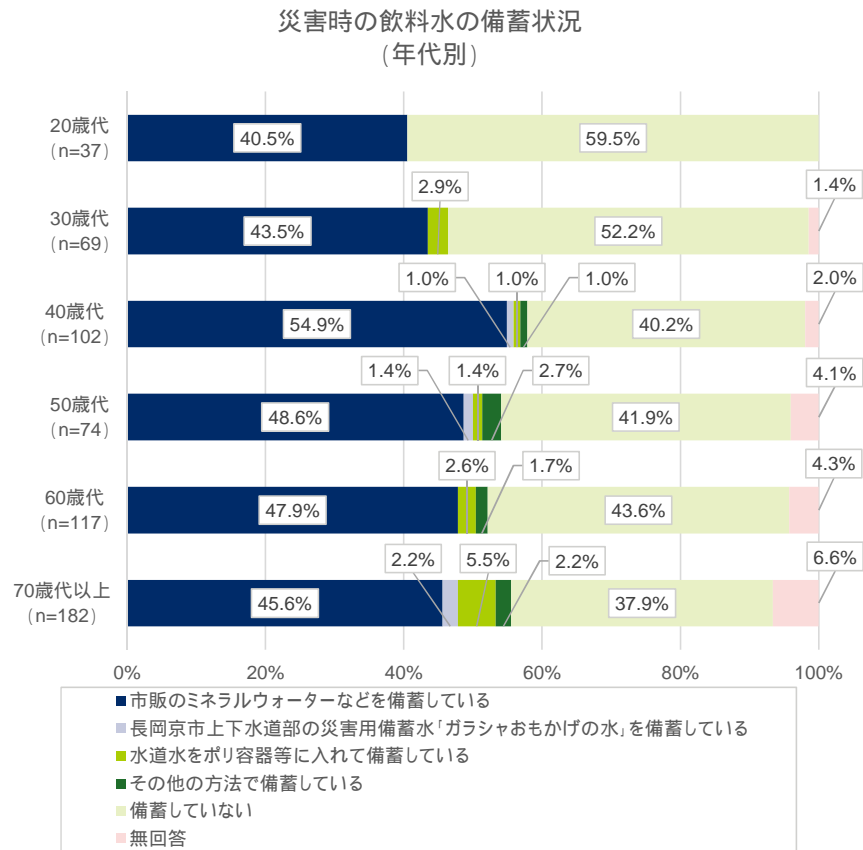
災害時の飲料水の備蓄状況



選択肢	回答数	割合
市販のミネラルウォーターなどを備蓄している	277	47.6%
長岡京市上下水道部の災害用備蓄水「ガラシャおもかげの水」を備蓄している	6	1.0%
水道水をポリ容器等に入れて備蓄している	17	2.9%
その他の方法で備蓄している	9	1.5%
備蓄していない	250	43.0%
無回答	23	4.0%
計	582	100.0%

イ. 属性分析

年代別でみると、40歳代～70歳代以上は「備蓄していない」の割合が20歳代～30歳代に比べ低い。40歳代の「市販のミネラルウォーターなどを備蓄している」が54.9%と最も高い。



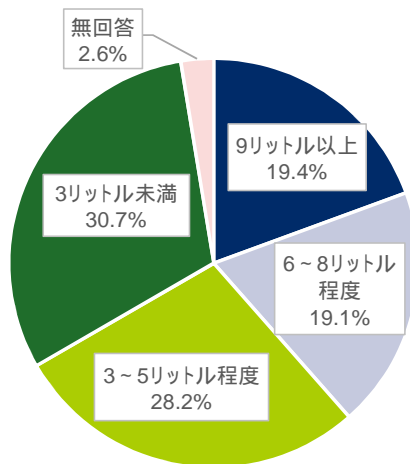
(2) 【問6 - 2】問6 - 1において、1～4に回答された方について、ご家族1人あたりの飲料水の備蓄量についてお聞きます。

ア. 単純集計

「3リットル未満」の割合が30.7%と最も高い。次いで、「3～5リットル程度」が28.2%で続く。

【平成29年度調査(n=309)】

災害時の飲料水の備蓄量

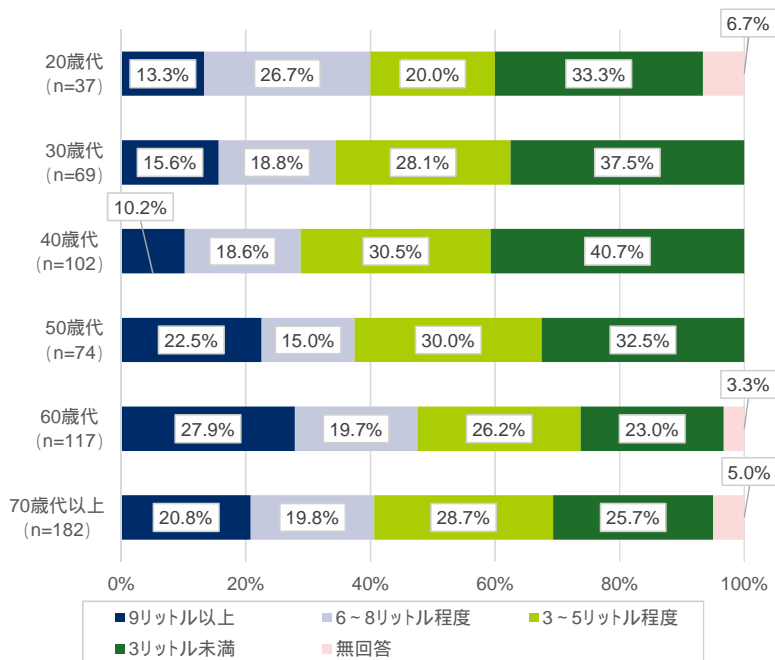


選肢	回答数	割合
9リットル以上	60	19.4%
6～8リットル程度	59	19.1%
3～5リットル程度	87	28.2%
3リットル未満	95	30.7%
無回答	8	2.6%
計	309	100.0%

イ. 属性分析

年代別でみると、20歳代～40歳代に比べ、50歳代～70歳代以上は「9リットル以上」の割合が高い。

災害時の飲料水の備蓄量
(年代別)



(3) 【問6 - 3】災害時に避難所となる小中学校などに、災害時に使用できるようトイレ(災害用マンホールトイレ)を整備しています。

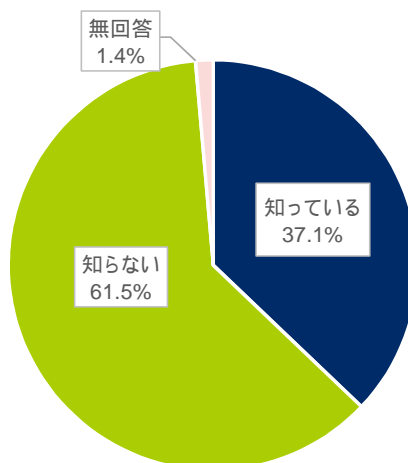
小中学校等の避難所に災害用マンホールトイレがあることをご存知ですか。

ア. 単純集計

「知らない」の割合が 61.5%と、「知っている」よりも高い。

【平成 29 年度調査(n=582)】

マンホールトイレの認知

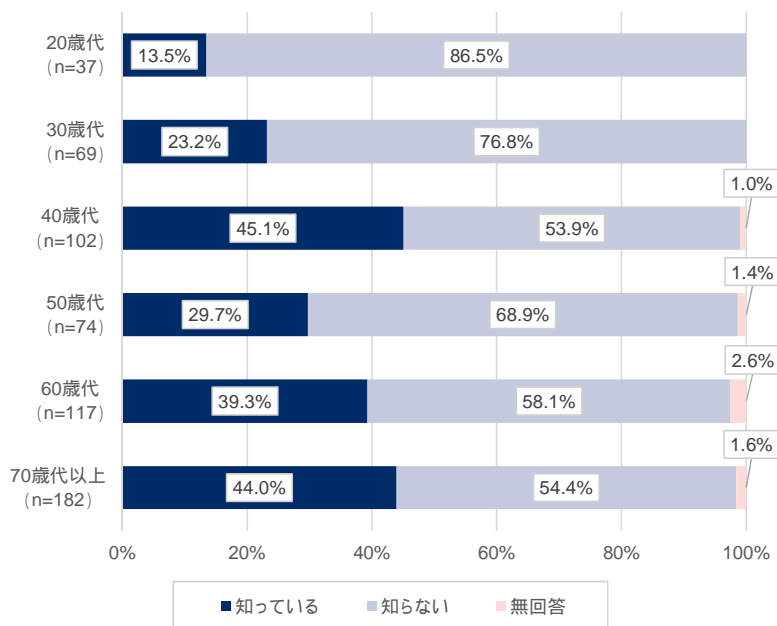


選択肢	回答数	割合
知っている	216	37.1%
知らない	358	61.5%
無回答	8	1.4%
計	582	100.0%

イ. 属性分析

年代別でみると、年代が高くなるにつれ、「知っている」の割合が上昇傾向にある。また、40 歳代の「知っている」は 45.1%と最も高い。

災害用マンホールトイレの認知度 (年代別)



(4) 【問6 - 3】災害時に避難所となる小中学校などに、災害時に使用できるようトイレ(災害用マンホールトイレ)を整備しています。

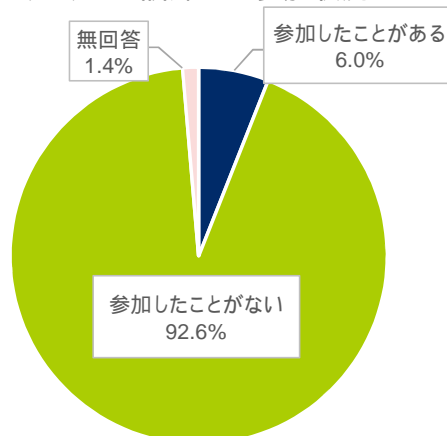
災害用マンホールトイレの組み立て訓練に参加されたことはありますか。

ア. 単純集計

「参加したことがない」の割合が 92.6%と最も高い。

【平成 29 年度調査(n=582)】

マンホールトイレの
組み立て訓練への参加状況

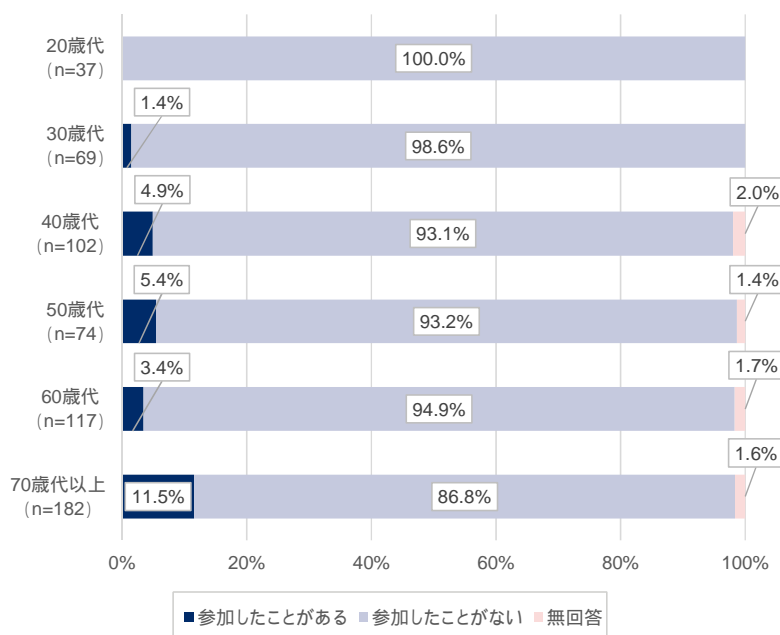


選択肢	回答数	割合
参加したことがある	35	6.0%
参加したことがない	539	92.6%
無回答	8	1.4%
計	582	100.0%

イ. 属性分析

年代別でみると、70歳代以上の「参加したことがある」の割合は 11.5%と最も高い。一方、20歳代～30歳代は他の年代と比べ低い。

組み立て訓練への参加状況
(年代別)



7. お客様サービスについて

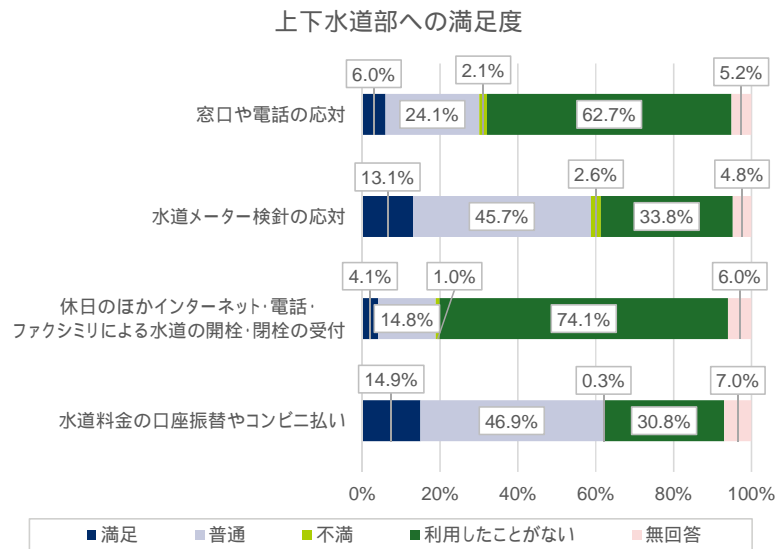
(1) 【問7 - 1】上下水道部のお客さま対応やサービスに対するあなたの満足度をお聞きします。 前回調査ではこの設問を設けていない。

ア. 単純集計

全ての項目で「不満」よりも「満足」の割合が高い。

や において、「利用したことがない」との回答が過半数を占める。。

【平成 29 年度調査 (n=582)】

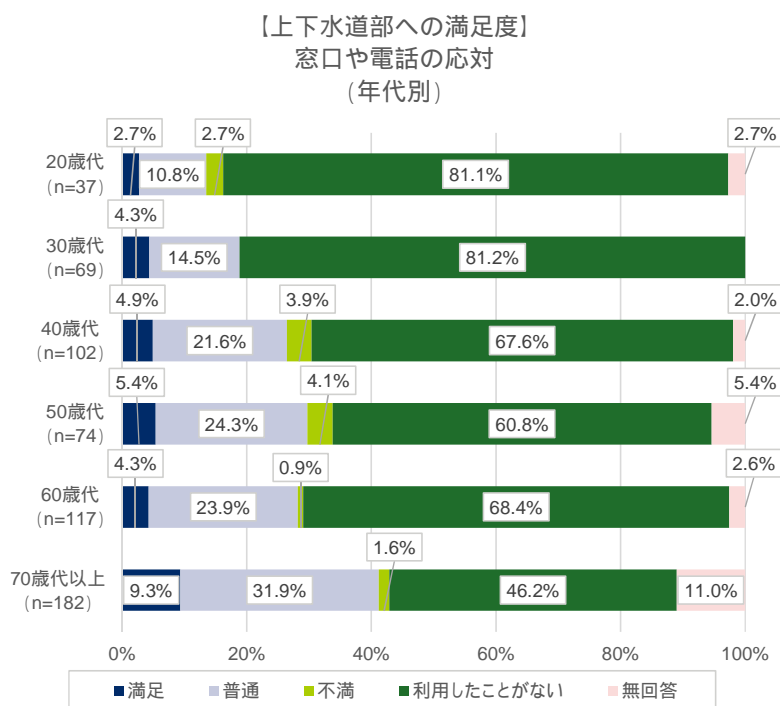


選択肢	窓口や電話の対応		水道メーター検針の対応		休日のほかインターネット・電話・ファクシミリによる水道の開栓・閉栓の受付		水道料金の口座振替やコンビニ払い	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	35	6.0%	76	13.1%	24	4.1%	87	14.9%
普通	140	24.1%	266	45.7%	86	14.8%	273	46.9%
不満	12	2.1%	15	2.6%	6	1.0%	2	0.3%
利用したことがない	365	62.7%	197	33.8%	431	74.1%	179	30.8%
無回答	30	5.2%	28	4.8%	35	6.0%	41	7.0%
計	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%

イ. 属性分析

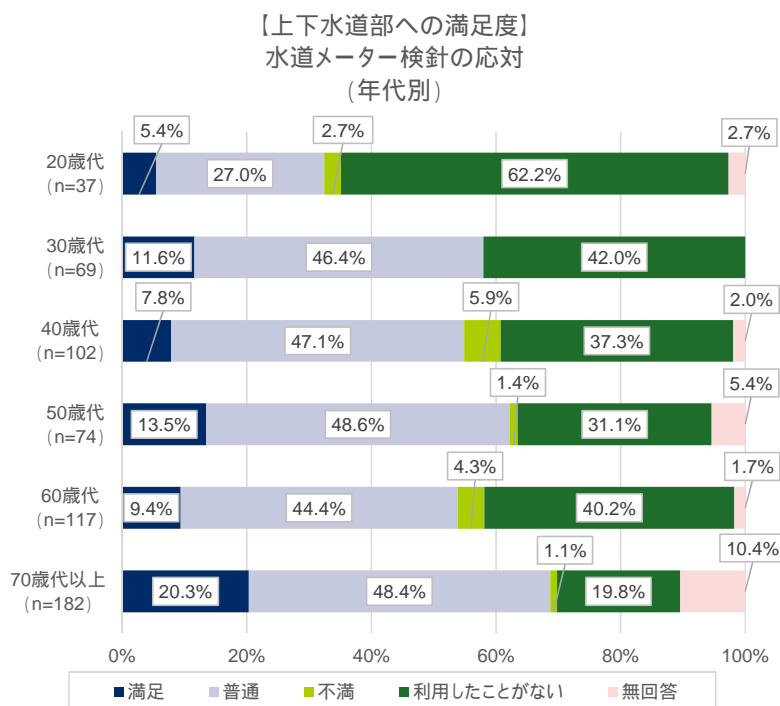
上下水道部への満足度(窓口や電話の対応)

年代別で見ると、年代が高くなるにつれ、「利用したことがない」の割合が低下傾向にある。また、70歳代以上の「満足」は9.3%と最も高い。



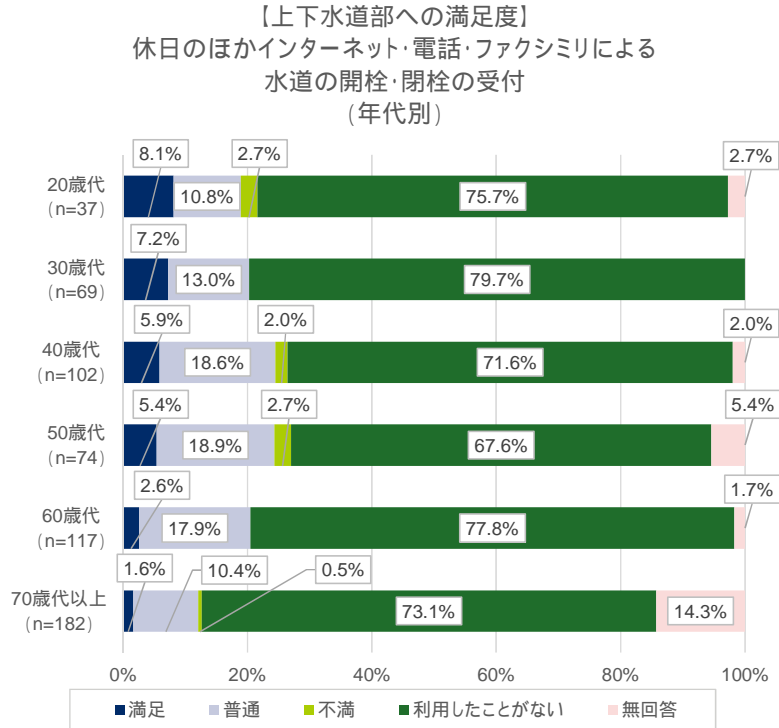
上下水道部への満足度(水道メーター検針の対応)

年代別で見ると、70歳代以上の「満足」の割合は20.3%と最も高く、20歳代は5.4%と最も低い。また、70歳代以上は「利用したことがない」が19.8%と最も低く、20歳代は62.2%と最も高い。



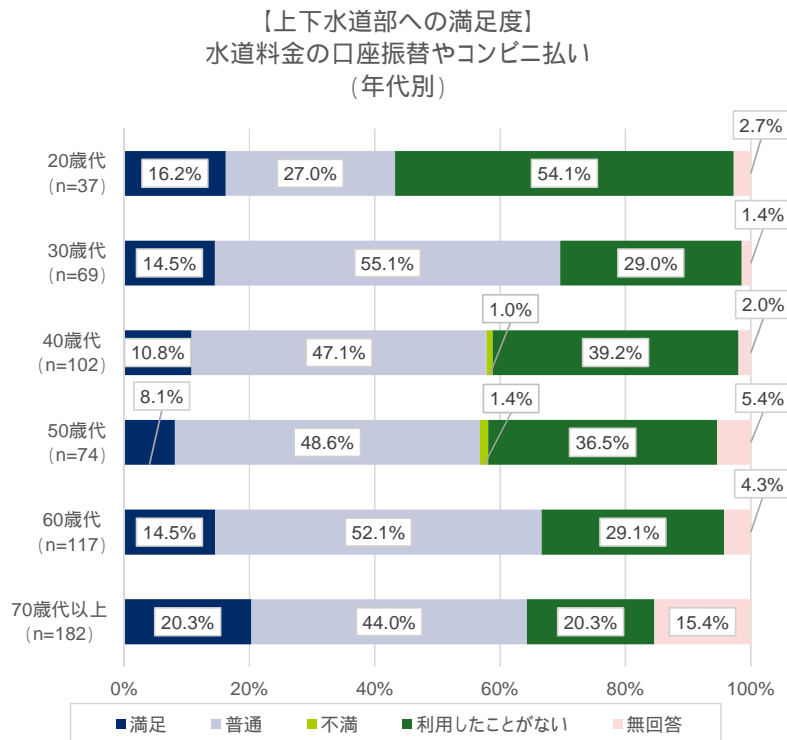
上下水道部への満足度(休日のほかインターネット・電話・ファクシミリによる水道の回線・回線の受付)

年代別で見ると、年代が高くなるにつれ、「満足」の割合が低下している。



上下水道部への満足度(水道料金の口座振替やコンビニ払い)

年代別で見ると、20歳代から50歳代にかけて年代が高くなるにつれ、「満足」の割合は低下しているが、50歳代から70歳代以上にかけて割合が上昇している。また、70歳代以上は20.3%と最も高い。20歳代の「わからない」が54.1%と最も高い。



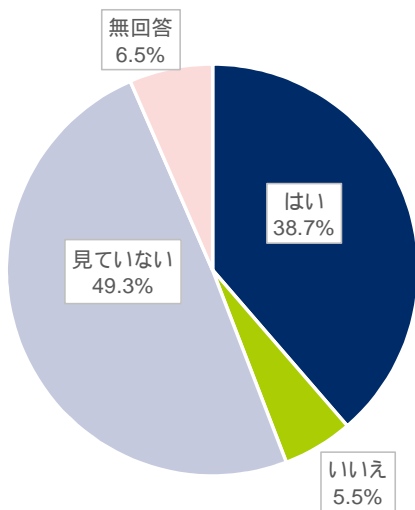
(2) 【問7 - 2】上下水道部が行っている広報活動として「水だより」や「ホームページ」について、わかりやすいですか。

ア. 単純集計

「見ていない」の割合が49.3%と最も高く、次いで「はい」が38.7%で続く。

【平成29年度調査(n=582)】

上下水道部の広報活動への評価



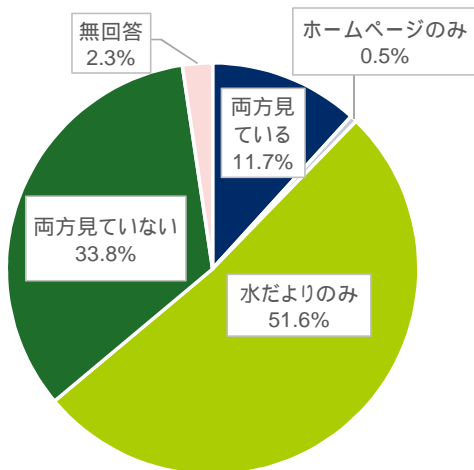
選択肢	回答数	割合
はい	225	38.7%
いいえ	32	5.5%
見ていない	287	49.3%
無回答	38	6.5%
計	582	100.0%

【前回調査】

水道局では広報誌「水だより」と「ホームページ」にて情報をお知らせしていますがご覧になっていますか。(n=554)

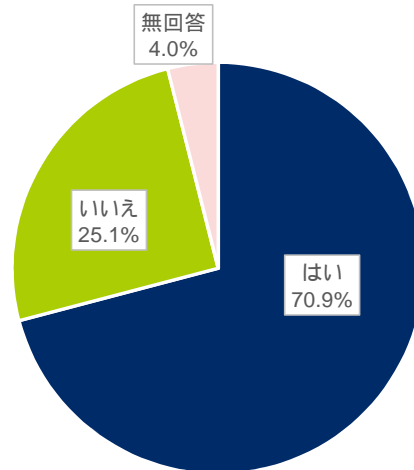
それらの内容はわかりやすいですか。(n=354)

上下水道部の広報活動の認知



選択肢	回答数	割合
両方見ている	65	11.7%
ホームページのみ	3	0.5%
水だよりのみ	286	51.6%
両方見ていない	187	33.8%
無回答	13	2.3%
計	554	100.0%

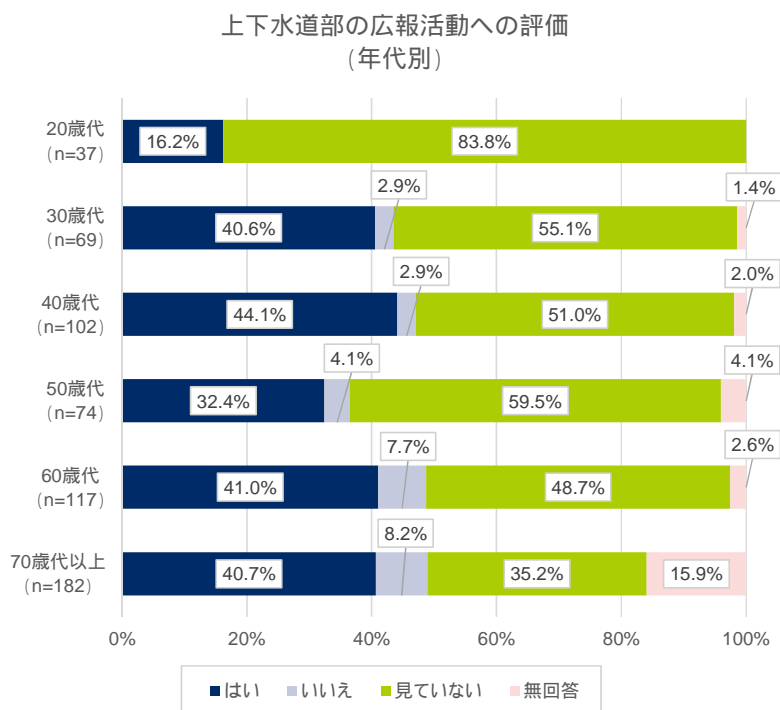
上下水道部の広報活動への評価



選択肢	回答数	割合
はい	251	70.9%
いいえ	89	25.1%
無回答	14	4.0%
計	354	100.0%

イ. 属性分析

年代別でみると、20歳代の「見ていない」の割合が83.8%と最も高く、次いで、50歳代が59.5%で続く。60歳代・70歳代以上は「見ていない」が他の世代に比べて低いが、「いいえ」の割合も高い。



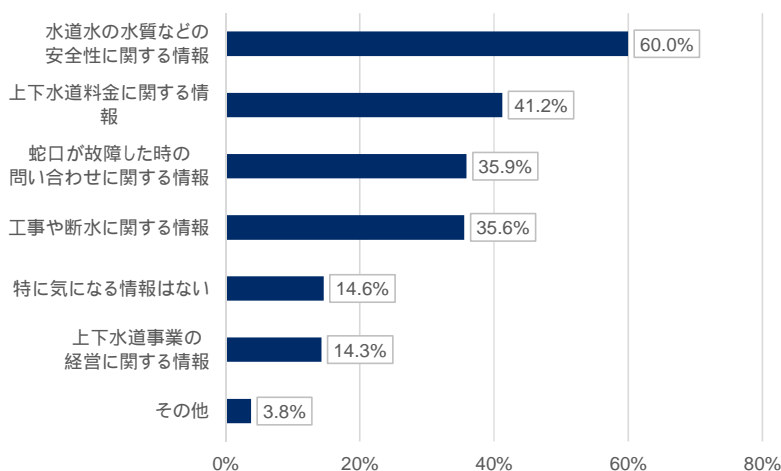
(3) 【問7 - 3】あなたは、水道や下水道について知りたい情報や興味のある情報は、どのようなものですか。(複数回答可)

ア. 単純集計

「水道水の水質などの安全性に関する情報」の割合が60.0%と最も高く、次いで「上下水道料金に関する情報」が41.2%で続く。

【平成29年度調査(n=582)】

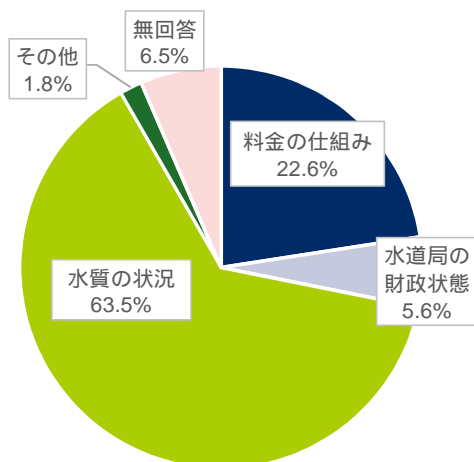
知りたい情報・興味のある情報



選択肢	回答数	割合
水道水の水質などの安全性に関する情報	349	60.0%
上下水道料金に関する情報	240	41.2%
蛇口が故障した時の問い合わせに関する情報	209	35.9%
工事や断水に関する情報	207	35.6%
特に気になる情報はない	85	14.6%
上下水道事業の経営に関する情報	83	14.3%
その他	22	3.8%
計	1,195	-

【前回調査(n=554)】

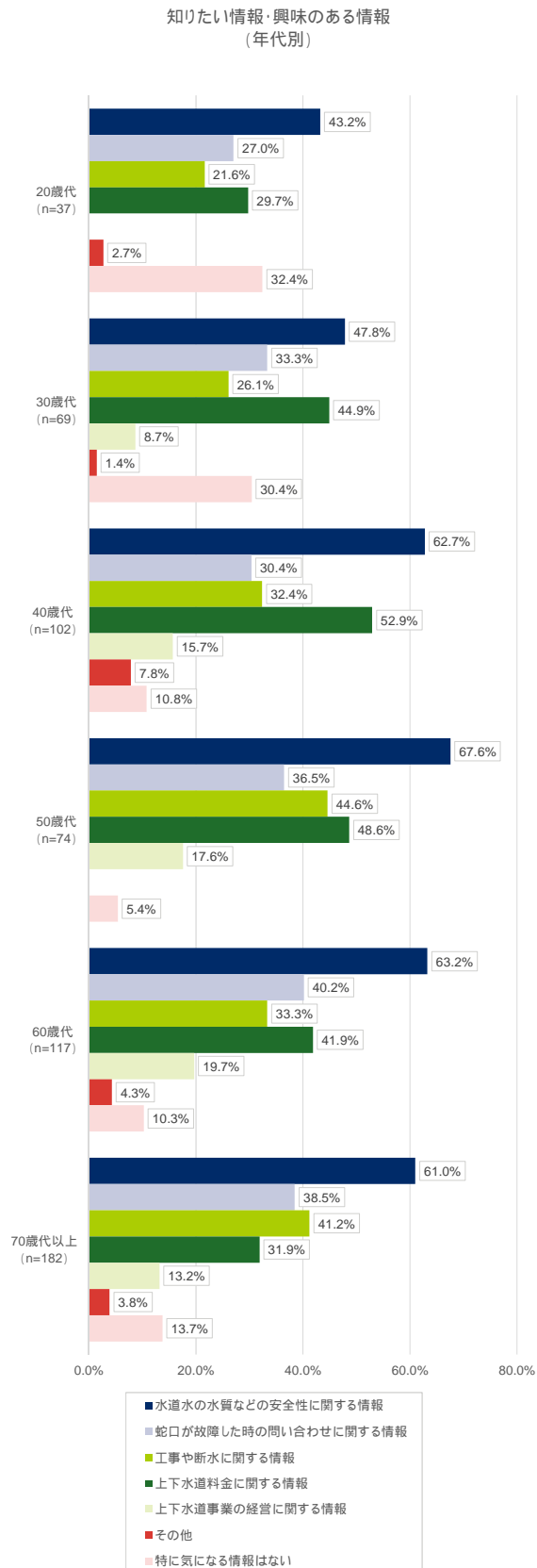
知りたい情報・興味のある情報



選択肢	回答数	割合
料金の仕組み	125	22.6%
水道局の財政状態	31	5.6%
水質の状況	352	63.5%
その他	10	1.8%
無回答	36	6.5%
計	554	100.0%

イ. 属性分析

年代別でみると、20歳代・30歳代の「特に気になる情報はない」の割合がそれぞれ32.4%、30.4%と他の世代と比べて高い。20歳代～60歳代は、「水道水の水質などの安全性に関する情報」「蛇口が故障した時の問い合わせに関する情報」の順で高いが、70歳代以上は「水道水の水質などの安全性に関する情報」「工事や断水に関する情報」の順で高い。



(4)【問7 - 4】上下水道部が行っている広報活動について、どの程度ご存知ですか。

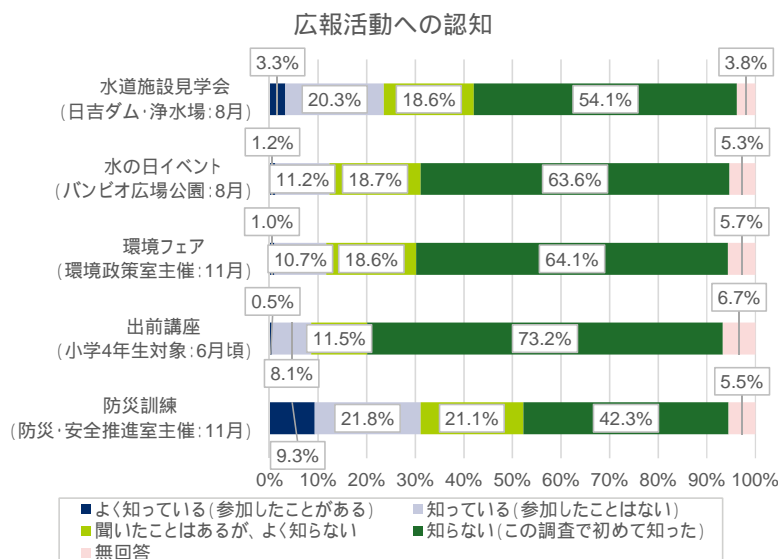
前回調査ではこの設問を設けていない。

ア. 単純集計

全ての項目で、「知らない(この調査で初めて知った)」の割合が最も高い。

全ての項目の中で、「防災訓練」の認知度が最も高く、次いで「水道施設見学会」が続く。

【平成 29 年度調査(n=582)】



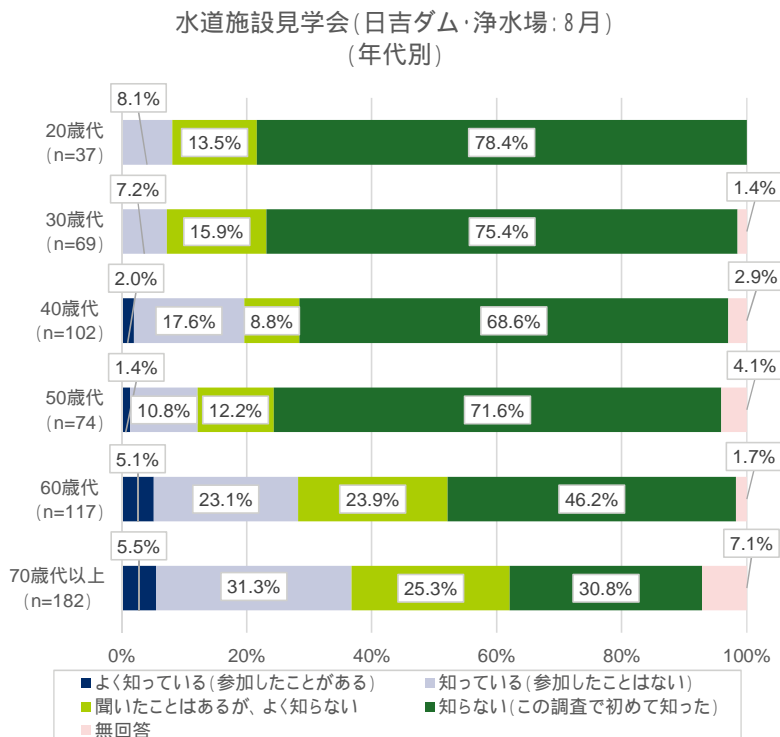
選択肢	水道施設見学会 (日吉ダム・浄水場:8月)		水の日イベント (パンピオ広場公園:8月)		環境フェア (環境政策室主催:11月)		出前講座 (小学4年生対象:6月頃)		防災訓練 (防災・安全推進室主催:11月)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
よく知っている (参加したことがある)	19	3.3%	7	1.2%	6	1.0%	3	0.5%	54	9.3%
知っている (参加したことはない)	118	20.3%	65	11.2%	62	10.7%	47	8.1%	127	21.8%
聞いたことはあるが、よく知らない	108	18.6%	109	18.7%	108	18.6%	67	11.5%	123	21.1%
知らない (この調査で初めて知った)	315	54.1%	370	63.6%	373	64.1%	426	73.2%	246	42.3%
無回答	22	3.8%	31	5.3%	33	5.7%	39	6.7%	32	5.5%
計	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%

「よく知っている (参加したことがある)」、「知っている (参加したことはない)」、「聞いたことはあるが、よく知らない」の割合の合計を認知度とした。

イ. 属性分析

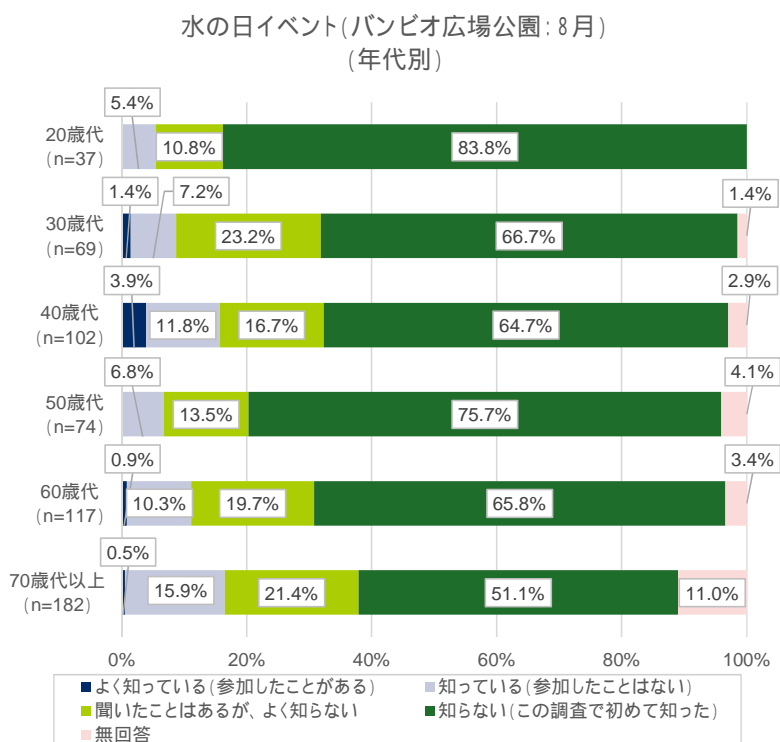
水道施設見学会

年代別でみると、60 歳代・70 歳代以上の「よく知っている(参加したことがある)」「知っている(参加したことはない)」の合計割合はそれぞれ 28.2%、36.8%と他の年代よりも高い。また、「聞いたことはあるが、よく知らない」「知らない(この調査で初めて知った)」の合計割合はそれぞれ 70.1%、56.1%と他の年代よりも低い。



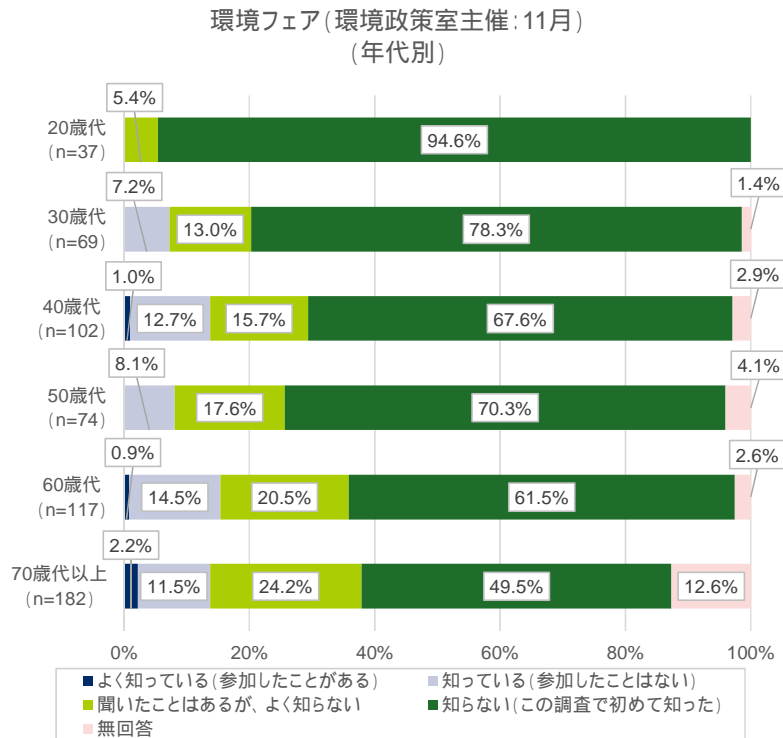
水の日イベント

年代別でみると、70 歳代以上の「よく知っている(参加したことがある)」「知っている(参加したことはない)」の合計割合は 16.4%と最も高く、「聞いたことはあるが、よく知らない」「知らない(この調査で初めて知った)」の合計割合は 72.5%と最も低い。



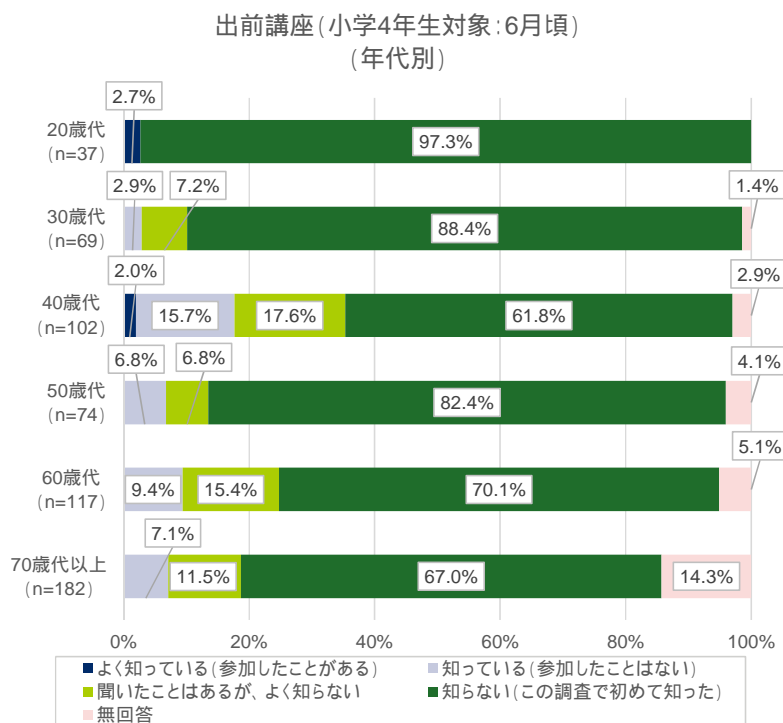
環境フェア

年代別で見ると、60歳代の「よく知っている(参加したことがある)」「知っている(参加したことはない)」の合計割合は15.4%と最も高い。



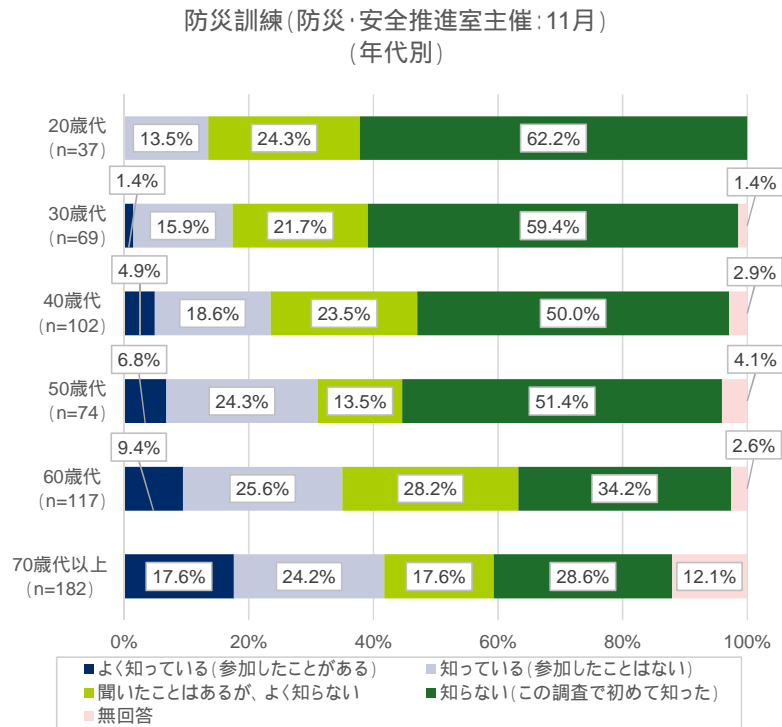
出前講座

年代別で見ると、40歳代以上の「よく知っている(参加したことがある)」「知っている(参加したことはない)」の合計割合は17.7%と最も高い。



防災訓練

年代別で見ると、70歳以上の「よく知っている(参加したことがある)」「知っている(参加したことはない)」の合計割合は41.8%と最も高く、「聞いたことはあるが、よく知らない」「知らない(この調査で初めて知った)」の合計割合は46.2%と最も低い。また、年代が高くなるにつれ、「よく知っている(参加したことがある)」は上昇している。



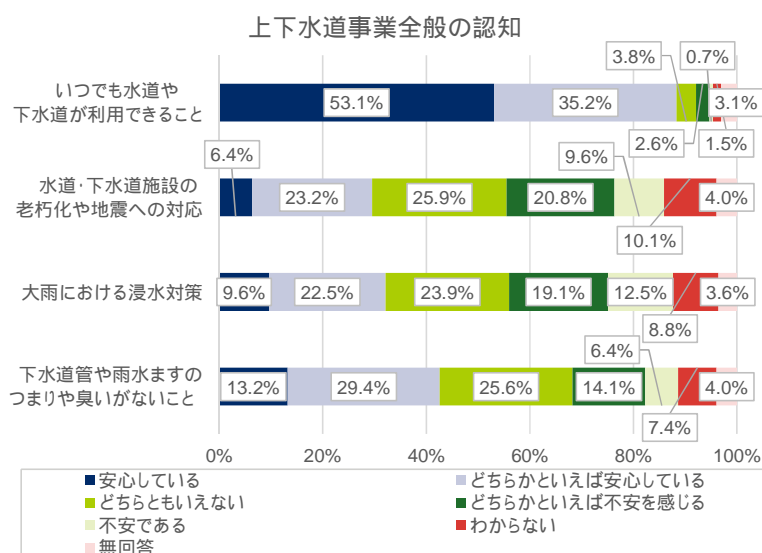
8. 上下水道事業全般について 前回調査ではこの区分について設問を設けていない。

(1) 【問8 - 1】皆様に安心して快適な生活をしていただくための取り組みについて、ご感想をお聞かせください。

ア. 単純集計

「いつでも水道や下水道が利用できること」について安心しているという回答(「安心している」「どちらかといえば安心している」)の割合が他の項目よりも高い。

【平成 29 年度調査(n=582)】

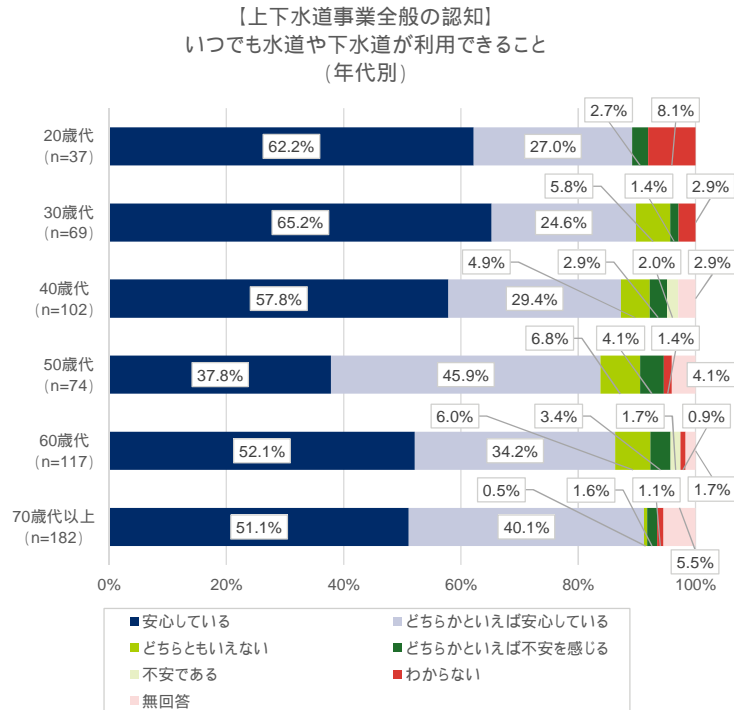


選択肢	いつでも水道や下水道が利用できること		水道・下水道施設の老朽化や地震への対応		大雨における浸水対策		下水道管や雨水ますのつまりや臭いがいいこと	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
安心している	309	53.1%	37	6.4%	56	9.6%	77	13.2%
どちらかといえば安心している	205	35.2%	135	23.2%	131	22.5%	171	29.4%
どちらともいえない	22	3.8%	151	25.9%	139	23.9%	149	25.6%
どちらかといえば不安を感じる	15	2.6%	121	20.8%	111	19.1%	82	14.1%
不安である	4	0.7%	56	9.6%	73	12.5%	37	6.4%
わからない	9	1.5%	59	10.1%	51	8.8%	43	7.4%
無回答	18	3.1%	23	4.0%	21	3.6%	23	4.0%
計	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%

イ. 属性分析

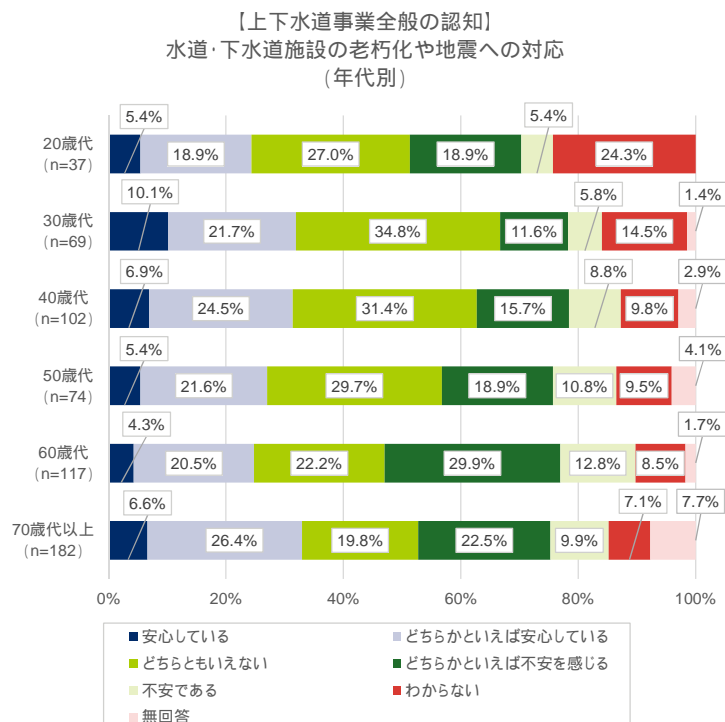
上下水道事業全般の認知(いつでも水道や下水道が利用できること)

年代別でみると、50歳代の「安心している」「どちらかといえば安心している」の合計割合は83.7%と最も低く、「安心している」も37.8%と最も低い。また、50歳代～70歳代以上の「安心している」は37.8%と70歳代以上に次いで低い。



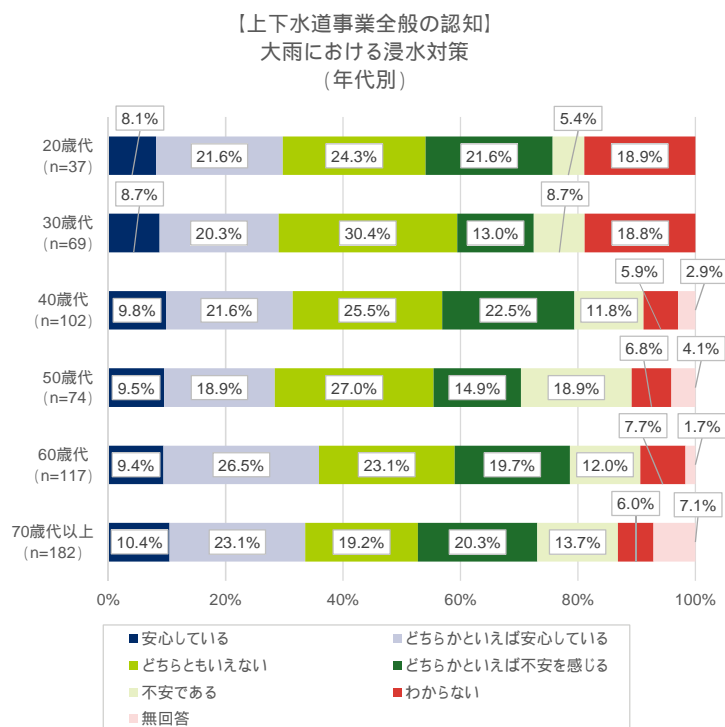
上下水道事業全般の認知(水道・下水道施設の老朽化や地震への対応)

年代別でみると、70歳以上の「安心している」「どちらかといえば安心している」の合計割合は33.0%と最も高い。また、30歳代から60歳代では年代が高くなるにつれ、「どちらかといえば不安を感じる」「不安である」の合計割合が上昇している。一方、20歳代以上では年代が高くなるにつれ、「わからない」が低下している。



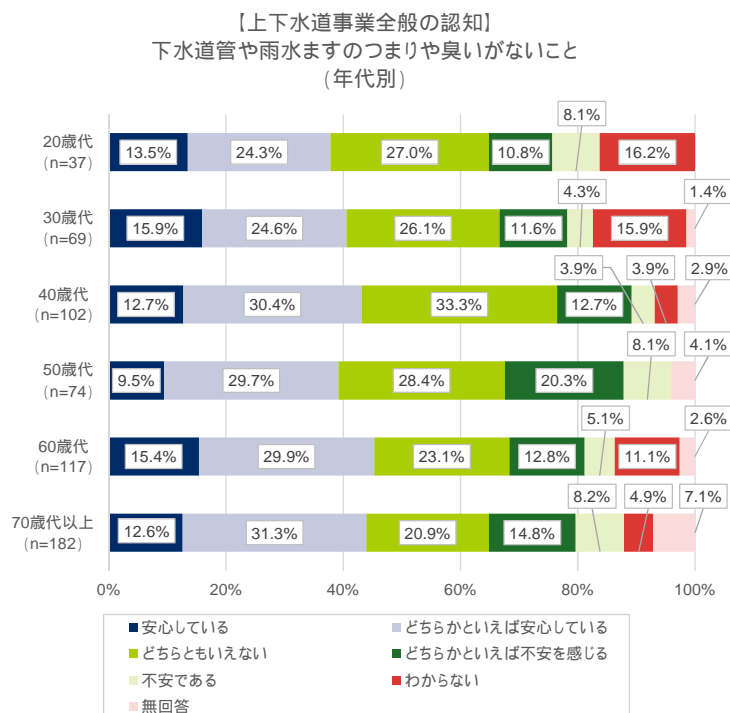
上下水道事業全般の認知(大雨における浸水対策)

年代別で見ると、60歳代の「安心している」「どちらかといえば安心している」の合計割合は35.9%と最も高い。20歳代・30歳代の「わからない」は他の年代に比べ高い。



上下水道事業全般の認知(下水道管や雨水ますのつまりや臭いがないこと)

年代別で見ると、60歳代以上の「安心している」「どちらかといえば安心している」の合計割合は45.3%と最も高い。20歳代・30歳代の「わからない」は他の年代に比べ高い。

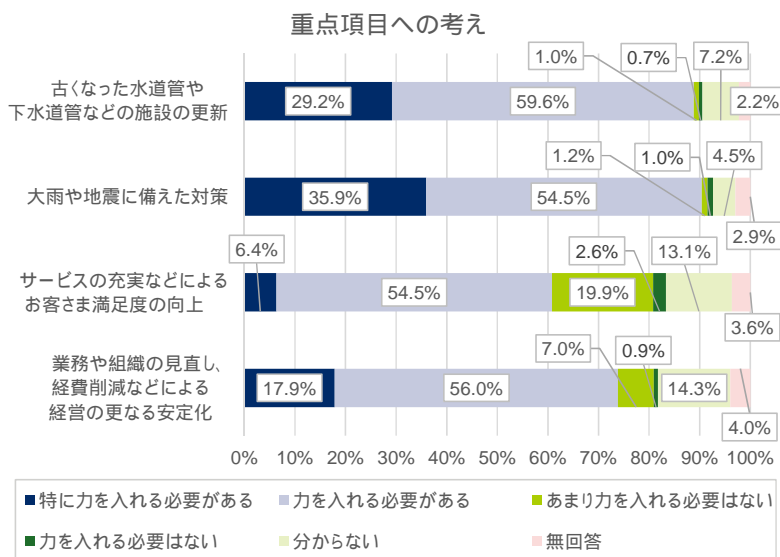


(2)【問8 - 2】上下水道部が重点的に進めている以下の項目について、あなたのお考えをお答えください。

ア. 単純集計

「古くなった水道管や下水道管などの施設の更新」「大雨や地震に備えた対策」など、施設の更新・強化について力を入れる必要があるとの回答(「特に力を入れる必要がある」「力を入れる必要がある」)の割合が高い。

【平成 29 年度調査(n=582)】

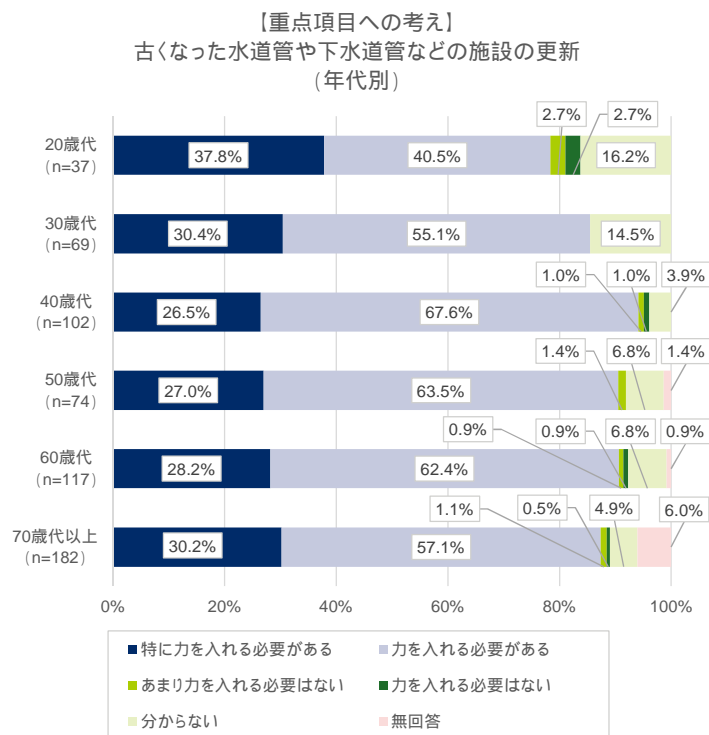


選択肢	古くなった水道管や下水道管などの施設の更新		大雨や地震に備えた対策		サービスの充実などによるお客さま満足度の向上		業務や組織の見直し、経費削減などによる経営の更なる安定化	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
特に力を入れる必要がある	170	29.2%	209	35.9%	37	6.4%	104	17.9%
力を入れる必要がある	347	59.6%	317	54.5%	317	54.5%	326	56.0%
あまり力を入れる必要はない	6	1.0%	7	1.2%	116	19.9%	41	7.0%
力を入れる必要はない	4	0.7%	6	1.0%	15	2.6%	5	0.9%
分からない	42	7.2%	26	4.5%	76	13.1%	83	14.3%
無回答	13	2.2%	17	2.9%	21	3.6%	23	4.0%
計	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%	582	100.0%

イ. 属性分析

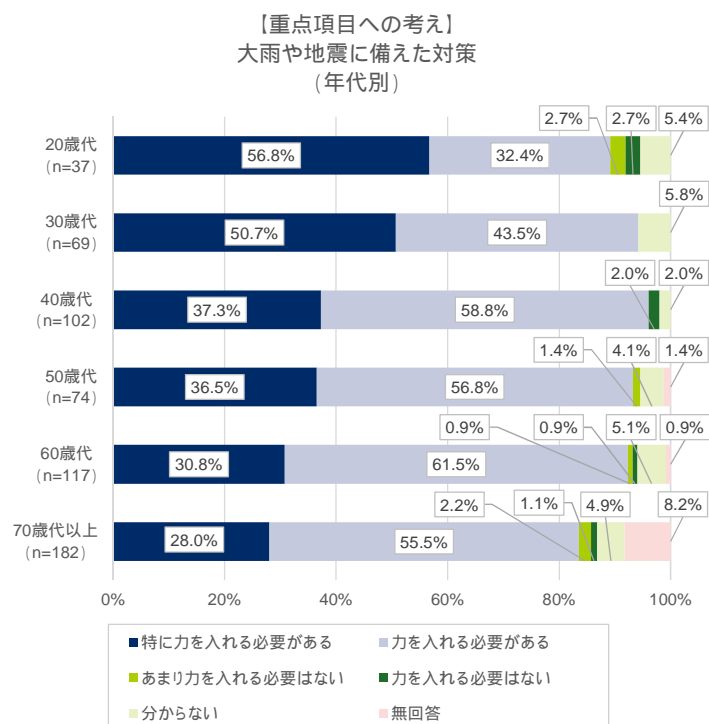
重点項目への考え(古くなった水道管や下水道管などの施設の更新)

年代別でみると、30歳代～70歳代の「特に力を入れる必要がある」「力を入れる必要がある」の合計割合は8割以上を占めるが、20歳代は78.3%と最も低い。一方、20歳代の「特に力を入れる必要がある」は37.8%と最も高い。



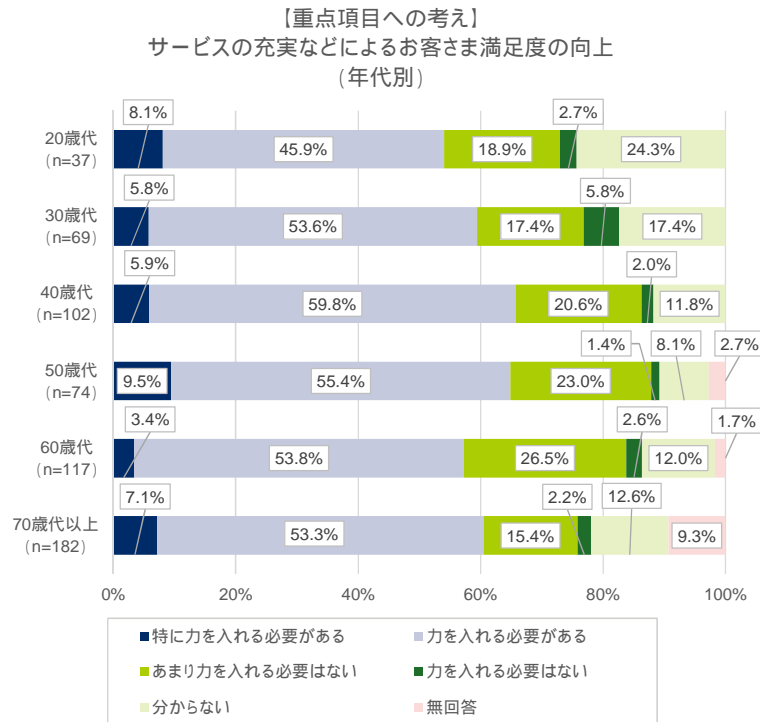
重点項目への考え(大雨や地震に備えた対策)

年代別でみると、20歳代～60歳代の「特に力を入れる必要がある」「力を入れる必要がある」の合計割合は約9割を占める。70歳代以上は「安心している」「どちらかといえば安心している」の合計割合が83.5%と最も低い。また、年代が高くなるにつれ、「特に力を入れる必要がある」が低下している。



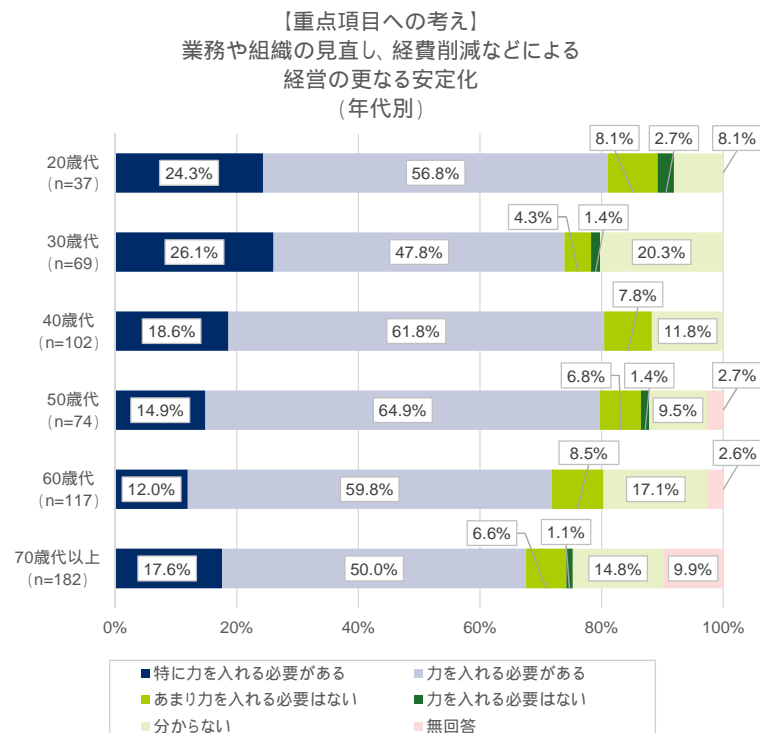
重点項目への考え(サービスの充実などによるお客さま満足度の向上)

年代別でみると、40歳代の「特に力を入れる必要がある」「力を入れる必要がある」の合計割合は65.7%と最も高く、20歳代は54.0%と最も低い。



重点項目への考え(業務や組織の見直し、経費削減などによる経営の更なる安定化)

年代別でみると、全ての年代において「特に力を入れる必要がある」「力を入れる必要がある」の合計割合は約7割を占める。また、20歳代から60歳代にかけて年代が高くなるにつれ、「特に力を入れる必要がある」が低下傾向にある。



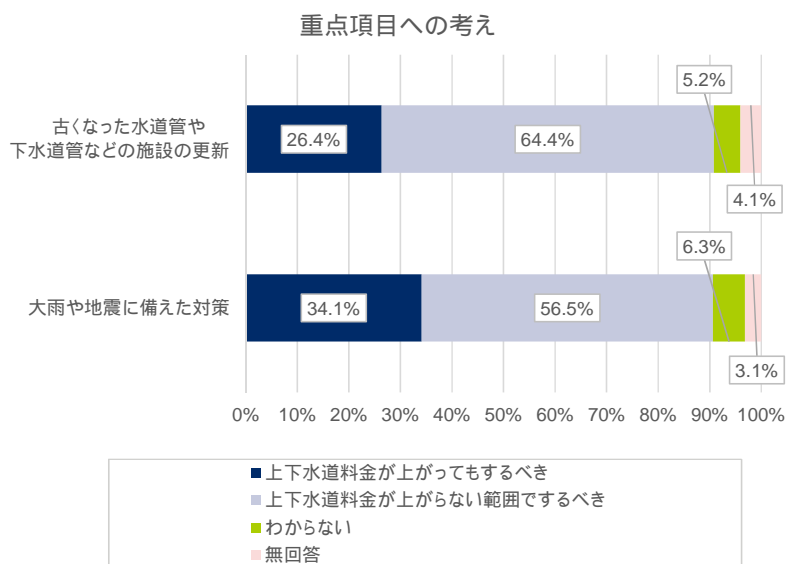
(3) 【問8 - 3】問8 - 2において、質問項目 及び で、「特に力を入れる必要がある」または「力を入れる必要がある」とお答えになった方について、あなたのお考えをお答えください。

ア. 単純集計

「上下水道料金が上がらない範囲でするべき」の割合がともに高い。

「大雨や地震に備えた対策」の方が「上下水道料金が上がってもするべき」の割合が高い。

【平成 29 年度調査 (n=542)】



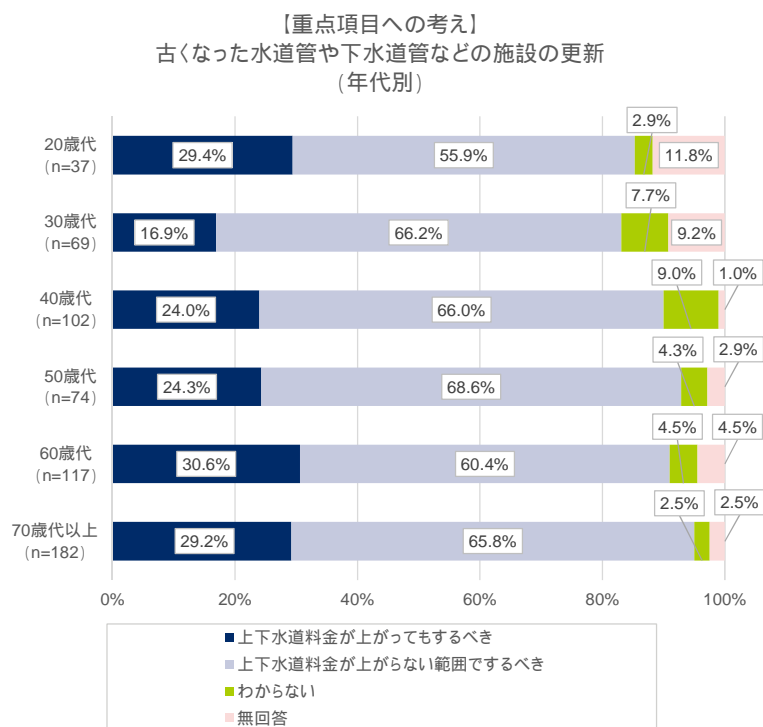
選択肢		
上下水道料金が上がってもするべき	143	185
上下水道料金が上がらない範囲でするべき	349	306
わからない	28	34
無回答	22	17
計	542	542

選択肢		
上下水道料金が上がってもするべき	26.4%	34.1%
上下水道料金が上がらない範囲でするべき	64.4%	56.5%
わからない	5.2%	6.3%
無回答	4.1%	3.1%
計	100.0%	100.0%

イ. 属性分析

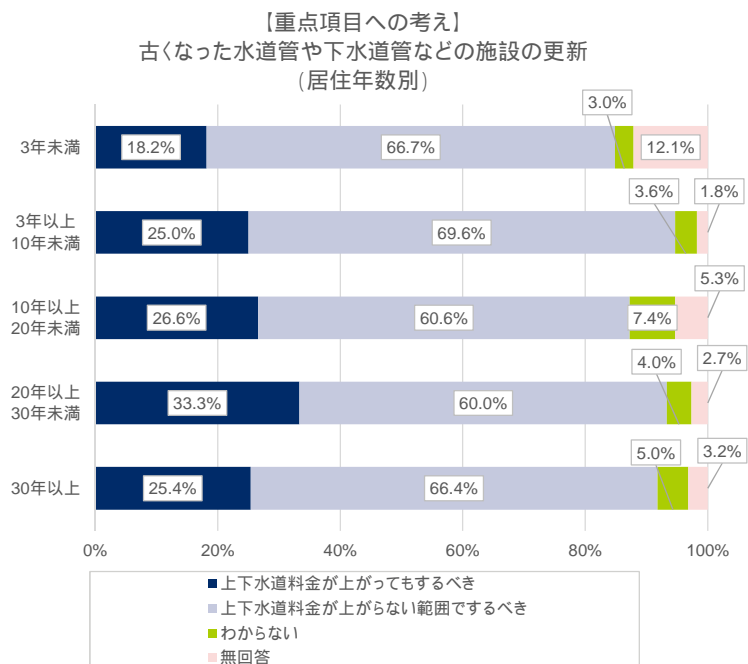
重要項目への考え(古くなった水道管や下水道管などの施設の更新)

年代別で見ると60歳代の「上下水道料金が上がってもすべき」の割合は30.6%と最も高く、30歳代は16.9%と最も低い。



重要項目への考え(大雨や地震に備えた対策)

年代別で見ると、20歳代の「上下水道料金が上がってもすべき」の割合は47.1%と最も高く、次いで50歳代の42.9%が続く。



· 參考資料（調查票）

上下水道事業に関するアンケート調査

市民の皆さまには、日頃から長岡京市の上下水道事業にご理解とご協力をお願いいたします。

水道事業では、事業計画の「水道ビジョン」が平成31年度で終了します。この後継ビジョンを策定するに当たり、合わせて下水道ビジョンも策定することとなりました。

つきましては、上下水道事業ビジョン策定の前提となります。上下水道事業の利用者のご意見をいただくために今回の調査となりました。お忙しい中、恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました結果は統計的な処理をしますので、個人のデータが公表されることは絶対にありません。ありのままのお気持ちを教えてください。

平成29年8月

長岡京市長 中小路 健吾

【ご記入にあたってのお願い】

- ◆質問中の「あなた」とは、この調査票をお送りした宛名のかたのことです。調査票のご回答は、宛名のかたご本人がお答えください。
- ◆最初の質問から順番に、1問ずつお答えください。
- ◆回答は、同封の回答用紙にご記入ください。特に断わりがない場合はあてはまる番号や語句に1つ○をつけてください。
- ◆「その他」を選んだ場合は、お手数ですが()内になるべく具体的にご記入ください。
- ◆その他わからないことやお問い合わせがありましたら、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先と返送についてのお願い】

長岡京市上下水道部総務課

電 話 075(951)2121(内線702)

ファックス 075(951)2200

※ ご回答いただきましたら、回答用紙のみを同封の返信用封筒(切手は不要)をご利用になり、9月15日(金)までにご返送くださいますようお願いいたします。

1. 回答者自身と世帯についておたずねします。

問1-1 あなたの性別をお聞かせください。(○は1つ)

1. 男性
2. 女性

問1-2 あなたの年齢をお聞かせください。(○は1つ)

1. 20歳代
2. 30歳代
3. 40歳代
4. 50歳代
5. 60歳代
6. 70歳代以上

問1-3 家族構成はご自身を含めて何人ですか。(○は1つ)

1. 1人

2. 2人

3. 3人

4. 4人

5. 5人以上

問1-4 問1-3で2～5に回答された方にお望みます。その構成は次のうちどれに該当しますか。(○は1つ)

1. 夫婦のみ

2. 親と子

3. 親と子と孫

4. その他(具体的に:)

問1-5 お住まいの中学校校区はどちらですか。(○は1つ)

1. 長岡中学校 (神足小・長法寺小・長六小)
2. 長岡第二中学校 (長三小・長七小・長十小)
3. 長岡第三中学校 (長四小の一部・長八小・長九小)
4. 長岡第四中学校 (長四小の一部・長五小)

問1-6 長岡京市にお住まいになって何年になりますか。(○は1つ)

1. 3年未満
2. 3年以上10年未満
3. 10年以上20年未満
4. 20年以上30年未満
5. 30年以上

2. 水道水や飲み水についてお答えください。

問2-1 現在の水道水は、長岡京市の水道（地下水）と京都府からの水道（河川水）のブレンド（約50%ずつ）ですが、ご存知ですか。（〇は1つ）

1. はい
2. いいえ

問2-2 現在の水道水についてどのように感じておられますか。（〇は1つずつ）

質問項目	選択肢	満足	普通	不満
① 安全・安心		1	2	3
② におい		1	2	3
③ 味		1	2	3
④ 温度		1	2	3
⑤ 水圧（水の出る強さ）		1	2	3
⑥ 水道料金		1	2	3

問2-3 普段、主に「飲み水」にされているものは次のうちどれですか。（〇は1つ）

1. 水道水
2. 家庭用浄水器を使用した水道水
3. 市販のボトル水等
4. その他（具体的に：）
5. わからない

3. 下水道についてお答えください。

問3-1 公共下水道事業には、生活排水などを浄化する汚水事業と浸水被害を軽減するための雨水事業がありますが、ご存知ですか。（〇は1つ）

1. 知っている
2. 知らない

問3-2 水道事業は料金収入で運営されているのに対して、公共下水道事業の汚水事業は皆さんからの下水道使用料収入のほか、税金が充てられていることをご存知ですか。（〇は1つ）

1. 知っている
2. 知らない

問3-3 現在の下水道についてどのように感じておられますか。（〇は1つずつ）

質問項目	選択肢	満足	普通	不満
① におい対策		1	2	3
② 排水やつまり		1	2	3
③ 浸水被害の軽減		1	2	3
④ 河川等の環境		1	2	3
⑤ 下水道使用料		1	2	3

問3-4 あなたは、下水道を使用するに当たって、どのようなことに気をつけていますか。（〇はいくつでも）

1. 台所の排水口に野菜くずなどのごみが流れこまないようにしている
2. 洗剤を使いすぎないようにしている
3. てんぷら油などが下水に流れないように気をつけている
4. 水洗トイレには水に溶ける紙以外は流さないようにしている
5. その他（具体的に：）
6. 特に何もしていない

4. 上下水道料金についてお答えください。

問4-1 上下水道料金は、使用しなくてもかかる料金と使用した水量にかかる料金の合計
になっていますが、ご存知ですか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

問4-2 上下水道料金は使用する水量により単価が異なりますが、使用量が多ければ単価は
高くなることをご存知ですか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

5. 節水機器についてお答えください。

問5-1 あなたは、節水についてどのようなことに気をつけていますか。
(○はいくつでも)

1. こまめに水を止めている
2. お風呂の残り湯を再利用している
3. 節水型機器を選ぶようにしている
4. その他(具体的に：)
5. 特に何もしていない

問5-2 次の節水機器の使用等は、お宅ではいつ頃からですか。(○は1つずつ)

質問項目	選択数	使用して いない	使用している (3年未満)	使用している (3年以上)	わからない
① トイレに節水型機器を 使用	1	1	2	3	4
② 節水型全自動洗濯機を 使用	1	1	2	3	4
③ 全自動食器洗い機を使 用	1	1	2	3	4
④ その他 ※	1	1	2	3	4

※ その他の具体例を記入()

6. 災害時についてお答えください。

問6-1 あなたのご家庭では、地震等の災害に備えて飲料水の備蓄をしていますか。
(○は1つ)

1. 市販のミネラルウォーターなどを備蓄している
2. 長岡京市上下水道部の災害用備蓄水「ガラシャおもかげの水」を備蓄している
3. 水道水をポリ容器等に入れて備蓄している ※1
4. その他の方で備蓄している(備蓄方法：)
5. 備蓄していない

※1 水道水は冷暗所であれば3日程度の保存が可能です。

問6-2 問6-1において、1～4に回答された方について、ご家族1人あたりの飲料水
の備蓄量についてお聞かせします。(○は1つ)

1. 9リットル以上
2. 6～8リットル程度
3. 3～5リットル程度
4. 3リットル未満

※ 災害に備え、1人1日あたり3リットル、3日分で9リットル程度を目安として、
飲料水の備蓄(冷暗所等での3日間程度の保存を含む)をお願いします。

問6-3 災害時に避難所となる小中学校などに、災害時に使用できるようトイレ(災害用
マンホールトイレ)を整備しています。(○は1つずつ)

① 小中学校等の避難所に災害用マンホールトイレがあることをご存知ですか。

1. 知っている
2. 知らない

② 災害用マンホールトイレの組み立て訓練に参加されたことはありますか。

1. 参加したことがある
2. 参加したことがない

7. お客様サービスについてお答えください。

問7-1 上下水道部のお客さま対応やサービスに対するあなたの満足度をお聞きます。
(〇は1つずつ)

質問項目	選択肢	満足	普通	不満	利用した ことがない
① 窓口や電話の対応		1	2	3	4
② 水道メータ検針の対応		1	2	3	4
③ 休日のほかインターネット・電話・ファクシミリによる水道の開栓・閉栓の受付		1	2	3	4
④ 水道料金の口座振替やコンビニ払い		1	2	3	4

※その他の意見・要望等について、以下にお書きください。

()

問7-2 上下水道部が行っている広報活動として「水だより」や「ホームページ」について、わかりやすいですか。(〇は1つ)

1. はい
2. いいえ
3. 見ていない

※広報活動について意見・要望等について、以下にお書きください。

()

問7-3 あなたは、水道や下水道について知りたい情報や興味のある情報は、どのようなものでしょうか。(〇はいくつでも)

1. 水道水の品質などの安全性に関する情報
2. 蛇口が故障した時の問い合わせに関する情報
3. 工事や断水に関する情報
4. 上下水道料金に関する情報
5. 上下水道事業の経営に関する情報
6. その他
7. 特に気になる情報はなし

問7-4 上下水道部が行っている広報活動について、どの程度ご存じですか。
(〇は1つずつ)

質問項目	選択肢	よく知っている(参加したことがあ)	知っている(参加したことはない)	聞いたことはあるが、よく知らない	聞いたこと(この調査で初めて知った)
① 水道施設見学会(日吉ダム・浄水場：8月)		1	2	3	4
② 水の日イベント(パンビオ広場公園：8月)		1	2	3	4
③ 環境フェア(環境政策室主催：11月)		1	2	3	4
④ 出前講座(小学4年生対象：6月頃)		1	2	3	4
⑤ 防災訓練(防災・安全推進室主催：11月)		1	2	3	4

8. 上下水道事業全般についてお答えください。

問8-1 皆様に安心して快適な生活をしていただくための取り組みについて、ご感想をお聞かせください。(〇は1つずつ)

質問項目	選択肢	安心している	どちらかといえば安心している	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じる	不安がある	わからない
① いつでも水道や下水道が利用できること		1	2	3	4	5	6
② 水道・下水道施設の老朽化や設備への対策		1	2	3	4	5	6
③ 大雨における浸水対策		1	2	3	4	5	6
④ 下水道管や雨水ますのつまりや臭いがないこと		1	2	3	4	5	6

問8-2 上下水道部が重点的に進めている以下の項目について、あなたのお考えをお答えください。(〇は1つずつ)

質問項目	選択肢	特に力を入れる必要がある	力を入れる必要がある	あまり力を入れる必要はない	力を入れる必要はない	わからない
① 古くなった水道管や下水道管などの施設の更新		1	2	3	4	5
② 大雨や地震に備えた対策		1	2	3	4	5
③ サービスの充実などによるお客さま満足度の向上		1	2	3	4	5
④ 業務や組織の見直し、経費削減などによる経営の更なる安定化		1	2	3	4	5

問8-3 問8-2において、質問項目①及び②で、「特に力を入れる必要がある」または「力を入れる必要がある」とお答えになった方について、あなたのお考えをお答えください。(〇は1つずつ)

質問項目	選択肢	上下水道料金が上がってむしろ上がるべき	上下水道料金が上がらない範囲でするべき	わからない
① 古くなった水道管や下水道管などの施設の更新		1	2	3
② 大雨や地震に備えた対策		1	2	3

最後に、上下水道割に対するご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。ご回答いただきましたら、この用紙のみを同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、9月15日(金)までにご返送くださいますようお願いいたします。

長岡京市上下水道事業に
関する調査報告書

(自由意見の抜粋)

長岡京市

I. 各設問のその他の主な意見

【問2-3】普段、主に「飲み水」にされているものは次のうちどれですか。

(※複数回答可)

- 水だけ飲むことはなく、薬を飲む時はペットボトルの水を飲む。35年以上前の地下水のおいしさ冷たさを知っているので特別おいしいとは思わない。
(60 歳代女性 長岡第三中学校区)
- スーパーなどのイオン水を利用していますから。行けないときは水道水を沸騰して使用しています。
(60 歳代女性 長岡第二中学校区)
- 麦茶を飲んでいて、水はほとんど飲まない。(30 歳代女性 長岡第三中学校区)
- 沸かした水道水。
(30 歳代男性 長岡第二中学校区)
- 特別に取り寄せた水。
(60 歳代女性 長岡第二中学校区) ほか

【問3-4】あなたは、下水道を使用するに当たって、どのようなことに気をつけていますか。

(※複数回答可)

- 水を必要以上に使用しない。限りある資源を頭に入れて使用、植物にも水、米のとぎ汁等使用、油類も石けんと交換している。水を汚さない。
(70 歳代以上女性 長岡第二中学校区)
- 油は必ず布の捨て雑巾で拭いている。ウオシュレットなので紙は流さず、家庭ごみに入れて捨てている。
(70 歳代以上女性 長岡第二中学校区)
- 洗面、浴室で髪の毛を流さないように細かいネットで取れるようにしている。
(60 歳代女性 長岡第四中学校区)
- 米のとぎ汁についても流しに流さず植木にやっている。
(70 歳代以上男性 長岡第四中学校区)
- 風呂の水を庭に散水している。冷房の水も同様。便器は節水型を使っている。
(50 歳代男性長岡第四中学校区)
- 環境に優しい洗剤を使っている。
(40 歳代女性 長岡第四中学校区)
- 汚水マスの定期的な清掃。
(30 歳代男性 長岡第三中学校区) ほか

【問5-1】あなたは、節水についてどのようなことに気をつけていますか。

(※複数回答可)

- 雨水も植木や庭掃除に利用。
(70 歳代以上男性 長岡中学校区)
- 出す時に水量(水圧)調整をしている。
(50 歳代女性 長岡中学校区)
- 1回すすぎで良い洗剤を使用。
(70 歳代以上男性 長岡第四中学校区)
- 節水コマを使用。
(30 歳代男性 長岡第三中学校区) ほか

【問5-2】次の節水機器の使用等は、お宅ではいつ頃からですか。 (※複数回答可)

① 使用していない

- トイレのタンクにペットボトル 500ml を入れている。
(60 歳代男性 長岡中学校区) ほか

② 使用している (3年未満)

- お風呂のシャワーの頭を節水型に取り替えた。
(70 歳代以上女性 長岡第三中学校区) ほか

③ 使用している (3年以上)

- 節水型シャワーヘッド。
(30 歳代男性 長岡第三中学校区) ほか

【問6-1】あなたのご家庭では、地震等の災害に備えて飲料水の備蓄をしていますか。

- 備蓄しているとはいえないかもしれませんが、一度沸騰させた水道水をペットボトルに3ℓ ぐらいは常に冷蔵庫に入れて、毎日の飲み水としながら追加している。
(70 歳代以上女性 長岡第四中学校区)
- 備蓄用の容器を保有。
(70 歳代以上女性 長岡第二中学校区) ほか

【問7-1】上下水道部のお客さま対応やサービスに対するあなたの満足度をお聞きます (※複数回答可)

- 水道料金のクレジットカード払い希望。口座振替で料金割引希望。
(30 歳代女性 長岡中学校区)
- 水道メーターのふたの取替は無料にしてほしい。
(70 歳代以上女性 長岡第四中学校区)
- 1~2 か月人数が多く使用料が多かったときは声をかけていただいたので、色んな面で助かるかなと思いました。
(60 歳代女性 長岡第二中学校区)
- 口座振替に利用できる金融機関が限られており、不便。またクレジットカードも利用できた方がよい。
(50 歳代男性 長岡第四中学校区)
- コンビニ払い用紙の期限が短いと感じた。
(30 歳代女性 長岡第四中学校区) ほか

【問7-2】上下水道部が行っている広報活動として「水だより」や「ホームページ」について、わかりやすいですか。 (※複数回答可)

- 経費節減のために広報活動を減らして欲しい。
(40 歳代男性 長岡第三中学校区)

- 長岡京市の広報に含めてもいいのではと思います。
(50 歳代女性 長岡第四中学校区)
- 時々見ているがわかりにくい。(70 歳代以上男性 長岡中学校区) ほか

【問7-3】あなたは、水道や下水道について知りたい情報や興味のある情報は、どのようなものですか。(※複数回答可)

- 施設老朽化に対する長期的なメンテナンス計画。(70 歳代以上男性)
- 水道管の老朽化について。(40 歳代女性 長岡第二中学校区)
- 漏水やパッキンの修理はどこに頼んだらよいかわからない。
(70 歳代以上男性 長岡第四中学校区)
- 庭の水やり用の雨水タンクについて知りたい。
(70 歳代以上女性 長岡第二中学校区)
- 近年多発している大雨時の対応方法。(40 歳代男性 長岡第二中学校区)
- 修理など安心して自宅に呼べる業者を紹介してほしい。
(40 歳代男性 長岡第二中学校区) ほか

Ⅱ. 自由意見

1. 自由意見の回答状況

全回答数 582 件のうち、145 件（24.9%）の意見が寄せられた。

2. 自由意見の分類

記述の内容により、下記の7項目に分類した。なお、記述については一部要約するとともに、個人名や会社名等が特定されるおそれがある部分については省略し、明らかな語句の間違い等については訂正を行っている。

①水源と水質・味について	(30 件)
②水道事業の経営と水道料金について	(37 件)
③災害対策と維持管理（工事・修繕等）について	(18 件)
④広報・情報提供について	(16 件)
⑤お客様サービスについて	(11 件)
⑥下水道について	(3 件)
⑦その他	(30 件)

① 水源と水質・味について

- 安心して暮らしていることについては感謝しています。お仕事ありがとうございます。願いは以前のように 100%地下水にしていきたいこと、災害時の備えを万全にしていきたいことです（自分は何もしていませんが、3 日分の水の備蓄はあまり現実的ではないと感じています。すみません）。
(70 歳代以上女性 長岡第四中学校区)
- 48 年前長岡京に引っ越して来ました。地下水でとても美味しいお水だったことと記憶しています。地下水が豊富な土地、美味しいお水の給水をお願いしたいです。いつもご苦勞様です。
(70 歳代以上女性 長岡第三中学校区)
- 長岡京市の水は美味いと友人に話している。
(70 歳代以上男性 長岡中学校区)
- 他市から引っ越してきましたが、におい等は長岡京市がとても対策されているのだと感じました。これからも頑張ってください。
(20 歳代男性 長岡中学校区)
- 昨今の大雨による被害を見、聞きするにつけ、長岡京市は地域的に恵まれており、また、数々の対策がなされていることをありがたく思います。上水道に関しては、かつて地下水だった頃の水質のよさ、水温の夏に冷たかったことなど、美味しく感じていました。勝竜寺城にある「お玉の水」？みたいな所が（地下水が飲める）があるといいと思います。
(70 歳代以上女性 長岡第四中学校区)
- 他市から越してきて、お水のにおいが少なく美味しいのでありがたく思っています。町のアピールになり、転入者の増加等に繋がりますように。
(40 歳代女性 長岡中学校区) ほか

② 水道事業の経営と水道料金について

- 長岡京市全体で節水に取り組んで、目標を達成した月は水道料金を下げて欲しい。
(30 歳代女性 長岡第三中学校区)
- 水道料金の削減に努めて欲しい。自然災害による被害が多発している今日において、大雨や地震などに備えた対策をとることが特に重要で、それが結果として顧客満足度の向上、サービス品質の向上、まちの活性化につながればなお良いと思います。
(20 歳代男性 長岡第三中学校区)
- 大雨の対策は特に力を入れる必要があると感じます。ただ、長岡京市の上下水道代が他の地域と比して高いと感じるので、料金は維持し優先順位をつけて実行していただきたいと考えます。
(50 歳代男性 長岡第二中学校区)
- 水は大切なものなので、民営化だけはしないで下さい。いつもきちんと管理されたものを安心して飲みたいと思います。
(60 歳代女性 長岡中学校区)

- このようなアンケートをされたこと自体、前向きに仕事をしようとしてされていることがわかる。目立たない事業ですが、いざという時よい結果が出てやっていてよかったと思える仕事をしてください（大災害の時など）。料金が高くなっても理由がしっかりしていれば市民は納得すると思う。

(70 歳代以上女性 長岡第二中学校区) ほか

③ 災害対策と維持管理(工事・修繕等)について

- 古くなった水道管を交換してもらえるのはとてもありがたいが、その後のアスファルトがボコボコで崩れて困っている。(40 歳代女性 長岡中学校区)
- 下水、水道工事で道路の片側通行時のガードマンの質等、安全対策について上下水道部の監理は行っているように思えない。業者まかせではないのか。雑な作業が多い。(60 歳代男性 長岡第二中学校区)
- 最近、短時間に特定地域の集中豪雨が発生し、浸水などの被害が各地で多発していると聞きます。専門家の言によりますと、こうした被害は今後日本中のどこでも起こりうるということです。こうした被害に対する備えを特によろしくお願いいたしたいと思っております。(60 歳代男性 長岡中学校区) ほか

④ 広報・情報提供について

- 先日、上下水道施設見学会に参加させていただきました。家族皆とても勉強になり楽しかったです。本当にお世話になりました。どんな時も安全安心な水が飲めるということは素晴らしいことなのだと改めて感じました。見学会に多くの市民の方が参加し、そのことを知ってもらうことができれば嬉しいですね。これからもよろしくお願いいたします。(40 歳代女性 長岡第二中学校区)
- 水は生活に絶対欠かせないものなので、水道(下水)事業は行政の事業として確実に行う必要があると思います。そのための料金負担もやむを得ないと思いますが、用途が明らかになるよう広報していくことも大切だと思います。(50 歳代女性 長岡中学校区)
- 上下水道事業のアンケート調査により、上下水道事業が少し理解できました。広報活動・市民へのアンケート調査は必要だと思います。

(70 歳代以上女性 長岡第四中学校区) ほか

⑤ お客様サービスについて

- 長岡京市役所上下水道部窓口の対応が悪過ぎる！もっと市民に親切な対応をしていただきたい。(40 歳代女性 長岡第四中学校区)
- 以前と異なり、電話でもやさしく答えて下さると喜んでいきます。

(70 歳代以上男性 長岡第二中学校区) ほか

⑥ 下水道について

- 道路表面と下水上水のマンホールの段差が大き過ぎる。周辺部舗装時、丁寧にまた強度を上げて欲しい。マンホール周辺の破損があれば早いうちに補修して欲しい。点検に回れば良く分かると思うが、危険でもある。

(40 歳代女性 長岡中学校区) ほか

⑦ その他

- 考えた事が無いということは、安心しているということだと思います。感謝します。
(60 歳代女性 長岡第二中学校区)
- 先日、蛇口から水がシューと漏れ出し、水が止まらなくて困った。玄関にある止水栓を回したが、固くてまわらなかった。一晩中、水がふき出て困った。
(60 歳代女性 長岡第二中学校区)
- 毎日使っている水道ですが、このアンケートに答えて知らないことが多いことがわかりました。安心安全の上下水道事業の推進を希望します。いつもありがとうございます。
(60 歳代女性 長岡中学校区)
- 生活を支えるインフラを維持するには相応の費用がかかり、今後は施設や配管の更新に巨額の費用がのしかかる点はもっと理解されてもよいと思います。

(40 歳代男性 長岡第二中学校区) ほか

【調査結果総括】

1 調査の目的及び概要

(1) 調査目的

水道事業では、事業計画である「水道ビジョン」が平成31年度で終了することから、次期ビジョンを策定する必要があります。また、新たに下水道ビジョンも策定することとなりました。

そのため、上下水道事業のビジョン策定の前提となる、上下水道事業の利用者のご意見をいただくために今回の調査を実施しました。

(2) 調査概要

ア 調査対象 長岡京市内に在住する20歳以上の男女1,000名
(住民基本台帳データから無作為に抽出)

イ 調査期間 平成29年9月1日(金)～9月18日(月)

ウ 調査方法 調査対象者に調査票を郵送により配布・回収

エ 回収率 58.5%(回収数 582通)

※ 前回調査(平成15年12月) 回収率 55.7%(回収数 554通)

(3) 調査項目

ア 回答者個人と世帯について (問1-1～問1-6)

イ 水道水や飲み水について (問2-1～問2-3)

ウ 下水道について (問3-1～問3-4)

エ 上下水道料金について (問4-1～問4-2)

オ 節水機器について (問5-1～問5-2)

カ 災害時について (問6-1～問6-3)

キ お客様サービスについて (問7-1～問7-4)

ク 上下水道事業全般について (問8-1～問8-3)

(4) 前回調査からの変更点として追加した設問

ア 下水道事業全般についての認識 (問3-1～問3-4)

イ 災害時全般についての取り組みや認識 (問6-1～問6-3)

ウ 上下水道事業として力を入れるべき事項 (問8-1～問8-3)

2 調査結果の概要（総括）

(1) 回答者個人と世帯について

① 年齢について（問1-2）

- ・ 前回調査では、最も回答率が高いのは「50歳代」で28.0%、次いで「60歳代以上」が23.3%で半数以上となり、今回調査の最も高いのが「70歳代以上」で31.3%、次いで「60歳代」が20.1%で半数以上となっています。

② 家族構成について（問1-3）

- ・ 「1人世帯」では、前回調査の5.4%から今回調査は18.0%に、「2人世帯」では前回調査の24.4%から今回調査は36.8%と、それぞれ増加していますが、「3人以上の世帯」はすべて減少しています。

③ 居住年数について（問1-6）

- ・ 前回調査では、最も多いのが「30年以上」の31.9%で、次いで「20年以上30年未満」が24.4%となり半数以上を占めていますが、今回調査では「30年以上」で52.1%と半数を超え、次いで「20年以上30年未満」が14.3%となり、居住年数の長い世帯が増加しています。

(2) 水道水や飲み水について

① 水道水のブレンドについて（問2-1）

- ・ ブレンド水であることを「知っている」割合は、前回調査の82.7%から、今回調査は59.5%と低下しています。

② 水道水に対する満足度について（問2-2）

- ・ 「におい」「味」「温度」「水圧」「水道料金」のすべての項目において、前回調査と比較して満足の割合の割合が増加しています。

(3) 下水道事業について

① 下水道事業内容について（問3-1～問3-2）

- ・ 汚水事業及び雨水事業について、「知らない」が「知っている」を上回っています。

② 下水道事業に対する満足度について（問3-3）

- ・ 「におい対策」「排水やつまり」「浸水被害の軽減」「河川等の環境」の項目において、満足及び普通の割合が80%以上を超え、「下水道使用料」では満足及び普通の割合が半数以上となっています。

(4) 節水機器について

① 節水機器の使用について (問5-2)

- ・ 使用していない割合が、前回と今回を比較すると、「トイレ」では78.7%から48.6%に、「洗濯機」では62.3%から32.3%に減少しており、節水機器の普及が進んでいます。

(5) 災害時について

① 1人あたりの飲料水の備蓄量について (問6-1～問6-2)

- ・ 「30未満」が30.7%と最も多く、「3～50程度」が28.2%と続き、備蓄水の目安である「90以上」は19.4%と、その次となっています。

② 災害用マンホールトイレについて (問6-3)

- ・ 「知らない」が61.5%と半数を超え、また、災害用マンホールトイレの組み立て訓練には、9割以上が参加していません。

(6) お客様サービスについて

① サービス全般について (問7-1)

- ・ 「窓口や電話の対応」と「開栓・閉栓の受付」については、利用していない割合が62.7%、74.1%と多いですが、利用している割合の中でも不満の割合は2.1%、1.0%と低くなっています。
- ・ 「水道メーター検針の対応」と「水道料金の支払い」については、利用していない割合は33.8%、30.8%ですが、利用している割合の中でも不満の割合は2.6%、0.3%と低くなっています。

② 広報活動について (問7-2～問7-4)

- ・ 広報紙水だよりやホームページについて、「見ていない」が49.3%と最も多くなっています。
- ・ 上下水道部が直接実施している水道施設見学会や水の日イベントについて、「よく知っている」と「知っている」を合わせても1割から2割程度にとどまっています。

(7) 上下水道事業全般について

① 今後の重点項目について（問8-2～問8-3）

- ・ 「古くなった水道管や下水道管などの施設の更新」について、「特に力を入れる必要がある」と「力を入れる必要がある」を合わせて88.8%と高い割合となっています。また、「上下水道料金が上がってもすべき」が26.4%、「上下水道料金が上がらない範囲ですべき」が64.4%となっています。
- ・ 「大雨や地震に備えた対策」について、「特に力を入れる必要がある」と「力を入れる必要がある」を合わせて90.4%と高い割合となっています。また、「上下水道料金が上がってもすべき」が34.4%、「上下水道料金が上がらない範囲ですべき」が56.5%となっています。

(8) まとめ

- ・ 地下水(長岡京市)と河川水(京都府営水道)のブレンド割合の認識が低くなっている一方で、水道水に対する「におい」「味」「温度」において、前回調査と比較して不満が低下しており、現在のブレンド水が定着してきているものと推測されます。
- ・ 市民の節水機器の普及や節水意識が進み、節水型社会の定着が見られることから、今後の水需要に影響を与えるものと推測されます。
- ・ 市民に対し、上下水道事業内容をご理解いただくため、広報内容を工夫し、わかりやすい情報提供をしていく必要があります。
- ・ 古くなった水道管や下水道管などの施設の更新と大雨や地震に備えた対策を求める回答が多く、水需要の推移を見極めながら、施設更新を進める必要があります。

2. 今後の水道事業環境について

(1) 人口と水需要の見込み (図1及び図2)

本市の人口は、昭和40年代に急増しましたが、その後は増加の勢いが落ち着いたものの微増が続き、8万人に達しています。

今回の新水道ビジョンの将来人口については、平成28年2月に策定された「長岡京市人口ビジョン」に基づき、給水人口を予測しました。その結果、給水人口は新水道ビジョン開始年度の平成32年度をピークとして、その後緩やかに減少する見込みで、計画最終年度の平成41年度では、79,993人となる見込みです。

次に、水需要予測のうち、家庭用では、人口減少に加えて、アンケート結果から節水機器の普及が今後も続くことが推測されることから、これまでの年平均0.5%減少が今後も推移すると見込んでいます。また、工場のうち大口事業所についてはそれぞれの水需要を参考とし、営業用については、現状のほぼ横ばいを見込んでいます。

これらのことから、有収水量としては、計画開始の平成32年度は8,592千 m^3 と見込み、平成41年度の計画最終年度では、約4.3%減少の8,220千 m^3 と見込んでいます。

(2) 管路の更新 (図3)

本市の管路全延長は、平成28年度末で283kmありますが、管路の法定耐用年数40年を超過する、いわゆる経年化管路の延長は、図3に示すとおり、平成32年(約10km)頃から急激に単年度で増えることとなります。

平成28年度末の経年化管路の割合は、9.5%であり、近年多額の投資を行い管路更新(更新率0.5%程度)していますが、このペースでの取り替えでは、全ての管路更新に約200年もかかることとなります。また、法定耐用年数の1.5倍(60年)を超えるような老朽化が今後発生し、漏水事故の増加が危惧されます。

管路の更新については、老朽化及び重要度等により優先順位の高いものから、平成28年3月策定の「長岡京市老朽管路更新基本計画」を見直しながらか計画的に進めていく必要があります。

(3) 職員の現状 (図4及び図5)

水道事業職員の状況は、平成18年10月から窓口業務などの営業業務を民間へ委託したことから事務職が5名減少しました。また、効率的な事業運営のための組織統合や浄水場の運転監視業務の委託化から技術職も含めて職員数は減少しています。

職員数の減少を経験のある職員を配置することや他の部局との人事交流などで補完してきましたが、今後は、水道事業を支えてきた経験のある職員が退職を迎えることから、技術と知識の継承に努めていくことが必要です。

図 1

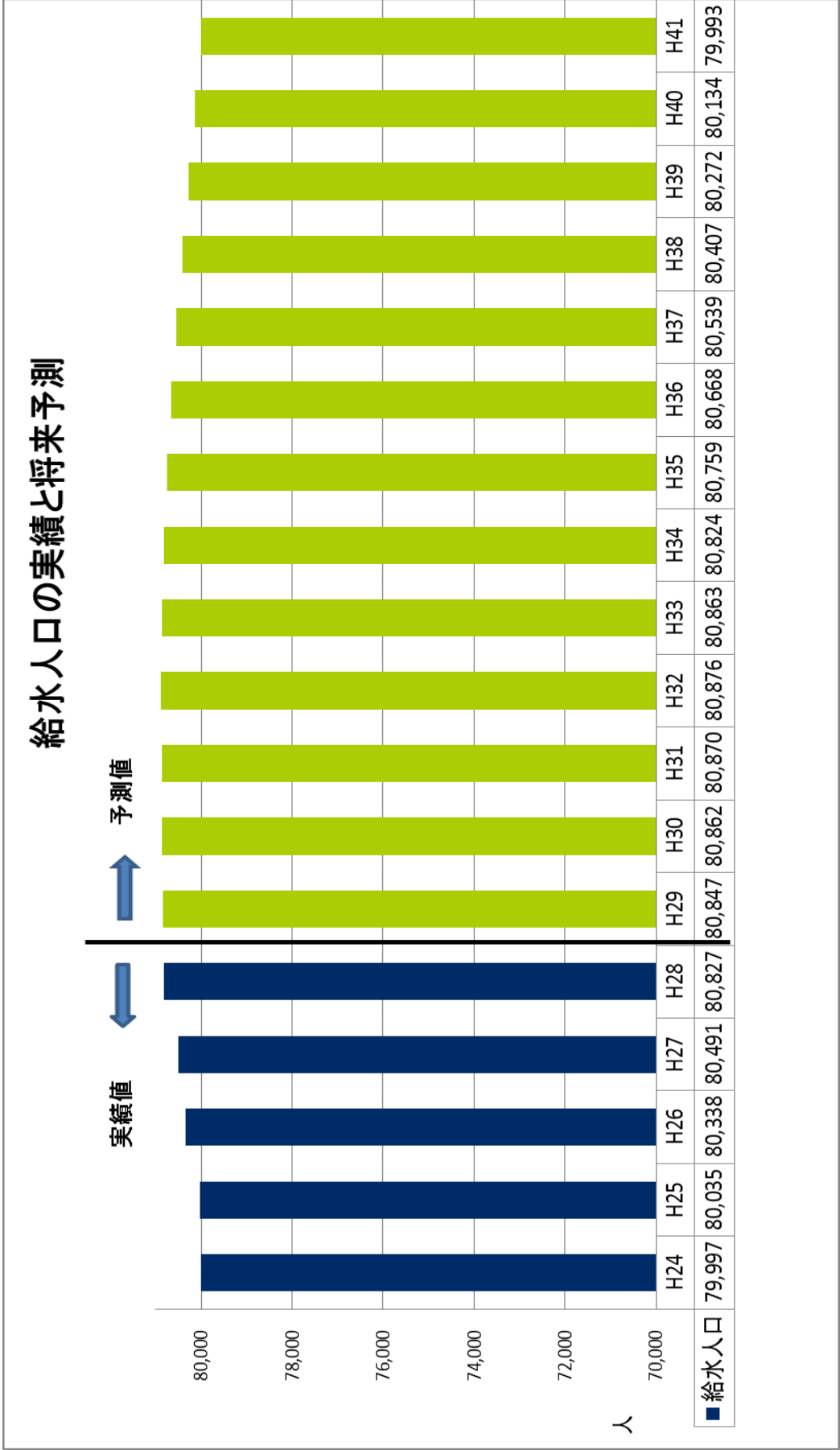
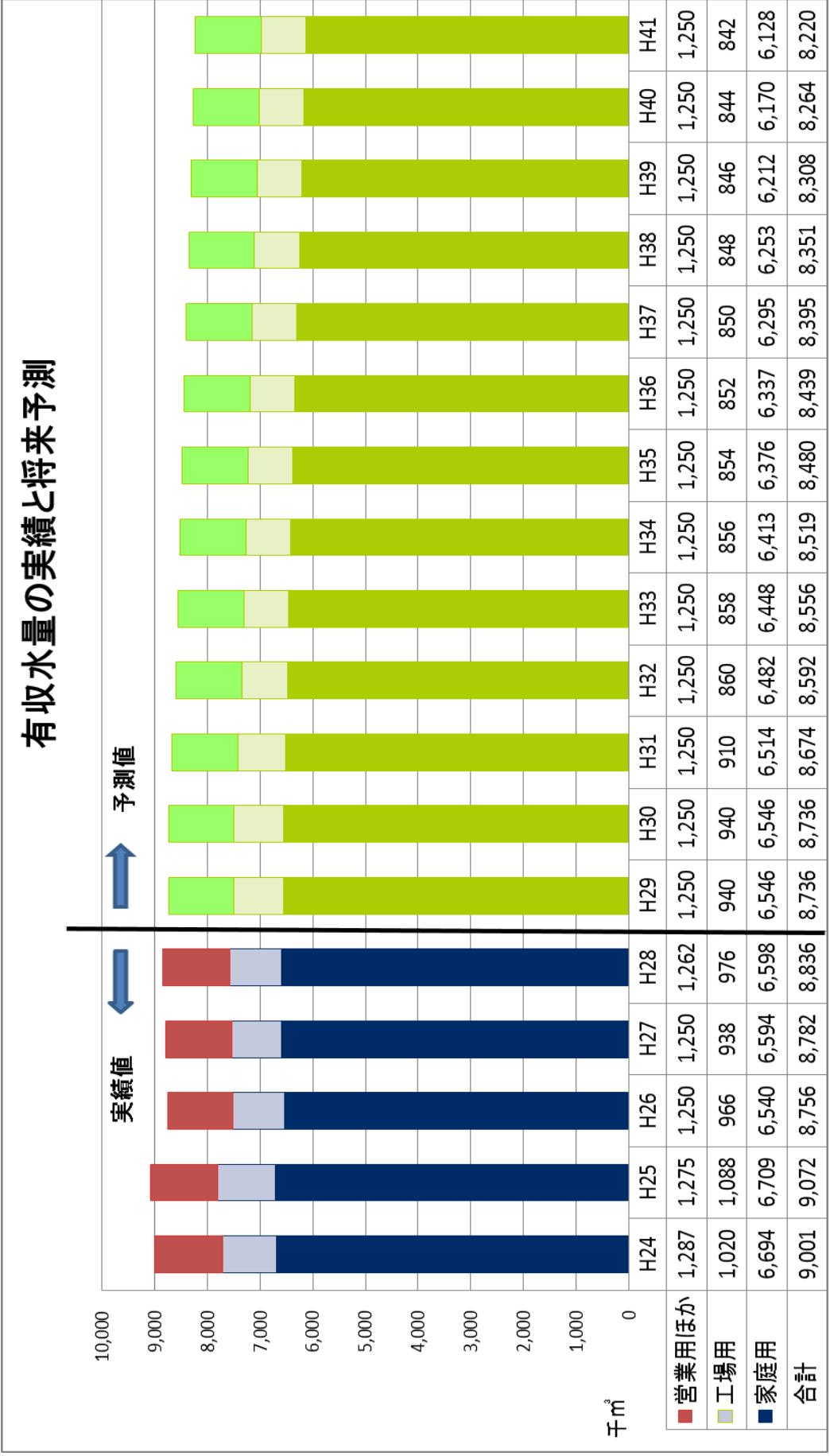


図 2



平成28年度末全管路(283km)の今後の経年化推移

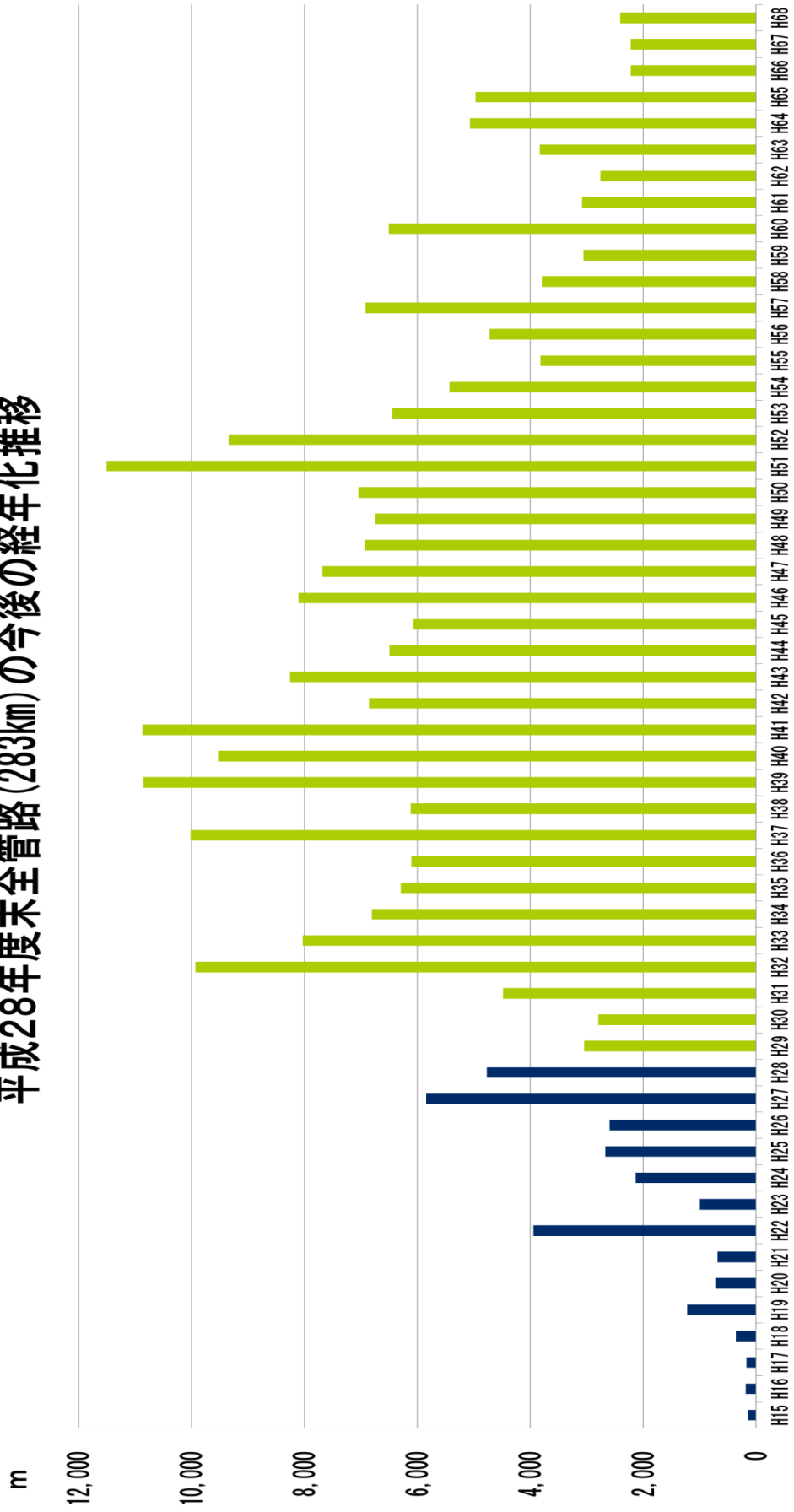
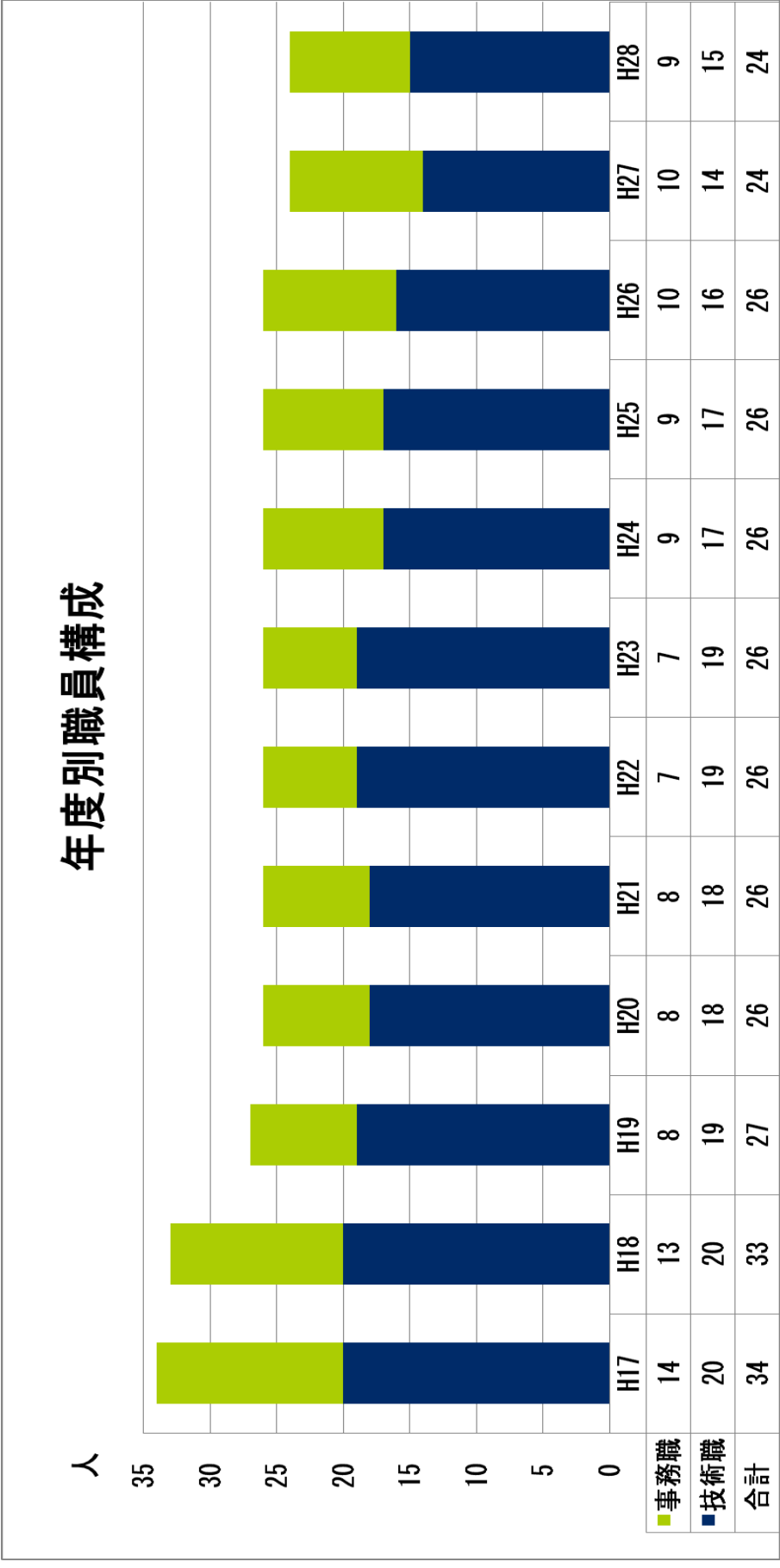
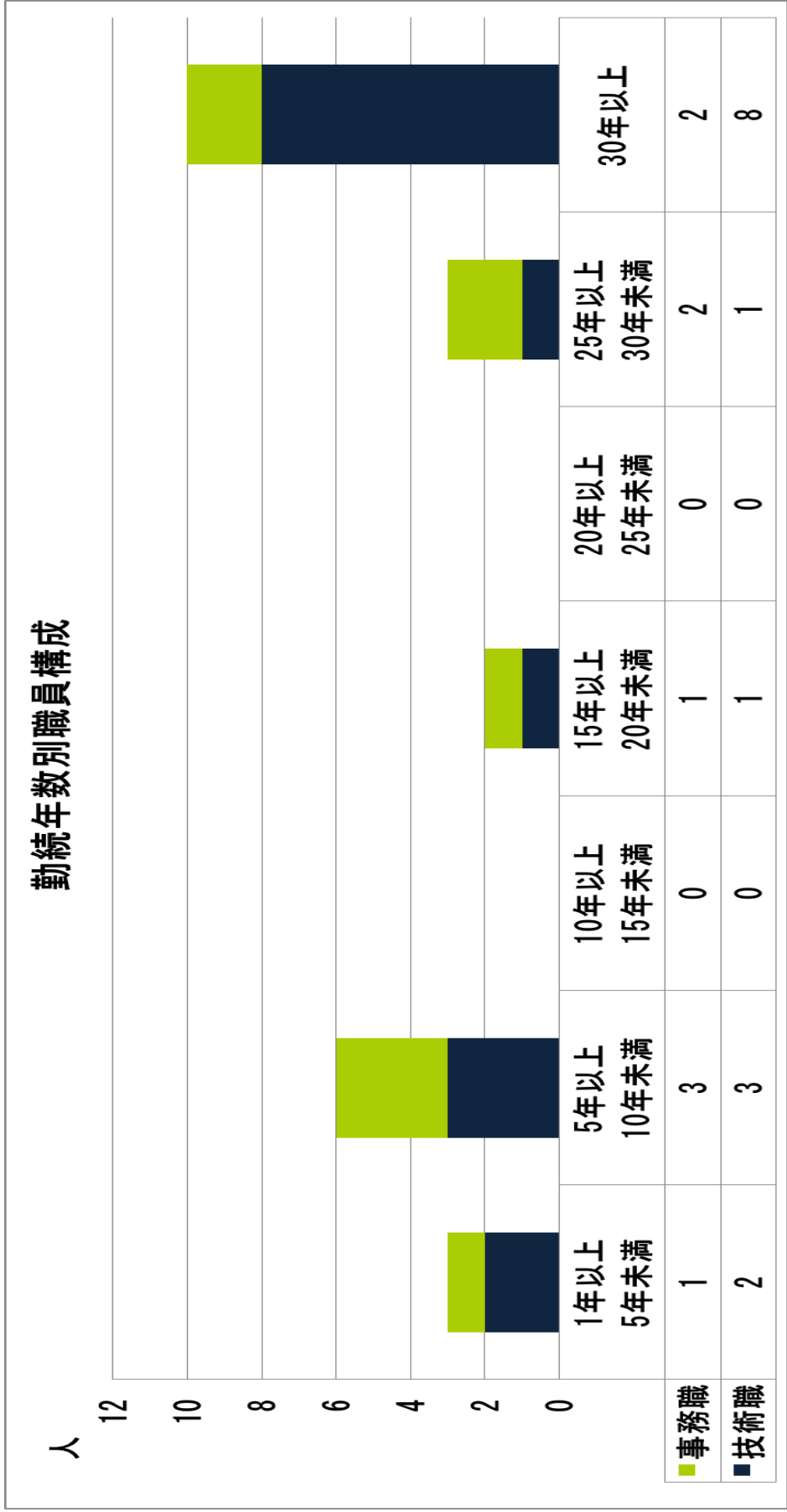


図 4



※ 上記の人数には水道事業管理者及び嘱託・再任用職員を除き、技術職には技能職を含む



※ 平成29年3月31日現在

3. 水道事業の具体的な取り組みについて

1. 安全

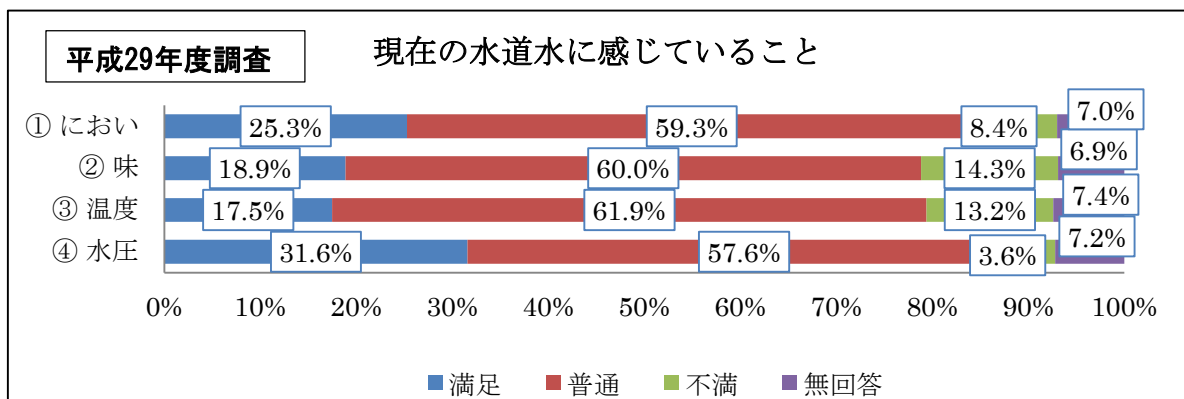
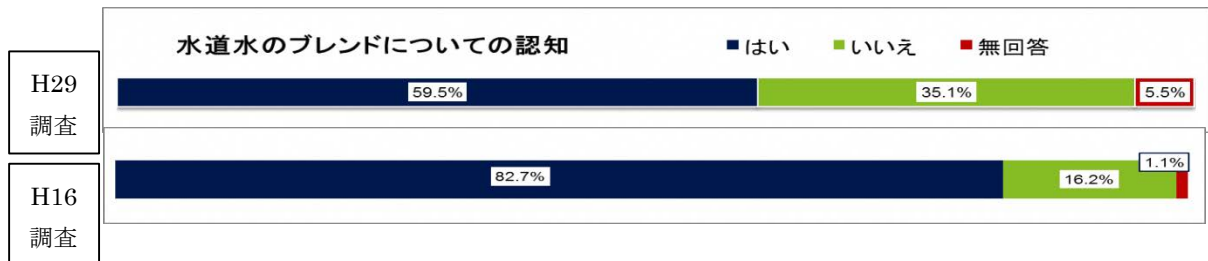
1-1 水源の保全と確保

1-1-1 二元水源の確保

安定して水道水をお届けするためには、安定した水源の確保が欠かせません。本市の水源は、自己水（地下水）と京都府営水（表流水）で、大口事業所を除き概ね50%ずつの割合でブレンドし配水しています。

今回のアンケートにおいて、長岡京市の水道（地下水）と京都府からの水道（河川水）のブレンド（約50%ずつ）については、前回（平成16年度調査）に比べて知っている方の割合は、82.7%から59.5%と下がっています。

水道水に感じていることでは、におい・味・温度・水圧のすべての項目で、不満の割合が減り、満足や普通の割合が増加しています。



具体的な取り組み

- ◎ 今後の水需要の推移を見ながら、引き続き、地下水の適正揚水量を守り、併せて府営水とのブレンド率 50%を維持します。
- ◎ 府営水については、京都府営水道供給料金単価の統一をはじめ、建設負担水量についても協議し、京都府と受水市町が連携した効率的な水運用に努めます。

1-1-2 地下水質の常時監視

市で策定した水質検査計画では、水道法に基づく水質法定検査に加えて、独自で井戸ごとの原水についても水質検査を定期的の実施し、より水質の安全を確保しています。

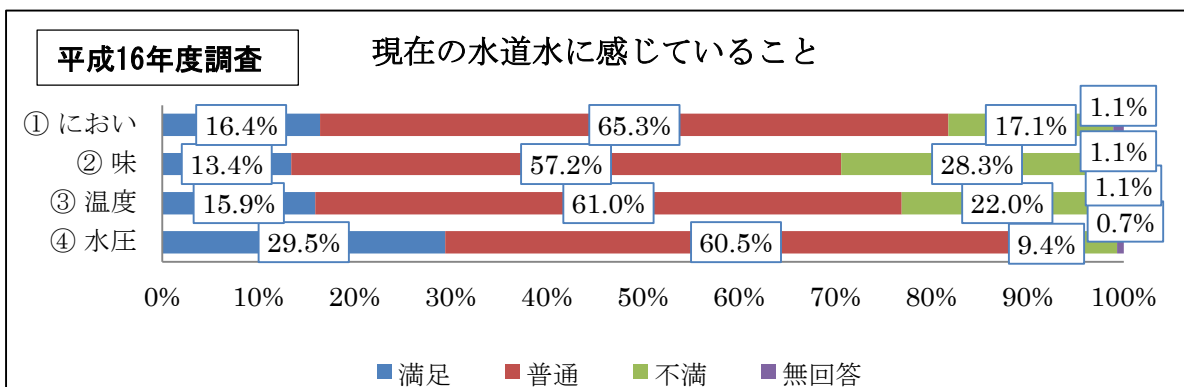
具体的な取り組み

- ◎ 今後も地下水を活用して行くために、地下水源の保全や地下水の水質検査を継続していきます。

1-2 水質管理の充実と強化

1-2-1 水安全計画の継続運用

水道水源から蛇口に至るまでの各段階で、安全な水の供給を行えるように平成 26 年 9 月に水安全計画を策定し、その後は毎年更新しています。蛇口の水質管理については、給水系統別に末端給水栓(蛇口)の複数個所で色度、残留塩素濃度等の検査を毎日実施しています。



具体的な取り組み

- ◎ 水安全計画の運用により判明する新たな課題や周囲の状況変化に適合させるために、定期的な検証及び見直しを行います。
- ◎ より安全な水質管理を行えるように、他の事業者との連携も含めた水質管理体制について、引き続き検討します。

1-2-2 快適な水道水の供給

蛇口から出る水道水の水質を管理するために、法律に定められた水質基準を満たすよう、引き続き、市内3系統給水区域の末端給水には自動水質監視装置を各2台設置し24時間水質の監視を行います。

マンションなどの受水槽については、簡易専用水道(貯水槽の有効容量が10 m³超)と小規模貯水槽水道(10 m³以下)に分類されています。簡易専用水道の管理状況は、法に基づく指定検査機関からの報告により一定管理状況を把握できていますが、小規模貯水槽水道については設置者の努力義務にとどまっており、管理状況を把握することが困難な状況となっています。

具体的な取り組み

- ◎ 小規模貯水槽水道設置者に対する適正管理に向けた指導方法の確立と、直結給水への切り替えの促進を行います。

【業務指標目標値】

業務指標	H27 実績値	H28 実績値	H31 (現ビジョン) 目標値	36年 中間目標値	41年 計画目標値
貯水槽水道 指導率(%) (A205)	88.8	92.7	—	94.0	95.0
直結給水率 (%) (A204)	97.8	97.8	98.8	98.5	99.0

1-3 鉛製給水管の解消

1-3-1 鉛製給水管の取り替え促進

鉛製給水管は長時間の滞留による水道水への鉛の溶出による健康被害への不安や腐食による漏水事故を引き起こす原因となることがあります。これらの課題を解消するため、早期取替に向けて、主に団地規模で更新してきましたが、平成28年度末で12.4%が残っています。

具体的な取り組み

◎ 鉛製給水管の解消に向けて取り替え更新を行います。

【業務指標目標値】

業務指標	27 実績値	28 実績値	H31 (現ビジョン) 目標値	36年 中間目標値	41年 計画目標値
鉛製給水管率 (%) (A401)	13.4	12.4	6.0	6.0	0.0

2. 強靱

2-1 耐震化の推進

2-1-1 施設の耐震化

給水区域の統合事業として耐震化も兼ねた施設整備が、概ね平成28年度に完了しました。まだ耐震化されていない一部の配水池について、将来の施設稼働状況や法定耐用年数を考慮し、効率的な耐震化を進めます。

具体的な取り組み

- ◎ 配水池の耐震化を完了します。

【業務指標目標値】

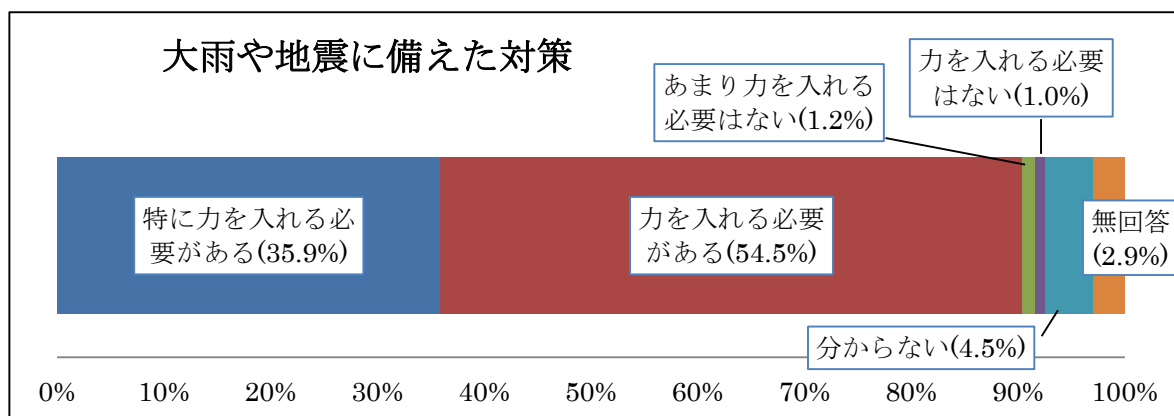
業務指標	27 実績値	28 実績値	H31 (現ビジョン) 目標値	36年 中間目標値	41年 計画目標値
配水池の 耐震化率 (%) (B604)	73.6	98.6	—	98.6	100.0

2-1-2 基幹管路の耐震化

基幹管路(300mm以上の配水管や導・送水管の総延長50,749m)の耐震適合率47.7%は、平成27年度末現在では全国平均値37.26%及び京都府平均値31.10%を上回っています。

今回のアンケートにおいて、重点項目のうち、地震に備えた対策について、「特に力を入れる必要がある」と「力を入れる必要がある」との回答が、9割以上となっています。

平成29年度調査



具体的な取り組み

- ◎ 基幹管路の耐震化について、更新時期も考慮しながら、計画的に実施します。

【業務指標目標値】

業務指標	27 実績値	28年 実績値	H31 (現ビジョン) 目標値	36年 中間目標値	41年 計画目標値
基幹管路の 耐震適合(%) (B606-2)	47.7	47.9	—	52.0	55.0

2-2 施設の更新

2-2-1 浄水施設の更新

市内唯一の浄水場である東第2浄水場は、昭和57年から稼働し、35年が経過しています。浄水場施設の法定耐用年数は60年となっていますが、一部の施設で耐震化工事が必要となる箇所があります。

具体的な取り組み

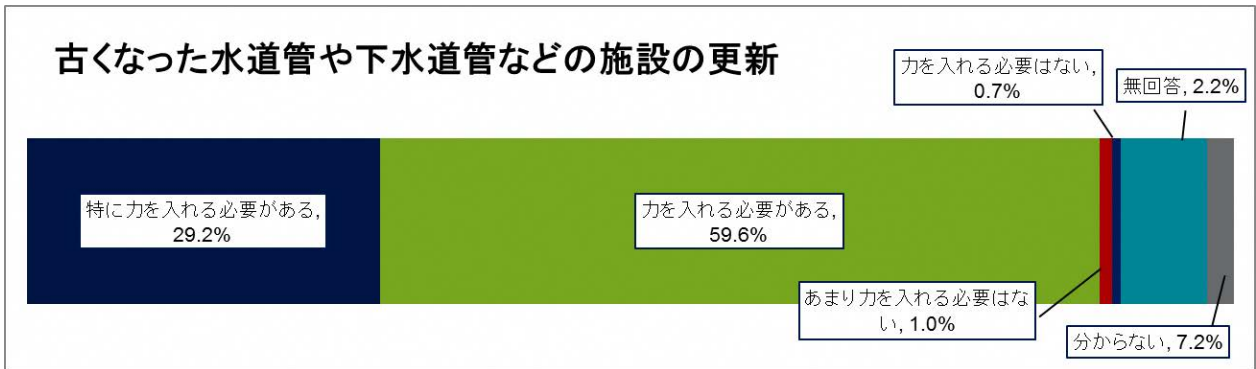
- ◎ 現東第2浄水場の既存施設の耐震化や新たな場所での築造など、浄水場更新のあり方を検討します。

2-2-2 主要幹線管路の計画的更新

市民生活への影響が大きい口径150mm以上の主要幹線管路(延長109,152m)については、今後、法定耐用年数を超える延長が急速に増加します。

今回のアンケートでは、重点項目のうち、古くなった水道管について、「特に力を入れる必要がある」と「力を入れる必要がある」との回答が約9割となっています。

平成 29 年度調査



具体的な取り組み

- ◎ 基幹管路を含む主要幹線管路を中心に計画的に更新します。

【業務指標目標値】

業務指標	27年 実績値	28年 実績値	H31 (現ビジョン) 目標値	36年 中間目標値	41年 計画目標値
管路の更新率 (%) (B504)	0.09	0.50	—	0.70	1.00

※ 上記の「管路の更新率」は、管路総延長に対する年間更新された管路延長の割合で平成 27 年度総務省経営比較分析の類似団体全国平均では、0.85%である。

2-2-3 漏水調査の継続

更新が必要となる老朽管の急速な増加は、漏水が増加する要因ともなります。

具体的な取り組み

- ◎ 定期的な漏水調査を実施します。

【業務指標目標値】

業務指標	27年 実績値	28年 実績値	H31 (現ビジョン) 目標値	36年 中間目標値	41年 計画目標値
有収率(%) (B112)	93.1	93.2	92.7	93.5	94.0

2-3 危機管理体制の整備と強化

2-3-1 応急給水への対応

災害時における応急給水体制の整備を進めていますが、「長岡京市地域防災計画」及び「長岡京市水道危機管理計画」に応じたきめ細かい対応を求められています。

具体的な取り組み

- ◎ 地域防災計画の見直しに連動した応急給水体制を図ります。
- ◎ 備蓄水を確保します。

2-3-2 危機管理マニュアルの充実

災害が発生した場合の水道危機管理計画に基づくマニュアル等を策定しています。

具体的な取り組み

- ◎ 継続的に各種危機管理マニュアルを見直します。

2-3-3 災害時連携の充実

京都府及び京都府下の自治体で構成する日本水道協会京都府支部において、災害時の協定を締結し、合同での応急給水活動訓練を実施しています。

水道事故時等、緊急の応急給水資材が必要となる事態に備え、各自治体で所有する応急給水資材等について情報共有しています。

具体的な取り組み

- ◎ 各種の災害や事故を想定した訓練を継続して実施します。

3. 持続

3-1 経営基盤の強化

3-1-1 適正な料金算定と料金体系の見直し

業務の委託化や施設の統廃合など、事業の効率化を図るとともに経費の抑制に努めてきたことから、経常収支比率は100%を上回っていましたが、平成26年度から会計制度の変更により、長期前受金(注1)が設定され、減価償却見合い分を収益化することから110%を上回っています。

今後は人口の減少等から水需要も減ることが予測され、将来にわたり、安定して事業運営を行うため、長期的な事業計画に基づき、算定期間を定め、その期間ごとに適正な料金算定を行う必要があります。

(注1) 長期前受金

償却資産の取得又は改良に伴い交付される補助金や一般会計負担金等については、「長期前受金」として負債(繰延収益)に計上したうえで、減価償却見合い分を順次収益化(長期前受金戻入)します。そのため、経常収支比率が高くなりますが、この収益化した長期前受金戻入は現金を伴わない収益として計上されることから、注意が必要です。

具体的な取り組み

- ◎ 投資計画及び財政計画を策定し、バランスのとれた事業運営を行います。
- ◎ 料金体系の見直しを含む水道料金の適正化を図ります。

【業務指標目標値】

業務指標	27年 実績値	28年 実績値	H31 (現ビジョン) 目標値	36年 中間目標値	41年 計画目標値
経常収支比率 (%) (C102)	113.6	110.3	100以上	110以上	110以上
給水原価(円/ m ³) (C115)	192.7	192.3	抑制	抑制	抑制

※ 上記の「経常収支比率」は、経常収益に対する経常費用の割合で、従来は100%以上が望ましいとされていましたが、平成26年度からの会計制度の変更により、平成27年度総務省経営比較分析の類似団体全国平均では、113.56%となっている。

3-1-2 遊休地の利活用

現水道ビジョンの取り組みにより水道施設を統合した結果、廃止した水道施設用地（遊休地）の利活用を検討する必要があります。この遊休地の利活用については、市の公共施設再編と連携し、水道事業以外の公共施設等としての利活用も考慮するとともに、収益確保につながる活用方法やその実現性について検討します。

具体的な取り組み

- ◎ 廃止した水道施設用地について、遊休地の売却や公共施設等への利活用など、方向性を検討します。

3-1-3 多様な形態の広域化の検討

将来的には、全国的に少子高齢化や人口減少問題が懸念されています。将来にわたり、水道事業を安定して継続的に運営するため、広域的な連携が必要です。将来的な目標を定め、できるところから広域化に向けた取り組みに着手することが重要です。

【既に取り組んでいるもの】

- 京都府及び受水市町と連携し、業務や資材の共同化について、検討を進めています。

【今後取り組んでいくもの】

- 受水市町間だけでなく、京都府下市町村全体の取り組みとして、課題解決に向けた広域的な連携を検討します。
- 京都水道グランドデザインの「広域化・広域連携の推進」に基づき、南部圏域で隣接する京都市、向日市及び大山崎町との連携を検討します。

具体的な取り組み

- ◎ 他の水道事業体との広域連携を推進します。

3-1-4 エネルギーの有効利用

平成19年3月に東第2浄水場の排水池覆蓋設備を利用した太陽光発電設備を設置し、発電された電力を浄水場内で活用しています。また、北ポンプ場内に民間からの提案による小水力発電設備を整備しています。

具体的な取り組み

- ◎ 今後も民間ノウハウを活用するなど、再生エネルギーについて、多角的に検討します。

3-1-5 アセットマネジメント手法による資産管理

施設管理として、国が提供している簡易アセットマネジメントツールを利用して作成しています。今後、将来的な施設整備計画との整合性を図り、アセットマネジメントの精度をあげ、施設更新する必要があります。

具体的な取り組み

- ◎ 水道施設の維持更新のための本格的なアセットマネジメントを導入します。

3-2 組織体制の強化

3-2-1 適正な人員確保と人材育成の充実

水道事業を支えてきた多くのベテラン職員が退職する状況において、水道事業の様々な分野の技術や知識を次世代の職員に継承していく取り組みが重要となってきます。

また、今後の厳しい事業環境の変化に適応できる技術力を高めるために研修の機会を確保しています。

具体的な取り組み

- ◎ 水道事業を安定的に運営するため、人員の確保に努めます。
- ◎ 外部研修へ積極的に参加します。
- ◎ 業務マニュアルを作成し、技術の継承及び更新に努めます。

【業務指標目標値】

業務指標	27年 実績値	28年 実績値	H31 (現ビジョン) 目標値	36年 中間目標値	41年 計画目標値
外部研修時間 (時間/人) (C202)	7.8	6.3	5.0	8.0	8.0
技術職員率 (%) (C204)	51.6	54.2	60.0	60.0	60.0

3-2-2 法令遵守の推進

職員の不祥事等は市民との信頼関係を大きく損なわせることとなり、一度失った信頼回復には大変な困難が伴うこととなります。市政の透明性の向上と市民の信頼確保をめざして、職員倫理条例、法令遵守条例の更なる徹底を図り、職員一人ひとりが、全体の奉仕者として誠実に行動していくことが求められています。

具体的な取り組み

◎ 法令を遵守し、倫理研修等により職員の倫理感の向上に努めます。

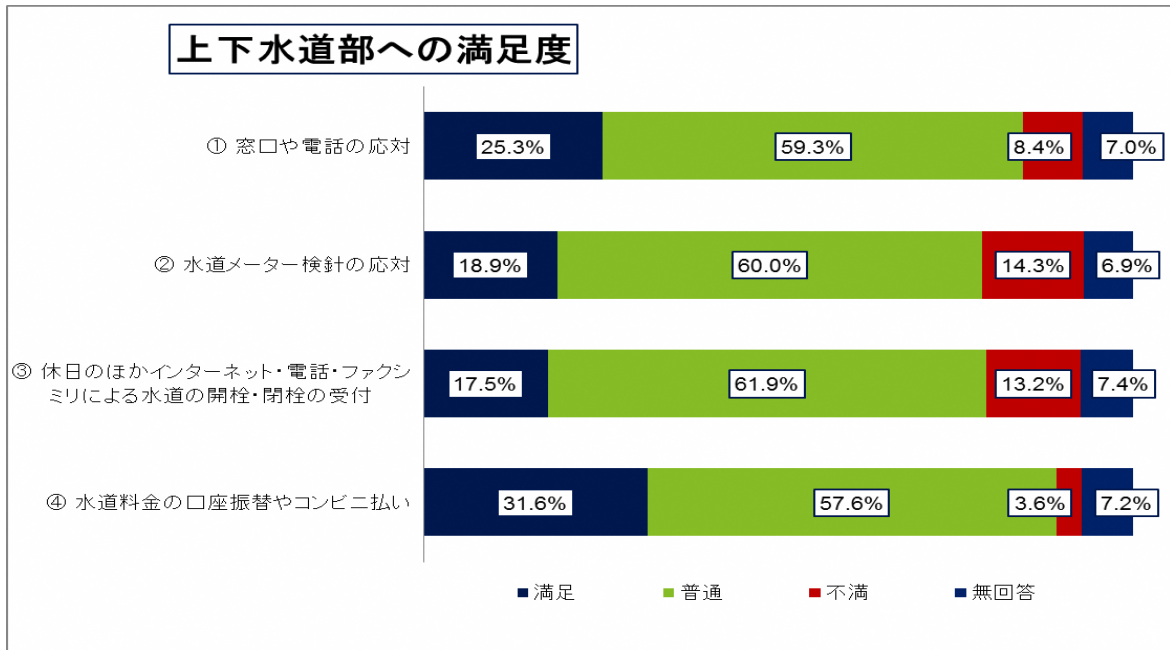
3-3 お客様サービスの充実

3-3-1 お客様ニーズの把握による利便性の向上

お客様の利便性の向上を図るため、平成18年4月からコンビニエンスストアでの収納を開始し、また同年10月から窓口業務や料金収納業務の民間委託を実施しました。その後、平成21年10月から休日を含めたファクシミリやインターネットによる水道の開栓及び閉栓の受付も実施しています。

今回のアンケートでは、上下水道事業への満足度が、利用したことがない方を除くと、「満足」や「普通」との回答割合が多数を占めています。

平成 29 年度調査



具体的な取り組み

- ◎ お客様ニーズの把握に努め、サービスの向上を図ります。

3-3-2 広報活動の充実による情報公開の推進

上下水道事業の予算や決算、工事等の内容を掲載した広報紙「水だより」を年3回発行し、全戸配布しています。合わせてホームページにも同様の内容を掲載しています。また、日吉ダムから乙訓浄水場、東第2浄水場と、水源から浄水場までを巡る水道施設見学会を年1回実施しています。

今回のアンケートでは、広報紙「水だより」やホームページについて、見えないとの回答が約半数近くあり、また、水道施設見学会などの広報活動も知らないとの回答が半数を超えています。

平成 29 年度調査

水道施設見学会(日吉ダム・浄水場)について、ご存知ですか



「水だより」や「ホームページ」は、わかりやすいですか



具体的な取り組み

- ◎ わかりやすい情報提供や広報活動の充実を図ります。

【業務指標目標値】

業務指標	27年 実績値	28年 実績値	H31 (現ビジョン) 目標値	36年 中間目標値	41年 計画目標値
広報誌による 情報の提供度 (部/件) (C401)	8.0	8.0	—	8.0	8.0
水道施設見学 者割合 (人/1000人) (C403)	0.69	0.34	0.6	0.6	0.6

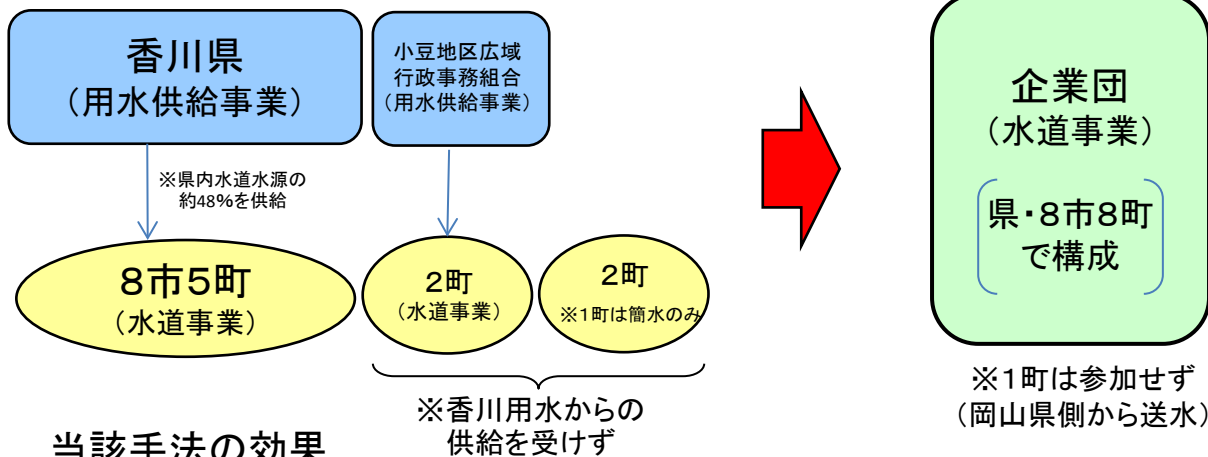
類 型		最 近 の 事 例
事業 統 合	水平統合	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県東部の3市5町が群馬県東部水道企業団を設立した。（検討期間H21.4～H28.3） 香川県及び小豆地区広域行政事務組合が行う用水供給事業と市町が行う末端給水事業を事業統合し、企業団を設立する。（検討期間H20.12～H30.3）（後掲【事例1】）
	既存の一部事務組合等を活用した水平統合	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県の1市4町でちちぶ定住自立圏形成協定を活用し、秩父広域市町村圏組合の1事業として水道事業を開始した。（検討期間H21.9～H28.3）（後掲【事例2】）
	区域外給水をきっかけとした水平統合	<ul style="list-style-type: none"> 北九州市が、行政区域外への給水（分水）をきっかけとして、水巻町と事業統合。（後掲【事例3】）
事業 統 合	垂直統合	<ul style="list-style-type: none"> 用水供給を行う岩手中部広域水道企業団と末端給水を行う2市1町が統合し、岩手中部水道企業団を設立。（後掲【事例4】） 香川県及び小豆地区広域行政事務組合が行う用水供給事業と市町が行う末端給水事業を事業統合し、企業団を設立する。（検討期間H20.12～H30.3）（後掲【事例1】） 奈良県県営水道を水源とした方が事業の効率化を図れる場合、市町村の自己水の浄水場を廃止し、県営水道へ転換を検討。 北九州市が、宗像地区事務組合・古賀市・新宮町に用水供給。（後掲【事例3】） 末端給水を行う千葉県県営水道が、用水供給を行う九十九里地域水道企業団と南房総広域水道企業団を統合し、県が用水供給を担うことを検討。（後掲【事例5】）
施設の 共同化	浄水場等の共同設置	<ul style="list-style-type: none"> 熊本県荒尾市と福岡県大牟田市が共同で浄水場を建設。（後掲【事例6】）
		<ul style="list-style-type: none"> 北奥羽地区水道事業協議会（青森県内11市町村、八戸圏域水道企業団、岩手県内9市町村）で浄水場、配水池の合理的配置、水源・施設の統廃合を検討。（後掲【事例7】）
施設管 理の共 同化	事務の代替執行	<ul style="list-style-type: none"> 北九州市が宗像地区事務組合より業務を包括的に受託。（後掲【事例3】）
	維持管理の受け皿組織	<ul style="list-style-type: none"> 広島県と民間企業が共同出資して「(株)水みらい広島」を設立し、同社を県営水道事業の指定管理者として管理運営を行うとともに、市町水道事業の施設の管理業務等を実施。
	保守点検業務の共同化	<ul style="list-style-type: none"> 北奥羽地区水道協議会で保守点検業務を一括して外部委託を検討。（後掲【事例7】）
管理の 一体化	事務の代替執行	<ul style="list-style-type: none"> 北九州市が宗像地区事務組合より業務を包括的に受託。（後掲【事例3】） 長野県が天龍村の簡易水道事業の設計積算・工事管理等の事務を代替して執行。
	システムの共同化	<ul style="list-style-type: none"> 北奥羽地区水道協議会で八戸圏域水道企業団の料金・会計・管路情報等のシステムを共用。（後掲【事例7】） 高知県の3市町の水道料金システムを共同構築。
	シェアードサービス	<ul style="list-style-type: none"> 茨城県のかすみがうら市と阿見町が上下水道料金等収納義務の広域共同委託発注。
	水質データ検査・管理	<ul style="list-style-type: none"> 北奥羽地区水道協議会で水質データ管理を八戸圏域水道企業団に集約化。（後掲【事例7】） 奈良広域水質検査センター組合で水質検査基準項目等の検査を実施。

【事例1】用水供給と末端給水の垂直統合（香川県、県内16市町）

1 概要

- 香川県と県内16市町（※全市町数17）で用水供給事業と末端給水事業の統合し、H29年秋に企業団を設立、H30年度からの事業開始に向け、県内1水道の実現を検討している事例（香川用水を活用した水源の一元管理及び円滑な水融通）。
- 課題として、①人口減少による給水収益の減少、②香川用水の取水制限等への対応、③施設の計画的更新・耐震化、④施設整備水準やサービスの平準化、⑤職員数の最適化・技術力継承

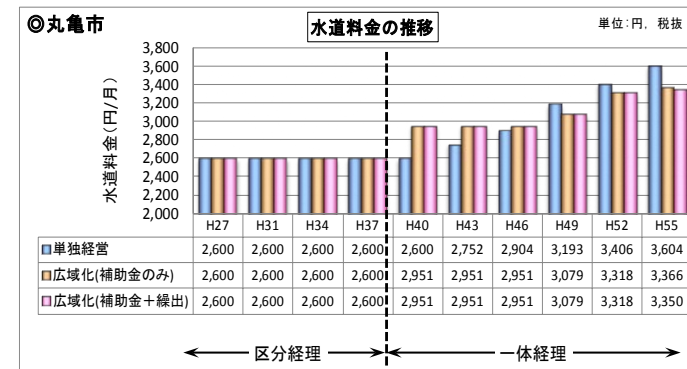
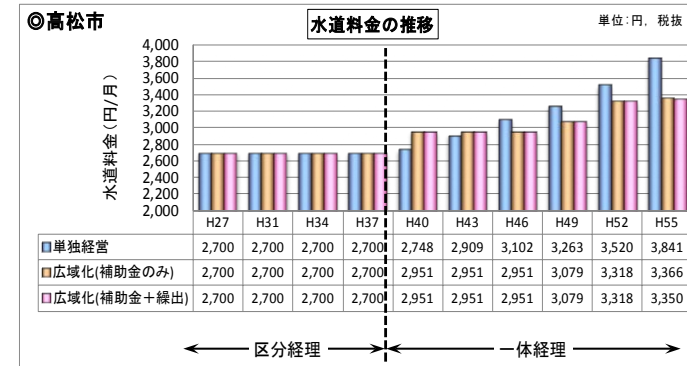
<現況>



2 当該手法の効果

- 統合の手法としては、業務の効率化等による経営基盤の強化、国庫補助金等の活用等を勘案の上、各市町毎に水道料金のシミュレーション（右図）を行った上で、事業統合が最も効果的であるという結論に至った。
- 広域化の効果としては、①業務共同化や計画的・効率的な施設更新による経費・更新費削減、料金値上げの抑制、②水源の一元管理や管理体制の強化による安全な水道水の安定供給、③事業規模拡大による効率的な人員配置・人材育成、④湧水や災害時の危機管理体制拡大・窓口利便性拡大
- 職員数が平成26年から平成38年で104名減、浄水場が29施設減、運営費・事業費が、平成28年から平成55年で954億円減（年間34億円減）、供給単価が平成55年の時点で単独経営よりも16%減の効果が見込まれる。（平成26年10月「基本的取りまとめ」時の分析）

◆ 事業体別水道料金のイメージ(H28年3月現在)



【事例2】定住自立圏を活用した秩父地域水道広域化の取組

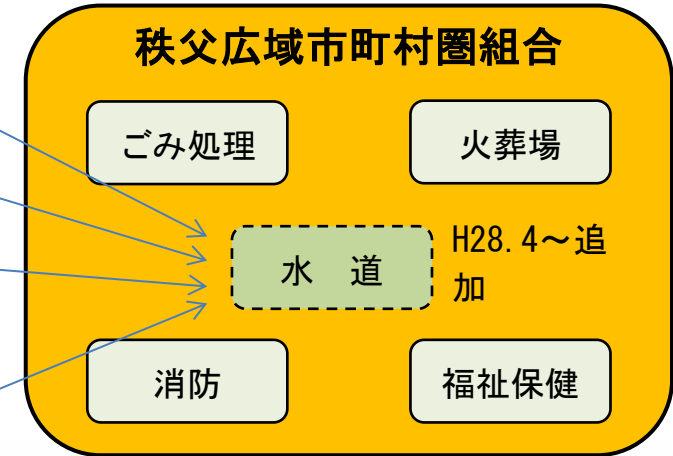
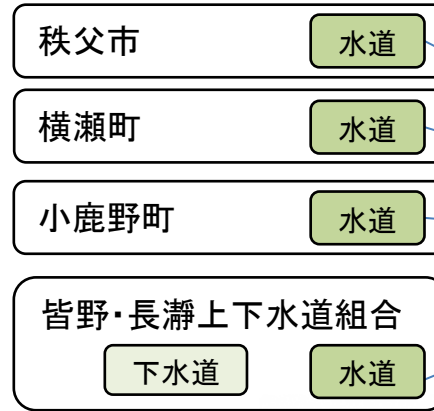
1 概要

- 「人口減少」、「施設・管路の老朽化」は秩父地域1市4町の共通課題
- 定住自立圏を活用し、秩父市を中心市とし、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町の1市4町により、H28.4から水道の広域化を実施
- 各市町で行っている水道事業を事業統合（水平統合）し、既に設置している秩父広域市町村圏組合の1事務として実施

[定住自立圏の取組]

- H21.3 秩父市中心市宣言
- H21.9 定住自立圏形成協定締結
- H22.3 ちちぶ定住自立圏共生ビジョン策定
- ⋮
- H27.3 秩父地域水道事業広域化基本構想・基本計画策定<アセットマネジメントによる検証>
- H28.4 事業統合（水平統合）

[イメージ]

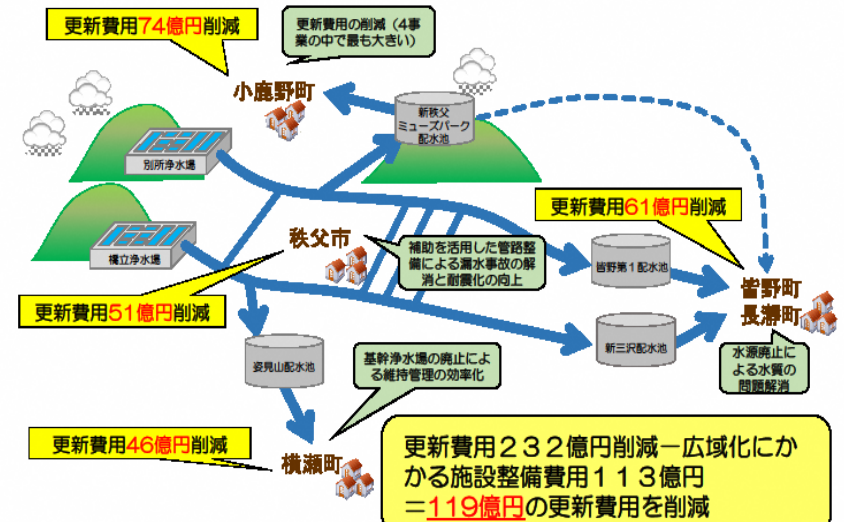


2 広域化の効果

- 供給単価の上昇幅が単独の場合より大幅に抑制

取水施設・浄水場数	取水施設 : 47 → 32 箇所 (▲15) 浄水場 : 41 → 26 箇所 (▲15)
施設の更新需要 (50年程度)	統合しない場合 : 1,036億円…A 統合する場合 : 804億円…B 差引 : 232億円…C=A-B 広域化に伴う施設整備費用 : 113億円…D 削減効果 : 119億円…C-D
職員数	現行 : 50人 → H38 : 33人 (▲17)

～秩父市の基幹浄水場を中心とした統廃合～

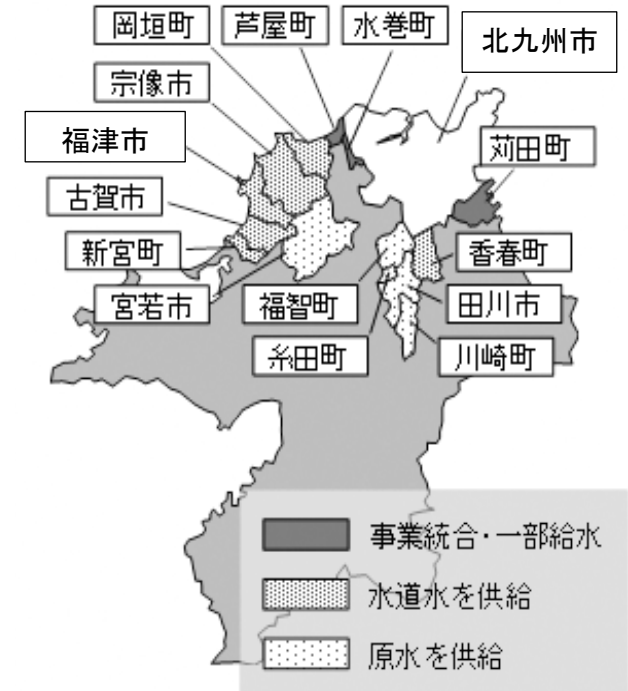


【事例3】北九州市による行政区域外への給水を通じた連携

1 概要

北九州市では、水道水または原水の供給を軸に5市9町と以下のとおり連携。

事業統合	芦屋町 (H19. 10)、水巻町 (H24. 10) ⇒ 2(1)参照
一部給水	苅田町 (H20. 3)
用水供給	宗像地区事務組合[宗像市]・新宮町 (H23. 4)、 福津市・古賀市に給水開始 (H28. 4) ⇒ 2(2)参照
分水	岡垣町 (H2. 4)、香春町 (H17. 4)
原水供給	宮若市 (S49. 5)、田川地区水道企業団[田川市、川崎町、 糸田町、福智町] (H13. 3)



2 連携による効果

(1) 事業統合 (水巻町)

導入目的	<ul style="list-style-type: none"> 水巻町は一日最大給水量 (9,000m³) の約9割を北九州市から購入 北九州市の1.8倍という高い水準の水道料金 町民から水道料金の値下げを求める意見が多く、北九州市に対し、上水道事業の統合を要望
効果	<ul style="list-style-type: none"> 水巻町の水道料金が45% (3,797円→2,100円) 低下 北九州市における収入の増加、経営基盤の強化 (給水原価の改善など)

(2) 用水供給 (宗像市、福津市、古賀市、新宮町)

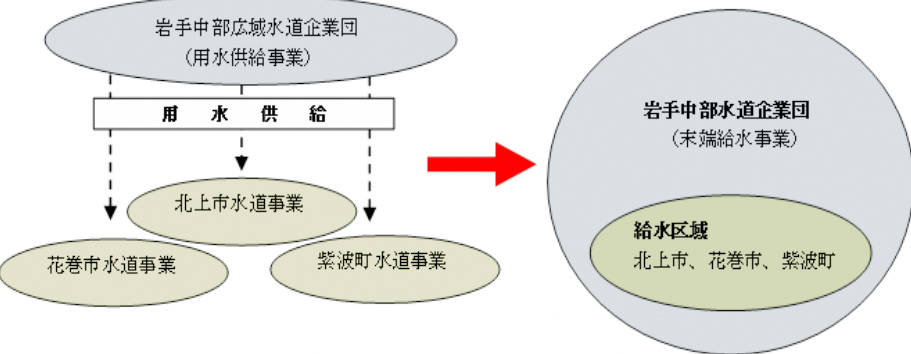
導入目的	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理対策として、北九州市と福岡都市圏を結ぶ緊急連絡管の機能維持のためには、常時、維持用水を流しておくが必要であったことに加え、沿線の3市1町は水源等の問題で水源転換等を検討していたことから、緊急連絡管の維持用水を水源の転換等にあてることになったもの
効果	<ul style="list-style-type: none"> 宗像市や福津市では浄水施設の更新が不要、古賀市では新規水源を確保 新宮町では浄水施設の更新が不要かつ新規水源を確保 北九州市では新たな収入の確保かつ施設稼働率の向上

3 事務の共同化 宗像地区事務組合より業務を包括的に受託 (H28. 4 事務の代替執行)

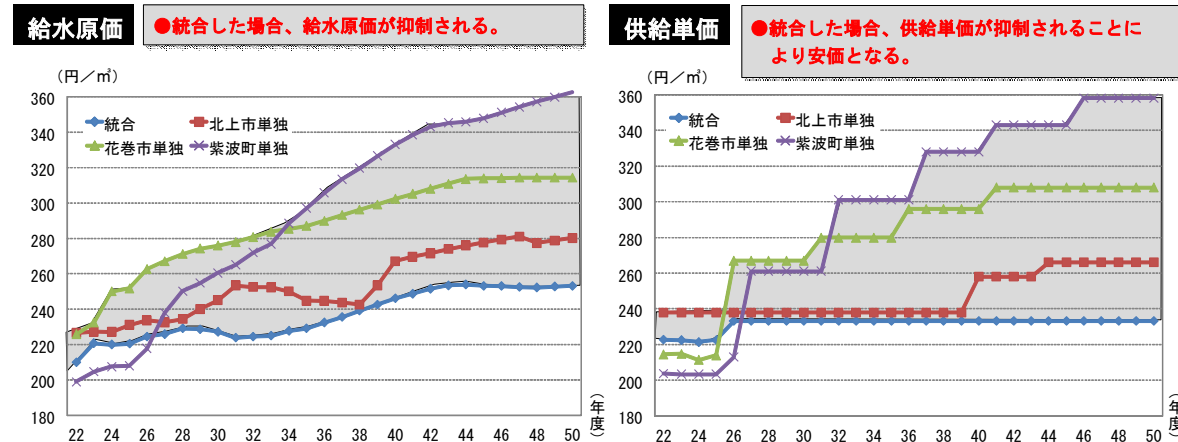
【事例4】岩手中部水道企業団による用水供給と末端給水の垂直統合

1 概要

- 人口減少に伴う料金収入の減少、施設の老朽化や技術の継承など共通の問題点を抱える中、各自治体の現場の職員で構成される「広域水道事業在り方委員会」における検討がきっかけで、最終的にボトムアップによる広域化を実現。
- 用水供給事業を行う岩手中部広域水道企業団及び末端給水を行う北上市、花巻市、紫波町の2市1町が垂直統合し、H26.4から岩手中部水道企業団として事業を開始。
- 単独で事業運営した場合のシミュレーション（ダウンサイジング無し）と広域化した場合のシミュレーション（ダウンサイジング有り、料金統一）とを比較した結果、広域化すれば原価、料金共に最低ラインとなることから、広域化を進めた。



2 当該手法の特徴・効果



ヒト	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 技術の継承 ➢ 専門職員の配置 	<ul style="list-style-type: none"> • 100人ほどの職員体制となり、大規模かつ多量の事業の実施や非常時への対処が可能な体制を確保 • プロパー職員としての採用により水道のスペシャリストの育成が可能
モノ	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 水道施設の統廃合 ➢ 更新投資の抑制 	<ul style="list-style-type: none"> • 余剰施設の有効活用により更新投資を抑制し、減価償却費及び維持管理コストを削減 • ループ送水管の整備により災害時のバックアップ体制を構築
カネ	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 優先事業への集中投資 ➢ 資金の一括管理・運用 	<ul style="list-style-type: none"> • 経費削減の効果による財源を活用し、管路更新率や耐震化率を改善 • ファイナンスの効率化を図り、据置期間廃止による支払利息の減、ポートフォリオの見直しによる運用利息の増

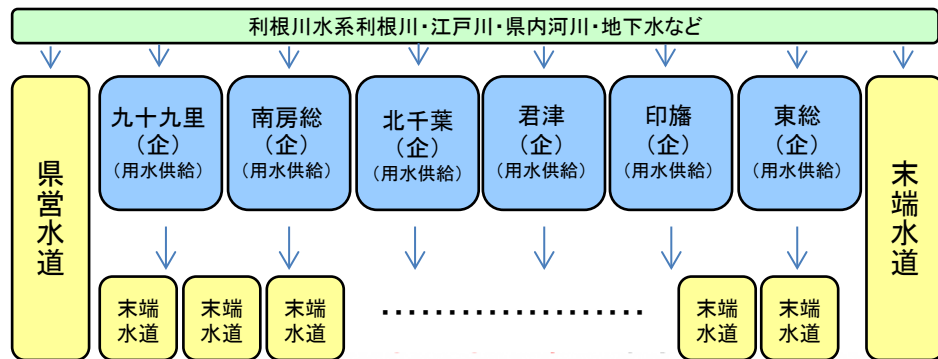
【事例5】県による用水供給事業の統合（千葉県）

1 概要

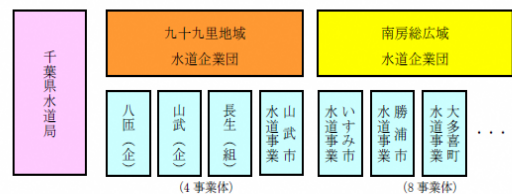
- 千葉県内には、県営水道（末端給水のみ）、6企業団による用水供給事業、市町村営・一組による末端給水事業（40団体）が存在。
- 地理的、地形的要因から、全体として水資源に恵まれていないが、特に九十九里地域、南房総地域は水資源が乏しく、利根川から房総導水路により供給していることから、他の地域に比べ水道用水供給料金が低い。県からの補助金を交付後も、県内で末端給水料金に3倍の格差あり。

2 取組方針（九十九里・南房総地域）

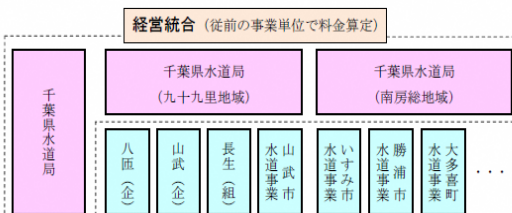
<現況>



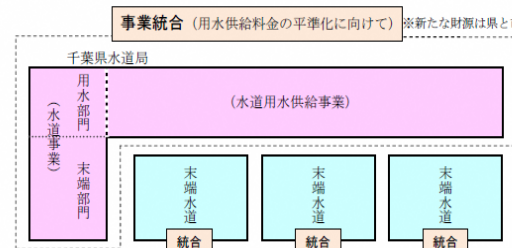
<現況>



<第1ステップ>



<第2ステップ>



◎ 経営統合（第1ステップ）から事業統合（第2ステップ）へ段階的に進めていく。

【第1ステップ：経営統合】

- ・ 県が従前の地域（県営水道地域、九十九里地域、南房総地域）別で事業を運営
- ・ 県及び市町村の一般会計の負担は現行と同水準

【第2ステップ：事業統合】

- ・ 事業(会計)を一歩化し、用水供給料金の平準化を図る。
- ・ 用水供給料金平準化のために必要となる新たな財源措置は、県と九十九里地域・南房総地域の市町村で負担。
- ◎ 統合の効果を地域全体で享受するため、併行して末端給水事業の統合についても検討を進める。
 - ・ 末端給水事業の統合について、関係市町村が合意することを前提に、第1ステップ（経営統合）に進む。
 - ・ 末端給水事業の統合後、第2ステップ(事業統合)に進む。
 - ・ 末端給水事業体の統合・広域化を推進するとともに、事業統合効果を活かすため、県として、末端給水事業体の統合後、初期投資費用などについて短期的な補助制度を検討

※君津地域においても、末端給水事業の統合等を検討



県内6用水供給事業体(26年度決算)

	北千葉(企)	東総(企)	君津(企)	印旛(組)	九十九里(企)	南房総(企)
三芳水道企業団(構成市町村)	61.18	141.62	111.71	156.37	162.30	330.16
館山市、南房総市	76.93	167.94	123.27	174.44	163.46	256.46

※給水原価(円/m³)……水を1m³つくるのに必要な経費
 ※供給単価(円/m³)……末端給水事業体に供給した1m³あたりの収益

【事例6】大牟田市と荒尾市との施設の共同設置・DBO方式の活用

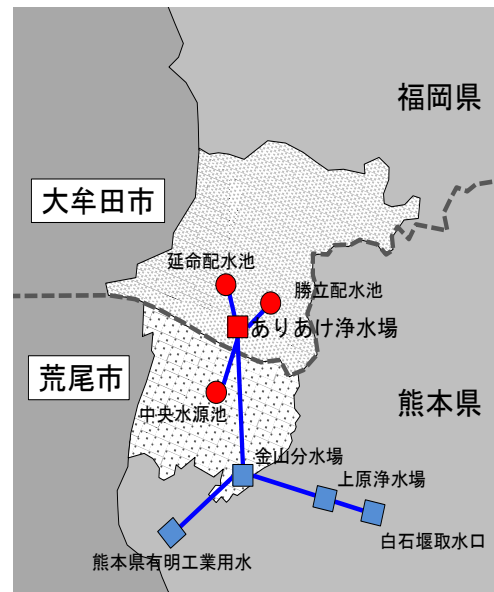
1 概要

（施設の共同設置）

大牟田市、荒尾市は共に炭鉱の町として発展し、市水に先駆け炭鉱専用水道が普及していた経緯があり、市水との水道一元化という共通の課題を抱えていた。また以前から生活圏が同じであったことに加え、水源環境等の地理的条件等も背景に、スケールメリットを最大限生み出すことを目的に、共同浄水場を建設することとなった。

（DBO方式の活用）

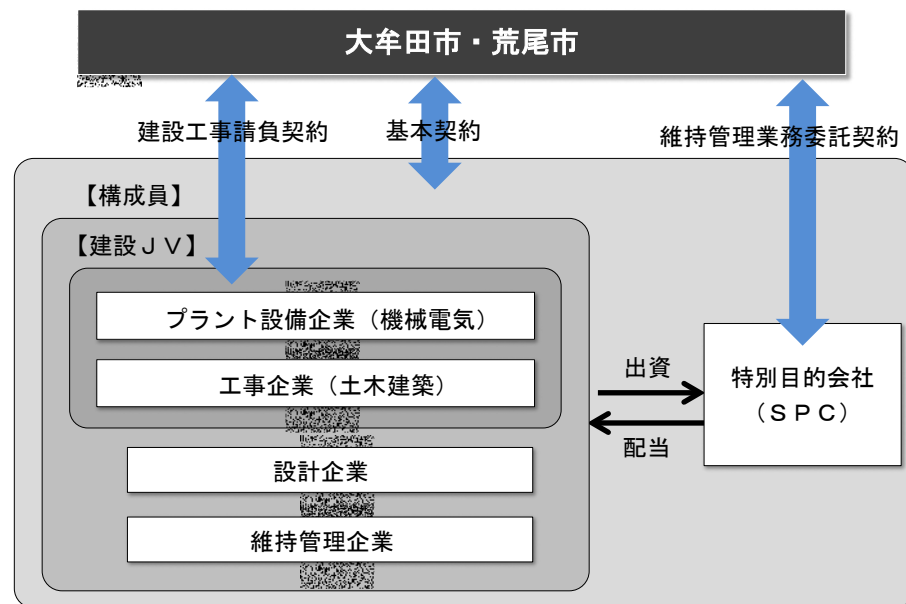
また、両市は将来の水道一元化を見据え浄水場を所有してきておらず、浄水場の建設及び維持管理を経験した技術者もいないことから、民間のノウハウを活用できるPPP（官民連携パートナーシップ）を進めることとなった。



2 当該手法の特徴・効果

落札者決定後の公的財政負担の削減率は20.48%となった。これは、競争が働いた結果、想定していた削減率よりも高い削減率となったものである。また、浄水場以外の施設（ポンプ場、配水池等）の維持管理も含め、同一事業者へ委託しており、設備にトラブルがあった場合の対応については、想定していた以上の効果が出ている。

手法	DBO方式による浄水場の共同設置
事業内容	大牟田市・荒尾市共同浄水場の設計・建設及び維持管理 共同浄水場外の水道施設の維持管理（大牟田市水道事業の井戸、配水池、ポンプ場、水質モニター等）
検討等期間	平成15年～平成19年3月
事業期間	設計・建設期間：平成21年6月～平成24年3月 維持管理期間：平成24年4月～平成39年3月



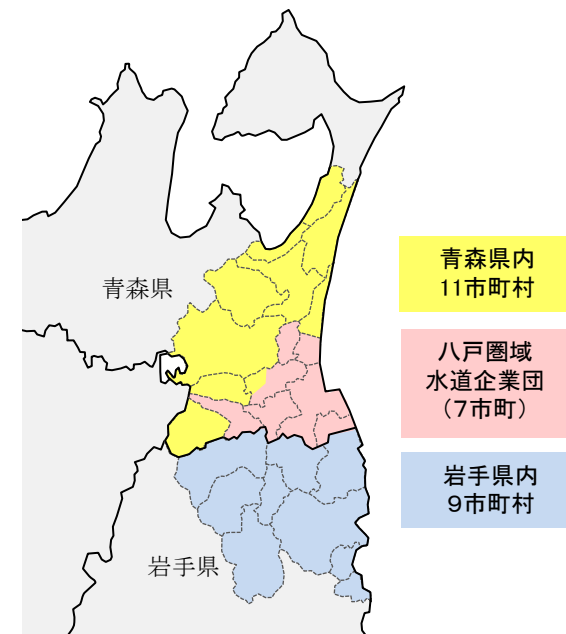
【事例7】北奥羽地区水道事業協議会による新たな広域連携の取組

○ 北奥羽地区水道事業協議会は、八戸圏域水道事業団と青森県南の11市町村及び岩手県北の9市町村が、水道事業の総合的な発展と合理的かつ効率的な運営を図ることを目的として、平成20年1月に設立。

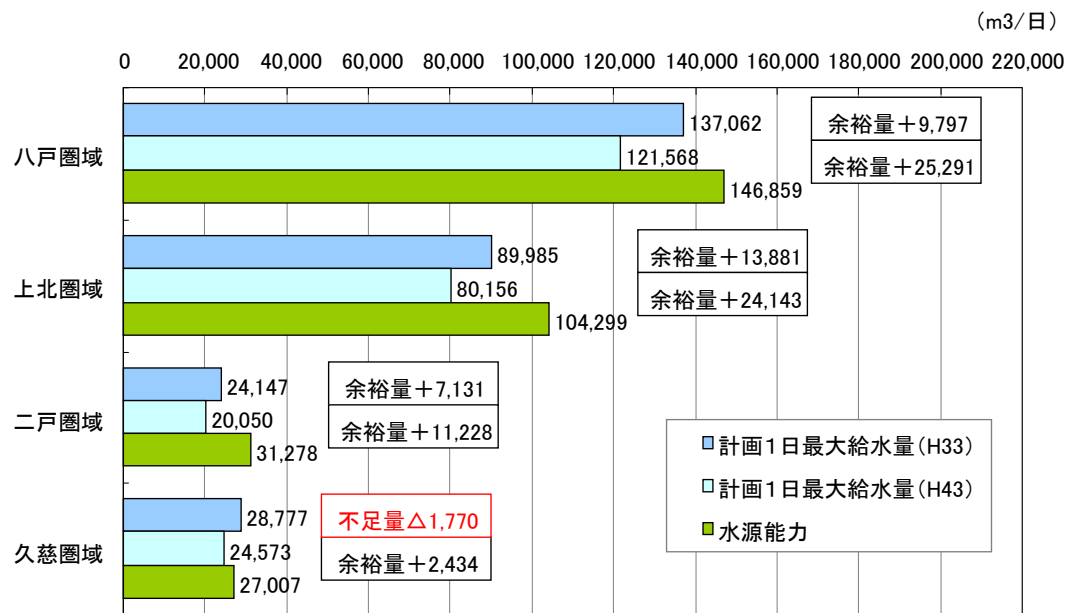
○ 平成25年4月以降、地元の管工事組合や水質検査機関、検針・料金徴収関係企業の15団体も準会員となり、官民一体の体制を構築。

○ 平成25年度まで、施設見学会や勉強会等を通じて会員間の連携を深めたうえ、平成26年度より、「出来るところから広域化」するため、以下の4つのテーマ毎に議論が行われ、県境をまたいだ新たな広域化への取組みとして注目されている。

- ① 施設の共同化：浄水場、配水池の合理的配置、水源・施設の統廃合
- ② 水質データ管理の共同化：水質データ管理を八戸圏域水道企業団に集約化
- ③ 施設管理の共同化：保守点検業務を一括して外部委託
- ④ システムの共同化：八戸圏域水道企業団の料金・会計・管路情報等のシステムを共用



○ 右図は、各地域の今後の水需要の状況を示したもの。今後は、どの地域も水源能力に余力が生じることから、各自治体ごとに施設を更新するのではなく、既存施設を共同化し得る可能性を示唆している。



年度	月	回数	主な審議内容
29	8	第1回	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>水道事業</p> <p>第2回 水道ビジョンの現状と課題</p> <p>第3回 水道事業施設整備検証</p> <p>第4回 水道ビジョン及び 水道料金のあり方</p> </div>
	9		
	10		
	11	第2回	
	12		
	1		
	2	第3回	
30	3		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>下水道事業</p> <p>第5回 下水道事業の現状と課題</p> <p>第6回 下水道事業施設整備検証</p> <p>第7回 下水道ビジョン及び 下水道使用料のあり方</p> </div>
	4		
	5	第4回	
	6		
	7		
	8	第5回	
	9		
	10		
	11	第6回	
	12		
	1		
31	2	第7回	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>第8回 上下水道事業ビジョン及び上下水道料金の見直し</p> <p>パブリックコメント 実施</p> <p>第9回 答 申</p> </div>
	3		
	4		
	5	第8回	
	6		
	7	第9回	

第4回の「水道ビジョン及び水道料金のあり方」については、上下水道料金一体で検討する方向で進めたいので、先に、下水道事業を繰り上げる、スケジュール変更を行いたい。

